京城日報
夕刊
四月廿五日（水）

特價 十八金腕時計 十形アンクル十石入 特價十一圓 クローム腕時計 十石入アンクル 特價五圓三十錢 京城本町 村木時計店 電本[illegible] 賣

諒闇明最初の天長節
各方面の祝賀計畫

本府の祝賀式

聖上陛下諒闇明最初の天長節は四月廿九日日本全國一齊に賀せらるゝ事になつてゐるが總督府では當日午前九時三十分から王族、公族の祝賀式があり午前九時四十分からは各國領事館員および外國人の祝賀式、續いて午前十時から有位、有勳の本府職員、在京城第一次勅任官以上および判任官、朝鮮貴族の祝賀式、午前十時十分から本府判任官同待遇者の參賀式がある事になつてゐる當日祝賀式および參賀式參列者のため大ホールの一隅に冷酒を用意して勸める事になつてゐる

官邸の園遊會

山梨總督は今上陛下第一回の天長節に際し二十九日午後二時から總督府官邸において京城の官民有志二千八百餘名を夫人同伴で招待して大園遊會を開催する事になつてゐるが食堂に模擬店に大いに趣向をこらしまた餘興にはキーサンの手踊り、ダンス、藝者手踊り、野外演藝を用意し田中通譯官主任となつて目下着々準備してゐる。

府民大祝賀會

來たる廿九日の天長節に京城府では當日午前十一時官民朝鮮神宮に參拜し一大祝賀會を開催する事となつた、從來の祝賀の催しは定まれる範圍内に行はれ一般的でなかつたが本年からは恒例として毎年施行する事となつたので府民は奮つて參加する事を望んでゐる會費は五十錢で府内務課で受付けて居るが、當日の式次は左の如くである

一、開會（[illegible]）二、挨拶 三、國歌（一同唱和）四、萬歳 五、陛下萬歳 六、閉會

總督府博物館休館

今上陛下第一回の天長節祝日のため來たる二十九日總督府博物館は休館して祝意を表する事となつた

觀兵式と放送

第二十師團では天長を祝ぐ觀兵式を二十九日午前十時から龍山練兵場で行ふはずで、今上陛下御踐祚第一回の天長節觀兵式なので出來るだけ盛大に催すことになり、その豫行を二十八日午後二時から行ふが、參加人員は六千をこえる模樣である、なほ京城放送局では觀兵式の模樣を放送したいと的野放送部長は廿五日師團司令部および廿師團當局と打合せた、多分觀兵場にマイクロホンを据付てりうりうたる行進ラッパの響きと共に歩兵行進の足音騎兵行進の堂々たる蹄の音、轔々たる砲車の響きなどを放送し分列式の壯觀を目の前にほうふつたらしめることになる模樣である

民明の妥協成る
廿四日夜の協議會で
双方とも大讓歩

【東京電話】民政黨が日本倶樂部において廿四日午後十一時半民政黨の安達、小橋、小山、小川、富田の諸氏と日本倶樂部に出て昭和、岸本、山崎、尾崎、小山氏等と會見し、民政黨としては政治的國難決議案と内相彈劾案とを分離せず、即ち明政會の主張するところの不分離に根本的な大讓歩をなすことに決定した、但し政治的國難の趣旨、實業の公認三箇國の根本方針の如き實行不可能の事項は明政會側の讓歩を求むることゝなり、明政會側もこれに同意するに至りこゝに民、明兩派の交渉成立を見るに至つた

民、明兩派間に成立した協定案
政治的國難決議案と内相彈劾案は不分離

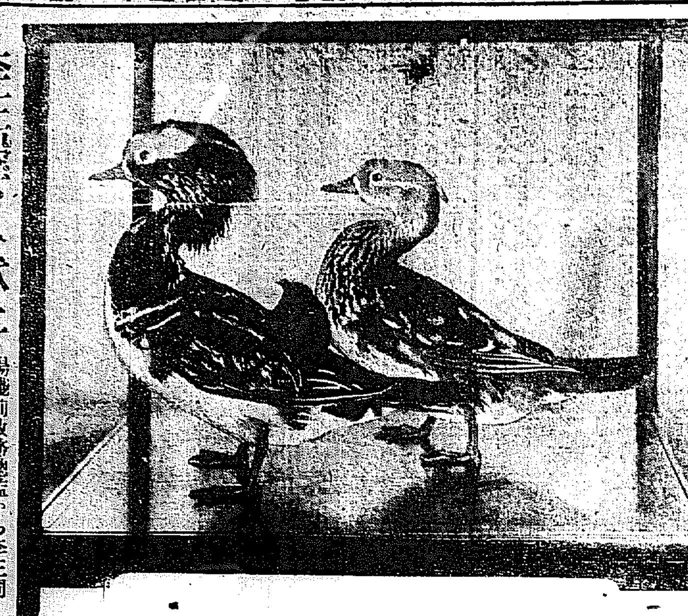
【東京電話】民政明政協定成立の條件左の如くである

一、政治的國難決議案中内相彈劾の部分と政策の部分とは切離さず原案通りの形式とすること

一、政治的國難經濟的國難兩決議案は同時に提出すること

一、政治的國難決議案中司法警察權を地方長官より取り去り之を檢事に專屬せしめ且つ檢事を司法大臣より獨立せしむるの條項は其の主旨を認め辭句を緩和すること

一、經濟的國難決議案中第一項「軍國設出の約一割節約」とあるを「大削減」と改め又第四項「財產稅相續稅並に超過所得稅の累進稅率」により三億圓内外の財源



李王殿下へ献上

湯淺前政務總監から李王同妃兩殿下に獻上する鴛鴦

民政黨の聲明
民明交渉成立に關して

【東京電話】民政黨は昨夜左の聲明を發した

今夕（二十四日）日本倶樂部に於いて民政黨の安達、小橋、富田、小山、小川、一宮の六氏と明政會の山崎、岸本、小山、鶴見の五氏と會見の結果内相彈劾案については意見一致したるが他の條項については腹藏なき意見を交換して大體一致點を見出すに至るべしと思はるゝが明政會に於いては他の友黨と

本會議の模樣を見て提出

【東京電話】民、明兩派の交渉成立の結果民政黨では直に革新、無所屬派に對してこの旨交渉し、明政會の鶴見氏は尾崎氏に交渉して同意を求むることになつた、なほ二十五日午前九時院内において各派と協議して正式の案文を作成決定し午後の本會議の模樣を見て提出するかも知れない

の關係もあるから諒解を保留してなるべく速やかに回答することに決して午前一時一先ず會見を了した

兩代議士自決案
今明日に上程
共産黨事件眞相發表後
議事進行の模樣で

【東京電話】小川鐵相、秋田、東武政務官、與黨幹部は二十四日夜鈴木内相官邸に參集し新黨代議士水谷、山本兩氏の自決案は二十五、六日中に本會議における政府の共産黨事件眞相發表後議事進行の模樣により至急上程することゝなつたなほ兩氏と共に處分すべしとされてゐる民政黨某代議士については政府部内に於て搜査の結果共産黨員として登錄され第三インターナショナル本部より數回の指揮を受けた事實はほゞ明瞭となり今後當然なる警務部の手續として調査を進行さるべき事情にあるとの理由で民政黨議會側とは別個に兩代議士の自決案と分離されることになつた

質問通告者
齋藤氏以下十名

【東京電話】國務大臣の演說に對し質問を通告したもの左の如し

齋藤隆夫、鳩山一郎、鈴木富士彌、永井柳太郎、中西六三郎、小川郷太郎、小山谷藏、中村啓次郎、中野正剛（以上民政黨）椎尾辨匡（明政會）

を求める」とあるを改め「三億圓」の文字を削り且つ「右の方針を以つて具體案を研究するため調査機關を設けること」とすること

民明の提携で
彈劾案活氣づく
提出された場合の
賛否の豫想數

【東京電話】明政會と民政黨の歩調がとゝのつた結果不信任案は俄然活氣がついて來た譯であるが同案に對する賛否の數につき種々の場合を豫想して見ると左の如くである

尾崎、長島、田崎及び明政會全部が不信任案に贊成する場合を豫想して

政府側　二百二十九名

政友會二百二十名▲實同三名▲無所屬六名（元田、守屋、敬藏、福井、田淵）

野黨側　二百二十九名

民政黨二百十五名▲革新二名（一田崎、大竹）▲無產黨七名（安部派）▲無所屬三名（清瀨、尾崎、長島）▲明政會七名

計　二百三十四名

尾崎、長島、田崎三氏が不信任案に反對の場合

政府側　二百三十二名

野黨側　二百三十一名

尾崎、長島、田崎の三氏及明政會の椎尾、山崎、岸本の三氏が不信任案に反對の場合

政府側　二百三十五名

野黨側　二百二十八名

平沼氏園公を訪ふ

【東京電話】平沼樞府副議長は二

不信任案一蹴は
確實と政府は樂觀
共産黨事件經過の發表で
氣勢を挫くと觀測

【東京電話】政府側は廿四日議會において常任委員の選擧以上の好成績を收めて常任委員長は豫算委員長以下四委員長を悉く自派に占めたるは全く政府擁護の證據である上に形勢に傾いて來た、民政黨と明政會の提携はその成立したる以上最も實は明政會中の幾部は必ず從はざるに有利の行動をとるべく、尾崎、長島兩氏も戰なる政爭を目的とする行動には贊成し難しと表明しおり、政府に有利なる行動をとるべく更に不信の結果において政府が説明する共産黨關係事件の經過を知つては形勢は一層政府に有利に展開するものと推測し、從つて大體政府の動向通り有利に展開さるべしとしてゐる、從つて今後の形勢は全く豫想の通りによると三十一、二名の各派は出來るだけこれに加はるべき事となつた、目下のところ政府は不信任案の賛否數を左の如く見てゐる

政府側　政友會二百二十名、實業同志會三名明政會三名（椎尾、山崎、岸本）中立六名（尾崎、長島、守屋、堤野、堤、福井）計二百卅三名

野黨側　民政黨二百十五名、無產一名革新黨一名（田崎）無產黨七名（安部派）革新黨一名明政會四名無所屬二名（清瀨）計二百二十八名

山東出兵部隊
先鋒青島着
直ちに濟南に向ふ

【青島廿五日發】山東出兵部隊の第一船アメリカ丸は廿五日午前六時入港部隊は在留民の熱誠な歡迎裡に下船し埠頭に整列特別列車に搭乗し午後一時全員六百名は濟南に向つた、濟南着は明廿六日午前三時の豫定である

林總領事着奉

【奉天二十五日發】林總領事は多數官民に迎へられ本朝六時奉天着總領事館に入つた

野黨聯合
大懇親會
會するもの
四百餘名

【東京電話】解散據應野黨聯合懇親會は二十四日午後六時より東京會館に開會、床次民政黨總裁始め各黨代議士、明政會鶴見、椎尾、山崎、小山、鶴原、岸本の諸氏、革新の大竹氏無所屬長島、田淵氏その他約四百名參會、床次、長島、岸本、椎尾、小川（郷）諸氏等こもごも野黨の結束を強調して同九時散會した

大禮費審議の
衆議院豫算總會
開會後直ちに休憩
午後再開に決す

【東京電話】御大禮豫算を審議すべき衆議院豫算總會は二十五日午前十時二十五分開會されたが民政黨委員諸氏の動議により直ちに休憩午後二時再開するに決したるが共産黨事件眞相報告（並びに思想聯盟決議案）緊急上程となるはず

【東京電話】小川鐵相は廿五日午前東京驛發列車で興津に赴き西園寺公を訪問するはずであるが政界の極めて緊張してゐるこの際右訪問は大いに注目されてゐる。

大禮豫算は
本日中可決

【東京電話】衆議院各派交渉會は午前十時院内に開會、大禮豫算案につき民政黨側より本日の本會議において首相演說より提案理由を説明したる後明廿六日委員會を開き午後の本會議で可決したしと希望したが政友會側は民政黨より何等の異議なく議會の提案が延ないから一日も早く通過したいと要求せる處あり今日中に片づけたいと主張し協議の結果本日中に可決し貴族院に回附するに決した。

衆議院
本日の會議順序

【東京電話】二十五日の衆議院は午後一時開議大禮豫算案提出（首相說明）休憩、豫算總會開議、大禮豫算案附議決定、本會議再開、大禮豫算案即決可決（議長宛）

民政黨獨自の
不信任案
明政會案とは別個に

【東京電話】民政黨は二十五日午前九時五十分院内に代議士會を開いた結果明政會提案の政治國難決議案と別個に同黨獨自の總括的不信任案を提出するに決したその主文並に理由左の如し

主文

衆議院は現内閣を信任せず須く處決すべし

理由

一、對支出兵の失敗、一、財界救濟の綱紀廢止、一、選擧干渉、一、怪文書問題、一、議會政治否認、一、人權蹂躪人事行政の失敗、一、暴力政治言論壓迫、一、治安維持

武藤氏民政黨より除名

【東京電話】民政黨は武藤七郎氏を左の理由で除名した

武藤七郎君は政府某大官の誘惑に陷り黨規を紊亂せるものと認め依つて黨規第六條に依り除名す

田崎氏の
行動を監視
委員長選擧に
政友會に投票

【東京電話】革新黨の田崎氏が豫算委員長選擧の際、政友會に投票し府崎一氏等は黨議決定後、某所に會合し二十四日田崎氏が豫算委員長選擧に當つて最初政友會に投票した行動を承認したが田崎氏は政友會に投票しても政府不信任案には贊成する旨を言明してゐるから暫くその行動を監視することになつた

孫軍濟南到着

【北京廿四日發】孫傳芳軍約四千は廿四日濟南の郊外に到着無秩序なるも未だ不穩の行動に出でず

明水に土匪蜂起

【北京廿四日發】山東省鐵道沿線明水に土匪起り附近騒擾を起し濟南より鐵道警備隊出動中

長輿より
順天へ
南鮮巡視中の
山梨總督一行

【順天特電】廿五日朝七時總督は長輿旅館から五町の三綠山麓に長輿の産業專賣各公分合長以下四郎氏等一千本植つけすでに廿だも延び鬱蒼たる杉檜林を觀察した、大正九年頃着手杉の植林は同氏の功を賞したるきに總督は苗のが成績はやがて朝鮮一の模範林となる全鮮に誇るべき將來の模範林に行くであらう、宿は驛前に朝食をすまし八時長輿を發し寶城に赴く、途中觀察し山道二十五里を突破し、瑚巖立寄り途中得糧郡の小學校に出張し都を記念に順天に向つた、寺院察の上孔子を祀る鄕校文廟を訪ひで參觀し、都洞觀察の上のち一時半順天に向つた

寸評

◇日本出兵するも濟南あやふし。出兵したからあやふいのか、出兵が足りぬからあやふいのか。

◇西園寺もうで、※部を拜見するに水野文相、安達總務、それから平沼副議長。

◇君、なんか大阪より赴いたで、「夢のごとき中間内閣」理由づけれぱつけられるんだから不思議でせう。

◇尾崎内相、武藤大官、金澤參與官……何だ、それは。

◇ミンといひメイといふ、ひつきやう馬と牛との相違に過ぎぬ。牛を馬に乘り代へるものあるも不思議でなく、民、明接近し來るも何等不思議はなからう。

◇期かるゝビラより、飛ぶ噂を注意せよ。病根は政府低氣に無く何個小間物にあるのだから。

會……●……
總裁京城憲兵隊長歡迎會　廿四日午後六時半京城ホテルに憲兵

人

◇鴻田錦彌氏（慶南道士）二十四日朝入城巴旅館へ
◇鈴木三一氏（朝鮮煙草專賣役）二十五日午前七時入城山本旅館へ
◇小倉武之助氏（大興電氣社長）同
◇岸田常一郎氏（大阪商船釜山支店長）二十五日朝入城美園へ
◇三島良之助氏、大阪商事會社員同上
◇磯部鎌哉氏（朝鮮煙草專賣役）二十五日朝入城不知へ
◇平田駿一郎氏（國際通運會社取締役）二十四日夜來城三、四日滯在の見込
◇小林四生氏（歩兵三七旅團長）
▲歸國大尉（同副官）廿五日入城朝鮮旅館
◇齋藤龜治氏（慶南警察部長）廿四日夜入城御成旅館
◇目賀光爵氏（飛銀）頭取）安井秘書課、帶同廿五日朝南鮮へ（十日間の豫定
◇古宇田誠氏（前商銀專務）東京府下杉並村高圓寺五四八に卜居

劍俠艶魔
幕末秘錄
（其二十三）渡邊黙禪

くろんぼ

その時勇吉は刀を把つて猛然と立ちあがつた、與八は驚いて

「旦那どこへおいでなさいやす」

「お手前だちに迷惑をかけては相濟まん。そとへ立出で、一暴食腕のつゞくだけはきりまくる所存」

「ま、まあお待ちなさいやし。私がなんとか計らひますから、暫くお委せなすつて……おい金用聞。ソレそこにある衣裳をとつてくれ、エゝそれぢやない。褐色の汚ない衣裳を」

「どうぞ御存分に……少しでもお腹立ちを受けるやうなことが御座いましては皆様の御ひいきにあづかるこの身が立行きません。へヘ……どんな無法者かと存じませんが、人騒がせな不埒な奴でございますなア

こういふうちに與八はどつかりと掴み、袖の所の模樣。雨除の覆梁はめくられ衣裳やつら組は縛き散らされ、

「さ、これでよい。旦那」クロンボのつもりで、あつちの樂小屋に隱れておゐでなさい。めつかつたら、何をいはれてもチーチーバーバーで通しておしめえなせえよろしうがすか」

さゝやいてゐる時に表からドカドカといふ足音、隣の見世物小屋を嗅ぎ廻つた新選組の一隊が木戸口と樂屋口の兩面から、ストームのやうに亂然と駆け込んで來た。隊は總て兩勇吉の手を引き廊下から抜け出して樂小屋へ駈込んだ。それと殆ど入れちがひに拔刀した五六人の壯漢がドヤドヤと闖入した

「モシ、旦那方、何事でございます。もしや泥坊でもこの邊に逃げ込んだので、それを御詮議なさるツてえ譯でございますか」

與八は勇吉の態度と大小とを手早く衣裳の底にかくし落つきはらつた挨拶をした。

「いや、泥坊以上の科人を取押へるための詮議ぢや。これはそなたの持ち小屋か」

「はい。左樣でございます」

新選組の小頭安藤儀助がからつて眼をきよろつかせた。

「では一應小屋中を改める。左樣心得い」

方だく、もし旦那。そのお召物をそつくりお脱ぎなすつて下さい。まア何でもいゝから。」早いとこ、早いとこ

與八は口早にいつて、板壁にかけてあつた座敷の仕事衣を闇に取りはづさせた、そして自分で勇吉の衣裳と袴とをばぎとるやうにして、そつくり支那服に着かへさせた。それは變な臭氣のにじみ込んだ垢だらけの縮布の褌（股引）と短い衫（上衣）背心（袖なし）等で苦力などの着る物であつたそして頭に小帽をかぶせて見たが、相貌がどうも支那人らしくない。

「困つたなア、こいつは……よんどころ、旦那失禮します。おい、金用聞。その墨をお顔に塗つて上げろ。構はない。成るべくコテコテと……早く、早くッ」

與八の機智——顏は顏の腹取に用ゆる墨をハケに含ませて、勇吉の眞ッ向眉間に筋矢とまみる。

「ヤッ、これはハヤ」

さすがの猛者も顏をすぼめ眉をよせ口をゆがめて苦しい微笑をきざんでゐるうちに、無遠慮なハケは電光のやうに躍つて、顏から首筋、手足の爪先まで眞ッ黒々、

下は槍で突かれる、一方には座員の唐人といへども怒らずひつ張り出されて一々首實檢。鬼の手は更にのびて樂の空地に設けてある樂小屋にまでおよんだ。

與八はじつとして座を立たなかつた。が、精神は顏の手に汗を握りながら一心に故郷長崎の諏訪神社を祈念しつゞけた。

眠醒す惣と提灯の火かげに、先頭に立つた侍の手槍の穗先がきらくと閃いた。續いて白刄をさげた者が二名。トッと樂小屋の前に進んだ時、なかゝらプップーといふ異様の聲が洩れた。後の呼聲である。

あすの天氣【26】

高氣壓は關東から半島に擴がり滿州北部には低氣壓があり、揚子江沿岸には低氣壓は適當にある全鮮一般に亘つて氣温は昨日より五度内外上つた、明日は天氣が悪くなる

豫報　曇雨模樣

氣温	
正午	[illegible]
最高	[illegible]
最低	[illegible]

大阪優良品商店案内

大阪市谷町一　石尾仁三郎商店
商店二限リ生地賣致　相場表進呈

洋服各種
裁縫品卸商
印雀孔へ標商

新見本進呈
夏物合服　小倉服地卸
大阪市谷町二丁目　中森商店
電話東四五〇六番、振替大阪四〇〇〇五番

ステッキ　太陽印
パイプ　用印
製造卸
◎西 印洋服附屬品其他流行各種雜貨
大阪市東區南久寶寺町四丁目心齋橋角
西海作治郎商店
電話船場一九二〇番・四十八番　振替口座大阪一六六〇一番

王冠의界가디스

見本進呈
蝶票洋傘問屋
合資會社　横田商店
大阪市東區北久太郎町四丁目心齋橋筋

店内陳列　絕對正札
有名アイジ靴・イーグル靴　發賣元
ゴム皮製　各種クツ卸專門
申込次第型錄進呈
大阪市南區順慶町心齋橋北
山下芳松商店

兒童服・學生服・婦人・運動服裝
エプロン
販賣拡張中　卸問屋
店頭掛印シテ申込スルカ三限リ型錄及相場表送呈ス
トライヌ印裁縫品發賣元
大阪市東區南新町四丁目
廣島二雄商店
電話長船四〇八番

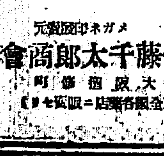
一組小卸價格寄附
現代女子學生家庭婦人必需品
先金十圓送付スル方ニ限リ各種見本四組進呈
婦人用品卸問屋　リボン、レース、手藝品、技藝材料一式
大阪東區瓦町二丁目
中井省輔商店
電話東二三五番、振替大阪六〇九八番

小倉服地
夏物向見本發行
店頭掛印シテ申込スルカ二限リ見本送呈
大阪市東區谷町二丁目
木下佐商店
電話東一八六五番

裁縫用品卸
手藝
◎リヤン見本帖◎
◎定價表進呈◎
大阪市南久寶寺町四丁目
龜井商店

虎印改良メリヤス・ハラマキ　新案春夏物品揃
ネビエシラズ腹巻
メリヤス雜貨
運動服裝小兒服
綿布加工品一般卸
合資會社　吉川長商店
大阪市東區内淡路町二丁目
商標登錄　春月

眼鏡印
肝油
用材補・用庭家
酢の素
メガネ印肝油製造元
伊藤千太郎商會
大阪道修町
（全國各藥店ニ販賣セリ）



母國語を愛する 謡歌詞は創作の第一歩
誤まれる世界主義の上へ 永井郁子女史語る

【釜山特電】廿七日夜公會堂において開催される本社主催の獨唱會に出席する永井郁子女史は廿四日夜釜山において半島における最初の熱意を投げかけたが、女史は陸行後の疲れも見せず花やかな顔もかゞやかに語り出す

×

ある音樂家が、モイセヰイツチを聞いて、急にその演奏旅行を無期延期になすつたといふ。わたくしはその話が事實であつてほしい—と、つらく感へさせられたのです。」

×

日本人の手は、西洋人のそれに比べて平均一インチは短いといひます。その日本人が、西洋人を基礎にこしらへたピアノを勉強次第では弾きこなしうると思つてゐるのが、そもそもの誤り。わたくし達は、やはり自分等の體格にピッタリ合つた樂器をつくつて、そして日本人獨得の音を出す事によつてピアノを直ちに「自分のもの」とすることが出來るのではないかと思ひます。管もその通り、トロンボンだとかホルンのやうな樂器は、西洋人のあの大きな身體によつて初めて吹きこなしうるのではないでせうか。聲のはうもまた、テナーだとかソプラノだとかえらさうなことはいひますが、眞のテナーやソプラノが日本人の體に生れようはずはないのです。要するに、今のわが洋樂家の有樣は、ちようど外國に洋服のレディーメードを仕入れて來て、それをそのまゝ着用して、どうしたら體に合ふやうに着こなせるかと、もがいてゐるやうな滑稽を演じてゐる姿ではないでせうか。

×

樂器の改良とゝもに、これに伴ふ名曲が現れなければなりません。今までの日本の作曲家のものは、譜の上では可成りむづかしく技術的に書かれたものが多いが、歌つてみてあつけないこと夥しい。シユーインやシユベルトの古酒へチヤイコフスキー、ラブエルといつた新酒を交へ、そこへお國の民謡風のものを入れてセーキしたコクテールでは、モボ、モガ以外の日本人には、醉ひ心地のよくないことはいふまでもありません。

×

そこへいくと、さすがに本場ものは、國語では極めて簡易なやうに見えても、ひけばひく程、歌へば歌ふほど味が出ます。一體、作曲をする程の方は、管絃樂でもどしどし書きうる腕がなければ長い曲の出來ようわけがありません。そして、これからの作曲家は、もつと〱邦樂の研究に專念してほしい。

×

さて、天才的作曲家の出現までの過程には—邦樂のことは暫くいはず、わたくしの領域である洋樂の方面について申します—西洋の名曲を國語に譯して歌ふが、一ばん自然のやうです。音樂は決して一部の階級者が一生懸命にまなんで來てきくべきものではありません。生活のないところに藝術のあり得ようわけはないのですから、やはり民衆に理解され、そしてその生活と密接な關係を持つやうにしなければならないかと信じます。(つゞく)

助演の人 上…大平雪子孃、下左…佐藤令山氏、下右…太田よし子女史

故殿下の大祥祭 二日夜孝寧殿に御親祭
李王殿下の御滯在は半月位 韓李王職長官歸る

李王同妃兩殿下の御迎へを申し上げた李王職長官韓昌洙男は廿五日歸任、長官室で語る

李王同妃兩殿下には德惠姫宮を御同伴二十九日夜、東京御出發一日夜京城へ御入り遊ばされる、大祥祭(御三年祭)は二日午後九時頃より孝寧殿において李王殿下御親祭あそばされる、同夜敬谷殿でも同時刻に守殿官にて大祥祭を執行されるが三日正午には別祭の儀があり、これより李王殿下故李王妃殿下以下王族の素服に替させられ大祥祭より三月目に禪祭が執り行はれる、禪祭終了の後李王殿下の故李王殿下の御位牌を宗廟に移御し奉るがこれを祔太廟と申し上げる、これで御喪があけるので李王殿下も昌德宮に戻るのである、李王殿下には大造殿におはし德惠姫には觀明殿や樂善齋の故妃殿下のもとにも御出入あそばされるであらうが李王殿下には約半月の御滯在で大祥祭後は裕陵その他の御陵に御參拜あるはずである

移住實行は 六月の滿期兵から
昭和九年度までに 四十五組を移す

羅南師團管下駐屯部隊滿期兵の豆滿江移住計畫は今年六月滿期除隊兵より着手の豫定で計畫者武井中佐は各方面の援助に

極力 努力してゐるが、第一期計畫は今年六月より昭和九年に至る七ケ年間に實行組約四十五組(一ケ組は十ケ戸で組成)を咸北國境方面を中心に移住せしめ約五百町歩の耕作地を開拓する外森林原野山林一千一百町歩を開墾し農業經營に開墾をなさしめ本部は今年より向ふ十ケ年間を第一期とし咸鏡山林事業に從事を

完成 すると共に放牧地約六百町歩、果樹用、林野二千町歩を經營するにあるが、以上の第一期總經費は約三十萬圓であるしかしてこの計畫による移住兵は軍人精神を基として、全力を盡くして開墾するは無論であるが補助は左の資格を受ける定めである

一、開墾地は土地所有權の狀態により二分の一乃至四分の三の分與を受く

二、第一年四月より翌年十一月まで二十ケ月間生活費として一月平均二十圓づゝその他の補助金として五十圓乃至七十圓の給與を毎月受くるものとす

三、第一年度において農具および種子その他一頭の牛馬の分與を受く

四、第一年度より第三年度までに土地改良費その他の農資の給與を受く

五、第一年度より第四年度までの收穫物の收益を受く

取移住者の **義務** として使用朝鮮人には耕作地收穫高の五分の三以上を與へ土地は他に賣却を許さず收穫により賠償する等の定めがある

美德涵養の 勤勞主義へ
實施の機うごける 朝鮮の青年訓練所

青年の心身鍛錬と國民たるの資格向上とを目的とする青年訓練所の設置がいよ〱近く總督府令で公布せられることになつた模様である

規程 は內地のものと異るらしいが、すでに第二十師團管下では慶北の酒川、大邱、方魚津および全北の南原では青年訓練所の如きものとして小學校長や在郷軍人が指導者となつて訓練をはじめてをり、馬山實業青年團でもその準備をしてゐる、また第十九師團管下では漢陽に青年訓練所が五月一日から開かれ、咸興でも近く開く模様である、たゞ懸念されてゐることは朝鮮青年をも青年訓練所に入所させることになると、兵役義務のないのに訓練を受けても仕様がないと朝鮮人側に

誤解 されはしまいかといふことである、然し青年訓練の目的は勤勞主義の教育によつて規律、節制、協同觀念などの美德を涵養さすことにあつて、軍國主義の吹き込みでも何でもないことが理解されたならば朝鮮青年も喜んで入所するに至らうといはれてゐる、現に內地では、せむし、びつこ、おしなどの不具者でさへも青年訓練を受けてゐる者が多く、自分達は不具者で軍隊へは到底入れぬがせめて訓練だけでも一人前になりたいといふてゐる程である

高齢者調べ

京城府內各署では目下一齊に八十歳以上の高齢者調査を行つてゐるがこれは今秋の御大典に際して天盃を下賜されるについての調査である

出漁船顛覆 乘組員行方不明
難破船は蔚山の東面へ打上げらる

【大邱特電】慶北盈德郡南面江口里漁船第二號(五名乘組)は二日午後十一時頃沖合に出漁中風浪の爲に遭難し船は蔚山郡東面海岸に漂着せるも乘組員五名は未だに行方判らず目下極力搜査中である

變更されるバスの路線
遊覽本位から 實用本位とする

京城府營バスは開業以來三日、今日までは頗る好成績であるが、バスの路線については不合理なる點あり府民の間にもこの

變更 を希望するもの多く府も目下研究中であるが、現在の路線では何等實用に適せず單に春の遊覽に乘車するものゝみであり實用に適する路線に變更せんには監督上級官廳と府とに意見の相違ありこれも簡單に解決し得ぬ事となつて居る、府が最初、バスの營業線を出願した際は、京城驛を起點として南大門、太平通より總督府前に至り安國洞に出て若草町を經て、憲兵隊本部前より大和町を通り日の出小學校横より壽町永樂町を通過、黄金町通りに出て南大門通りより京城驛に歸着し同線を

往復 する事になつて居たが、京畿道保安課はこの認可に當たり本町署と協議をなし日の出小學校横をバスの驛走は交通上危險少からずとなし同處に巡査駐在所を府費を以て設置附すれば同線の認可を與ふると府に申渡したが、經費乏しき府はその新築費がないため遂に認可とならず現在の路線即ち

▲ラツシアワー ▲遊覽線 京城驛、南大門、太平通、總督府、安國洞、若草町 一、京城驛、南大門通、黄金町通 二、京城驛、南大門通、黄金町、運動場、[illegible]

が認可となつたものであるが、この營業線は內地人町を通る點の少ないのと、電車線と全部併行するため、バス本來の使命を發揮して電車と徒らに競走せるにすぎず

電車 もバスも共に不利を招き、これに反し、當初府が立案せる路線によれば、若草町、大和町の如き電車線に遠きケ所も通り實用にも適し、又、內地人町を通るので、現在の遊覽本位の路線とは全然おもむきをことにするが、巡査駐在所一個の新築問題にからんで、路線の不合理を見てゐるのは寄怪だとの説が行はれてゐる、府のいひ分によれば、日の出小學校前をバスの通る場合を豫想して同校では校舎と運動場間に陸橋を架設する事に決定してゐるので、バスの驛走には毫も差支なく、殊に徐行する事になつており

壽町 の通りは現に大型自動車が通過して居るので、かゝる點よりみて同營業線の認可を望んでゐるが、新築問題で、認められざるは遺憾とされてゐる、がこの問題は今後府公職者間の問題となり相當の論議を生むものと豫想されてゐる

省線電車 脱線騷ぎ
重輕傷廿八名 東京府下において

【東京電報】二十四日午後五時廿六分省線蒲田驛發赤羽行き六輛連結電車が田端驛構內に入らんとせる際脱線顛覆負傷者廿八名を出して大混雜を呈したが幸ひ死者はなかつた

マッチ遊びから出火

京城府鈴洞五一に住む外人の雇人李聖來方より廿四日午前十時頃出火し、間もなく鎭火したが原因は子供のマッチ遊びで損害五十圓

蠅取デー

本年最初の蠅取デーである廿五日は未明から府衛生課各署衛生係が主體となり或は下水溝の消毒、蠅捕獎勵の大宣傳ビラの撒布、蠅取紙等の各戸配布など大童となつてさながら戰場の如き大活動である、また汚物運搬車の如きもひら〱と蠅取デーの小旗をなびかせ街頭に店頭に蠅取デーの氣分がみなぎつてゐる(寫眞は府廳舍に勢揃ひした宣傳隊)

停留所でも 啀み合ふ
これも一問題を生もう

府營バスの營業線については府と上級官廳間に意見の相違を來してゐるが停留所問題でもかゝる紛擾あり、現に鐵道局の停留所の如きは自由勞働者が蝟集し、交通も頻繁なる鐵道線に設けてあり、府が希望せる總督府舍前廣場に停留所設置は不許可となつてゐる、之がため同停留所は自由勞働者の群で隱されて人目を惹かず、殊にバスの停車で乘降の都度頗る混雜を來してゐるが、府の希望なる廣場に停留所を設ければ、かゝる事のないことは明白で、こゝにも保安當局のバスに對する無理解があるといはれてゐる、現にタクシーの停車には總督府前廣場に停車を許してゐるので、バスに對してのみ許可しないのは路線問題と共に疑問を生むであらう

バスの運轉手試驗

五月一、二、三日毎午後一時から東小門外平山牧場廣場において府營バス運轉手試驗を執行するが希望者は廿八日までに[illegible]

青年諸君の爲めに 鶴見先生執筆

素晴しい大衆作理想小說『二つの世界』を『雄辯』五月號より掲載、高潔の感、奔放の文、何人も感激

府の觀櫻音樂會

京城府主催の觀櫻音樂會は府民に大好評であるが、引續き左の二ケ所で演奏を行ふ

パコダ公園音樂堂(四月二十五日午後七時半)▲京城府歌▲突撃マーチ曲▲喜劇曲マルタ▲円舞曲カルメン▲序曲オルレアンス少女▲ハンガリエンダンス第五▲スタバートマテノ休憩▲マーチ曲星旗

社稷壇公園 四月二十六日(午後七時半)▲京城府歌▲拔錨曲英國の民謡▲和曲梅にも春▲ワルツ曲ドナーウ河漣・朝鮮俗曲▲カテリ曲樂出▲和曲黒髮▲西班牙人の舞踊マーチ曲

創立者銅像の除幕式
延禧專門で

京城延禧專門學校では同校の創始者故アンダーウッド博士の銅像を校庭に建設すべく準備中であつたが校友會が中心となつて奔走してゐたがこの程すべてを終つたので來る廿八日午後二時より盛大なる除幕式を擧行することになつた

現金三百圓を拐帶

京城府中林洞五一、林世植は廿五日午前六時頃兄の現金三百圓を拐帶行方を晦ましたので搜査願ひを西大門署に提出した

天長節奉祝
仁川の催し

諒闇明け最初の天長節である來る廿九日には仁川では官民を擧げて奉祝すべく目下準備中であるが當日は府尹および會頭發起の下に正午から山手町公會堂において官民聯合の大祝賀を催し夜は府尹招待の祝賀者が公會堂において歡待されるはずである(仁川)

人力車檢査

鍾路署では廿三日より四日間の豫定で管內三百八十臺の人力車定期檢査を施行してゐるが今年は例年より嚴格に行ふ方針で不備の點はどし〱摘發してゐる

忠全線速成陳情

目下鐵道局に於て著々進工を圖りつゝある、忠全線の建設に依りて將來府に鐵道線と連絡して麗水に通ずる事となるにつき急速に線路調査を成したる鳥致院邑民公州論山を經過して江景に至り、更に全州に延長する、忠全線の建設の速成促進に關し、同地促成會より當局に陳情する筈であつたと

ア式蹴球大會

大阪朝日京城支局主催、朝鮮體育協會後援の第二回全鮮ア式蹴球大會は二十八日三十日の兩日京城運動場に開催するが參加チームは左の如く組合せ抽せんは二十六日行ふ

▲セブランス醫專▲儆新學校▲普成高普▲普通學校▲協成實業學校▲鐵道局▲普成專門學校

庭球老童チーム

鐵道局では三井、山本、松野技師等發起の下に今回テニスチームの老童團を組織したが團長には今村前局長を推し府內各チームの挑戰に喜んで應ずると

戸島氏令息死去

京城商業會議所顧問戸島祐次郎氏長男順一郎氏は二十四日午前六時半死去廿六日午後四時途中葬列を廢し南山本願寺にて告別式執行

今日の話題

【ロンドン發聯合通信】三月廿九日に第廿二回目の誕生をし記録の數を又一ツ加へられた英國皇太子殿下は今度け一寸河岸をかへて自轉車競爭を試みられる事となつた

◇

競爭の相手は宮殿の庭丁長として有名なサンゾル市長で今年八十歳の老人ワキルヤム、カーター翁である

◇

翁は年こそ老いたれ紅顏十八歳にして自轉車に乘習ひたるこのかた雨が降らうが風が吹かうが一日として自轉車にのつて運動するのを缺した事はないと自ら誇る古强者である。

◇

翁が當々皇太子殿下に拜謁した折りにふと今も猶自轉車運動を續けて居る旨を言上すると殿下はいと興を催され高齢翁の如くにして運動するとは驚くべき元氣であると翁の老いて益々盛んなるを賞讚せられた

◇

これが動機となつて皇太子殿下より競ひをお挑みになつたのである。この競爭が一度傳はるや大評判となりロンドン市民はその日の來るのを今や遲しと待つて居る

第八回全鮮女學生庭球大會

時日 五月六日 午前十時から
場所 京城運動場コート
資格 朝鮮在任の女學生たること
用球 丸菱ボール(詳細は追つて發表)

主催 京城日報社

株式會社 増田屋商店
京城 仁川

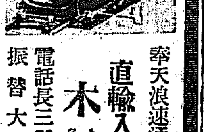
洋式簡易
文化と共に生れたナニワホテル
大陸の玄關たる大連市繁華の中心(浪速町伊勢町角)に五層樓新築し室內凡て洋式暖房エレベーター自動車等完設し簡易と便利をモツトとして營業仕候所各位様より多大の好評と御引立を蒙り日に増し隆盛に赴き候段厚く御禮申上候御來連の節は是非一度御試泊の上御批評御指導被下度奉願候
一室料 三圓以上五圓は風呂便所附(御一人増毎に五圓増)
地下室に食堂の設けがありますゆ御利用下さい
大連市浪速町伊勢町角(電話三三四五番)
ナニワホテル

大
ホシ大ソース

みのくち式 渦巻ポンプ
東京荏原郡品川 荏原製作所
京城府黄金町二丁目 京城出張所
大阪北濱 大阪出張所

色白くなる
色黒き方赤き方アレ性ニキビソバカス日にやけた御方は三錢切手封入御手紙下さい色白く美しくなる良藥を封書にて御知らせ致します
東京本郷區本郷二ノ玄 久保とも子

來る秋の受驗準備
○普通文官科(速成)
○普通學校第二種教員科
京城受驗學院
若草町大通り電停牛丁

奉天浪速通り六番地
直輸入卸小賣
木村洋行
電話長三三四・一五四五
振替大連三六三三

歐米各社製 寫眞機材料
獨逸ツアイスイコン、寫眞機、器具
同カールツアイス、鏡玉、双眼鏡 輸入
定價表進呈
支店 大連市西通り二丁目三五
電話長六七四九

小兒科 一色病院
入院普通及傳染病室
京城本町二丁目

膳寫版
レミントン膳寫機
自動式輪轉膳寫機
製造卸
特約店募集 型録送呈
金山 山口洋行 大阪町
電話長四四二番

學窓を出て（22）

高女時代は籠球の選手
洋裝がよく似合ふ
永瀬松枝さん

洋裝がよくにあふ永瀬松枝さんは[illegible]を卒業されたお方、お宅は[illegible]町一丁目九八番地門番へのある文化住宅、記者の通された座敷そこで松枝さんを中心に城大法文科に在學中の兄さん、と母さん、それに記者、計四人の談話に時は過ぎて行く。◇

まづお母さんから『ほんとにやんちやなのです、たけばかり私よりのびてもまだ子供です、第一高女を卒業しまして少時東京にやつて居たのですが病氣が出來るとき『女一人東京へ行かしておくのは』と思つてゐた矢先丁度と思つて呼び戻したのです、これからは家にあつて私に代つて家事をと思つてゐます』◇

『どうです兄から見た妹さんは』兄さんに質すと『いくら大きくなつてもやはり妹といふ感じはありますね、時折大きくなつたなーと一人でつくづく感心する事はありますがね』◇

『母や兄がまだ子供々々つていふのが殘念ですでも母の目から見れば私のする仕事全部がまだあぶなく思へるのでせう』◇

第一高女時代は大垣さん達と一緒になつてバスケットをやつておりました、その時は顏の色もまつ黒でしたでも非常に愉快でした。◇

手藝は琴風で專門的に教はりました、今日ではどうやらこうやら自分のはりだけは作れます。と最後に松枝さんは語つた。

日本人の食品はヴイタミンAが少い
塵捨場を見て笑ふ西洋人

專門の學者によつて行はれた最近の試驗によるとわれ〳〵日本人のたべてゐる食物には一般に歐米人のそれに比較してヴイタミンAを含む量が少いといはれてをります。それはなぜかといひますと、料理にする材料の選擇にもよるし、調理の際加熱しすぎる結果もあります。特に材料の點において或る西洋人が日本の

埃捨場を見て野菜の葉や魚や臓腑類が澤山すてゝあるのを見てなぜ日本ではかやうに榮養價のある食品をすてゝしまふのかと不思議がつたといふ話ですが、ヴイタミンAは動物の體の内でも臓腑殊に肝臓に一番多く含まれてゐるのであります。肝油は鱈の肝臓から製せられる事は知られた事でもあります。ラードのやうな上等の部分には少いのです、植物類では一番多く含まれてゐるのは緑色の部分であつて種實とか球根の部分には一般に少いのが普通であります。從つてオレーフ油とか、すべて種子から取つた油類にはヴイタミンAは含まれてゐないのであります。バターやほうれん草等には

多量に それが含まれてをりますから食品としては優良なものといはなければなりません。牛乳にはヴイタミンAを含んではゐますが、それは乳牛の飼料によつてその含有量が非常に違ひます。一般に動物でヴイタミンAの多いものは八ッ目鰻、鰻の肝臓が多くすべての魚油、新鮮な野菜殊に緑葉一般、殊にトマト、ほうれん草、チシヤ、乾のり、大豆などが多い、なほ肝油は純體營養價値が多大です。その他食品には多大のヴイタミンAを含んだものが多いのですが、これ等を參酌して國に適應した價値ある食料品を用ひる事に努むべきであります。

雨どきの靴の手入法

雨の多い季節の候としてこわれやすい靴の手入れ法を記しませう。次ぎの方法で手入れすると靴の壽命を伸します、すなはちぬれ靴を早く乾すには日光にさらしたり火であぶつてはいけません、それは革をこはばらせてヒビ割れを作るもとになります、その際は新聞紙を靴の中に一ぱいつめて置きますと早く乾き型もくづれません。これはつばめ紙が濕氣を吸收するからであります。つばめ紙の代りに古新聞を詰て陰干にして置けば水分は自然に蒸發して革をいためません。雨降りにはオバーシューズをかけるがよいのですが、それでも幾分か水分が靴にしみますから、甲革がすれたり、變色したりします。それで雨天用には右の黒靴のみ上げを用ひるやうにするがよいのです。手入れはまづ底や踵の週りは竹べらで土を落とし底革の縫目は齒ブラシの古いのでていねいに泥を落し甲革はブランで拭落します。その上を良質のクリームを布切れで薄く平均にならないやうに塗り、暫くしてフランネルの布で幾回も磨くのであります。この際に毛ブラシは絶對によろしくありません。赤靴のシミを取るには馬鈴薯を二つに切つてその斷面でこすります。或はキハツ油でふいて後クリームを塗つて磨いても美しくなります。火鉢やストーブには絶對に近づけない事、甲革がかたくなつた場合には黒靴に限つて動物性の脂肪を塗布して置きます修繕はなるべく早めにしないと耐久力がなくなり型などもくづれてしまひます。

調味の醤油が消化力も大きい
科學的實驗が證明する
胃腸病弱者は實行せよ

お醤油は調味料としてなくてはならぬものであるが、最近の化學的研究の結果によると消化作用の點において甚だしく大であることが證明された。即ち若タカヂヤスターゼに少量これを加へると澱粉の糖化力は十六倍から卅二倍に增加される。又醤油そのものには蛋白分解作用はないが、これを蛋白消化劑のペプシン又はパンクレアチンと併用すれば、その蛋白作用は四倍から八倍に證められる。これによつて消化劑としての働きは充分證明される理由であるが胃腸の病弱者は藥品と共に醤油を生のまゝ用ひると甚だしくその効力を多からしめる事が出來る。但消化劑に入れる場合は消化劑の分量以下でかつ醤油を混じたものは絶對に加熱してはいけないそうである。

晩春の調味二品

◇鯛の木芽蒸●●●●

材料——鯛六十匁、鷄卵の白身廿匁、木の芽二匁、鹽、味淋、煮出汁・醤油

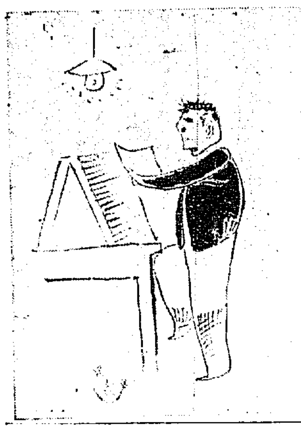
調理——鯛は一人に一切宛の切身とし少量の鹽を撒布して卅分間位おきます。木の芽は熱湯に通じて水で洗ひ、固く絞つてみぢんに切つておきます。玉子の白身は十分に泡を立て、一つまみの鹽とみぢん切りにした木の芽を混和し、以前の鯛を竹の皮の上に並べ、蒸器に入れて凡そ二十分間位蒸して後取り出して肉の上に泡立てゝ、玉子を掃よくのせて再びむしにかけ、一沸騰すると同時に取り出して皿に盛り、調煮出汁を注いで供します。

◇蛤のおぼろ煮●●●●

材料——蛤六十匁、鷄卵五十匁、三つ葉三匁鰹節、煮出汁二勺、鹽、醤油

調理——蛤のむき身を求め、丁寧に洗ひ、水氣を切つて置きます、三つ葉は莖の部のみをえらび、二分長さに刻み、●手鍋に入れて熱湯をそゝぎ水をきり、適宜の醤油にて味加減をし、火からおろして暖み茶碗或ひは蒸茶碗に注いで蛤をへれて蒸器に納め、沸騰したる釜にかけて十分間位むして後、一度火からおろし、刻み三つ葉を入れ、玉子の黄身のくだけめやうにして間にこみ、再び釜にかけて尚三四分間蒸して取りだします

漫畫小咄五十題（6）
松田壽雄



校正係　植字係に『……ヤツしまつた、大切な所を誤植してる困るぜオイ』

植字係『だつて工場の電燈は暗いんですよ、間違へるのは今日めてぢやネエ』

校正係『何をツ』

植字係『さう怒るない。工場の電氣を見て見ろよく見ると……電燈が五燭』

JODK プログラム

四月二十六日（木曜日）

午前一一、〇〇　經濟市況及日用品値段

午後〇、三〇　天氣豫報

三、四五　ニユース

六、〇〇　童話　佐田至弘

趣味講座、健身術に就て

中澤流護身術代師範小野藤松

浪花節　桃中軒雲右衛門

大紅雞の謎　岸原華蝶

晉田音話、寶塚芝居　橘家文枝

パリトン、ソロ　J、B

ストデニー　ピアノ伴奏

イル、バグリアシイ

（レオンカヴアロ）

カヴアレリア、ルス、チカナ

（マスカニ）

八、三〇頃　ニユース其他

京城新聞　數曲　金一染紅

西道雜歌　同　李東伯

南道短歌　鼓手　池龍九

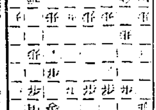
時報プログラム發表

將棋新手合（一）

東京市日本橋區蠣殼町一ノ四　將棋大將棋所

平手番　先手 ▲六段 飯塚勘一郎（東京）　後手 △六段 平野信助（東京）

（圖は二十三金迄の局面）



▲飯塚氏　持駒　ナシ
△平野氏　持駒　ナシ

△七六歩▲三四歩△二六歩▲八四歩△二五歩▲八五歩△七八金▲三二金△三四歩▲同歩△同飛▲二三歩△二六飛▲六二銀△四八銀▲五四歩△五六歩▲四一玉（以下次號）

溝呂木七段講評

（後手方）八四歩と普通の兩居飛車策に關戰したが、此處五四歩と突いて二枚銀策を採る手段も後手策として當今盛んに用いられてゐる。

（先手方）七八金と上り、一旦駒を詰めて指すのは、紛れのない手段である。

（後手方）二三歩と切つた處で、八六歩と突く先手と同型策を採れば普通の相懸り戰法である。

（後手方）八六歩と飛車先を交換せず、六二銀と上るのは自分の飛車の位置を極めず機をみて何處へかつめる含みである。

馬鹿正直の男が命を貰ふ話
弓場駒二郎作

おはなし

正吉は正直な男でありました。いはゆる馬鹿正直といはれるやうな男でありました。勿論普通の人と比べて少し抜けた點がありました。正吉のやうに正直な人に對してはみんなの人が馬鹿あつかひにするものでありますが正吉もやはりこの例に洩れませんでした。氣のきいた人々は正吉に馬鹿力があるので、何時も仕事の加勢をさしては、お禮に何かやるやうなことさへなく、ひどい目にばかり合はせました。

『おい正吉や、この俵を運んでくれい、お禮には何かやるよ』

『よし來た、持つてあげやう、何か貰へるたア嬉しいなア』

正直な正吉はかやうにして加勢をしてやりますが、さてお禮を貰ふ段になると狡猾者は

『さア、何かやるつていつたらう。これをやらア』

といつて、木の葉でも石塊でもやりました。正直な正吉に仕方がありません。そこでこの次ぎから何かやるから加勢しろといつたつてきゝません。そこで

『正吉や、一ぺん加勢してくんな、アをやらう』

『鯰魚にやる鉄の事かアね。ちやん加勢しやう』

正吉は正直に働いてやりましたが、今度もおれの鉄をもらふために手をさし出すと、狡猾者は正吉の手をフーと吹いてやりました。そして

『これでもアらうか、有難いと思ふかい』

ひどい人々はみんなからうして正吉を馬鹿あつかひにしましたが、遂に正吉が馬鹿であつた爲に人の命を救つたといふ思ひがけない事が出來ました。或る時熊吉といふ男が峠の向ふの村へ荷物を運ばねばならぬので、例によつて正吉に峠の上まで加勢を頼みました。

『正吉や、濟まねえが、峠の上まで加勢してくんねえ』

『よし、たが何を呉るかア』

『うーん、そうだな、えーと、命でもやらア』

『命つて何の事かア』

『俺の命をよ』

『俺つてお前の事かア、熊の事かア』

『何でもよいぢやねえか、まあ加勢しね』

正吉には命を貰ふといふのは殺す事だといふのは知つておりましたが、命を貰つてどんな利益があるか、まだ經驗がありませんが何かよい事があるのだらうと早速承知しました。峠はひどい坂で、しかもどんなものが居るか判らぬやうな山路でした。馬鹿力のある正吉も漸く峠の上まで荷物を運んでやりました。そして

『さあ呉ねえか、命を』

から正吉にいはれた時熊吉はびつくりしました。これは困つた。いゝ加減に命をやるとはいつたものゝ命はやれない。何とかいひ逃れやうとしましたが、一寸考へがつきません。まご〳〵して居た時、熊吉の後の笹藪がかさ〳〵音がしたと思ふ間もなく現れ出たのは木蔭の熊、しかも頭に月の輪のある大きな黒熊でありました。さあ大變、熊吉は正吉を置いてけぼりに逃げ出しました。黒熊は熊吉のにげ出すのを見てウー〳〵うなりながら追つかけはじめました。熊吉は一生懸命です。正吉に命をやる處の騒ぎではありません。もつと恐ろしいものが命を貰ひに來たのですから。一方正吉は黒熊が出て來たのを見ると、なる程これだなと思ひました。お禮に俺の命をやるといつたのはこれだなと早速天びん棒を取りなほして熊の後を追つかけ始めました。熊吉は熊の牙を逃れるため一生懸命です。正吉は熊吉の命を取るために追つかけます。熊は遂に熊吉に追ひついてたゞ一口に噛み殺そうとした時であります。正吉もとうとう追ひついて馬鹿力を天びん棒にこめて一瞬の下に熊の頭をなぐりました。正吉の力にはかなひません。さしもに大きな黒熊も仰向けに死んでしまひました。お蔭で熊吉の命も助かりました。そしてついた事は……むしろあべこべに正吉から命を貰つた事を感謝しました。これを聞いた村人達はもう正吉を馬鹿にするやうな事がなくなりました（をはり）

貧血虚弱病後に
ブルトーゼ
本劑にはヨード、キナ、グアヤコールの五種あり各用途を異にす。說明書文献御申込次第進呈
發賣元　藤澤友吉商店

豚鷄飼糧　安價肥育牛豚用　安價多產養鷄用
精麥米、飼料　京城府古市町電本六四二番　澤浦精米所

寫眞機と材料アルバム類
思い切つて安い
京城本町二丁目　山崎寫眞機店　電話二二七五番

府立　仁川病院
院長歸院診療
電話　事務用一六番・病室一〇二四番
院長醫學博士　岩井勝三郎

名物　リンゴ　カステラ　京南大田　中田堂

寫眞は「ワタナベ」　本町一・電本三九二

色白くなる
過酸化ハータ石鹼
東京日本橋室町　寨昌製藥株式會社

皮膚泌尿花柳病
醫學博士　渡邊晋
京城黄金町入口　日本生命裏
診察　十二時半マデ及ビ夕刻

化粧用　美顔水
▲白粉のトキ水に……
お用ひになれば白粉の附きも艶も一層よく思ふ儘にお化粧できます
▲お化粧の下地に……
お用ひになればお化粧が一層美しくなり、保ちも大變よくなります
常用すれば……キメを細にツヤを增し美しい上にも美しくなります。直ぐお試し下さい！
▲お顔によいのは……良い化粧水
美顔白粉本舗　桃谷順天館

びみようぶどう酒
赤玉ポートワイン
赤玉ある家
よいお家
明るいお家
愛の家！

宣傳用新發賣・卓上瓶・金五十五錢

765

錫需要と前途（三）
依然供給不足
再製錫

錫の供給不足に連れ錫の代用品を發見せんとする種々の企てが成功した所で大して珍重されて用ひられることはあるまい。といふのは錫消費の大部分の用途は錫の中出鍍、鍍力等であるからである。今迄の所錫の代用品としては工業的に生産されたものはない。只茲に注意すべきは近年再製錫の生産高が相當多量に上つて居ることである。再製錫はバビット（錫、アンチモニー、錫の合金）其他錫を用ひた金物を解して再製されてゐる。アメリカの再製錫生産高及び消費高に對する割合は左の通りである（單位米トン）

年	生産高	米國消費高の割合
一九二二年	[illegible]	[illegible]
二三年	[illegible]	[illegible]
二四年	[illegible]	[illegible]
二五年	[illegible]	[illegible]
二六年	三二,〇〇〇	[illegible]

アメリカ以外の諸國の再製錫生産高は確かな數字は不明であるがイギリスは四千トン以上、ドイツは一千トン未滿といふ見當である。兎に角右の表に依つて見るも過去六ケ年間に相當の增加を示し錫の需給に影響するところ大で多量の再製錫が消費されるやうになつたことは明かである。

消費と用途

一九二五年及び二六年の消費高を國別にすれば左の通りである（單位英トン）

	一九二五年	二六年
イギリス	[illegible]	[illegible]
アメリカ	[illegible]	[illegible]
ドイツ	[illegible]	[illegible]
フランス	[illegible]	[illegible]
ロシア	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

右の如くアメリカは全消費高の五割を占めてゐる。更にアメリカに於ける用途を分けて見ると左の通りである（單位英トン）

	消費高		割合	
	一九二七年	二五年	二七年	二五年
錫力	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
半田	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
バビット	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錫箔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錫管	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
白金	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
化學工業	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]	一〇〇	一〇〇

錫の使用量の最も大きいものは錫力及びターン・プレートである次に半田蠟、バビット及び其他合金、假鉛、ブロンズ等に消費される數量も仲々大きい。又消火器、冷藏器等の製造業者も半田蠟を多量に使用し、製罐業の錫力使用量も段々增加してゐる。一方罐詰業の錫力消費高も甚だ多く、一九二五年には錫力消費高の六割五分以上即ち錫消費の一割五分（錫にて一萬八千トン）に上つてゐる。

正金建値引下
二ポイント方

【東京電報】正金銀行は廿五日爲替建値を英米共に二ポイント引下げ左の如く改訂した
對米電信賣　四十七弗八分五
對英同　一志十一片八分三

商議役員會

京城商業會議所では二十五日午後一時半から役員會を開き五月二十八日に開催される第十一回全鮮商業會議所聯合會に提出する議案を協議することになつた

水曜會例會

土地改良水曜會では本日午後四時より例會開催兩代行會社本年度事業及代行手數料改正等につき協議する筈

安取株式受渡

昭和三年四月二十五日限の受渡左の如し

銘柄	株數	受渡値	代金
安取	一〇二〇株	一〇、〇圓	一〇、二〇〇圓

海外砂糖市場

ジャワ白（キューバ）一六ギルダ四分一　五月限
倫敦（五月限）一五志六片四分一

鮮銀建値（單位千圓）（廿四日）比前日增減
發行高　[illegible]
正貨準備　[illegible]
保證準備　[illegible]

海外經濟電報

對外爲替（鮮銀建値）（廿五日）
倫敦　一志十一片廿二分十一
紐育　四十七弗二分五
上海　七十七兩四分一
倫敦銀塊　二十六片八分五
紐育銀塊　五十七仙四分三
英米爲替　四弗八仙八分一
對米爲替　四十七弗二分一
米棉　二十錢安
スチール株　一四五弗四分一
アナゴンダ株　六七弗二分一

銀行取引停止

▲黄金町一ノ一七七、飲食店、鈴木榮次郎　▲永樂町二ノ五七、飲食店、末綱［illegible］▲明治町一七五米穀非賣［illegible］

朝鮮の新銀行法
官民合同で研究
除外例を設けられよう

銀行法の實施に伴ひ朝鮮でもこれが實施期並に適用範圍を如何なる程度まで延長するかはすでに昨年設けられた金融制度調査準備委員會において目下調査中であるが、右に關し林財務局長は語る

金融制度調査準備委員會の調査は各方面よりの材料蒐集と共に進捗してゐるが、今後は具體的調査の促進に努めたいと思ふ。尤も同委員會に對し兎角の評を耳にするが同會は名の如く準備委員會で今後の決定は遠からず設置される官民各方面の有力者から選定した正式の委員會に於いて決定される譯なので、この準備委員會では敢て各方面からの委員を選定して研究の必要はあるまい。新銀行法の朝鮮適用範圍は目下の處各當局は出來ぬが、朝鮮は内地とはその體系に於いて事情を異にし且つ該法に明示された資本金の制限並に重役の兼職の責任等現下の實情から見て内地同樣に均霑し難い節もあるので例令に依つて除外例を設くる必要もあるので實施期も自然内地とは延遲することゝならう

郵貯激增
振替も增加

朝鮮遞信局調査四月十六日現在郵便貯金は預金者百九十五萬七千六百五十六人、金額二千六百七十七萬二千百八十五圓で、前年同期に比較して二十一萬九千七百三十二人、四百五十四萬二千九百一圓即ち八分六厘五毛を增加し、振替貯金は人員一萬九千六百六人、金額二百八十四萬五千五百七十四圓で前年に比較して三千八百四十八人、五十四萬六千二百五十六圓、人員二割三分六厘、金額二割三分四厘方いづれも增加を示した

鮮米移出餘力
減少を豫想

本年度鮮米出廻り期初めから四月二十日までの鮮米移出高は四百七十八萬五千二百余石に達し前年同期に比較して六十二萬四千四百余石を增加し米安の折柄一般は移出を起つてゐるが一方外米、滿洲粟などの輸入激減につれてそれだけ鮮米の鮮内消費を增すのでこの分では或は本年の移出米豫想數六百五十七萬石を割るのではないかとの觀測もある。その原因としては鮮農經濟で農家の窮乏みや政府の買上米問題などもあるが今後の鮮内消費[illegible]八萬四千七百余石[illegible]、滿洲粟四十萬九千六百余石の輸入を減しこの分で進めば數ケ月で百萬石の輸入減を豫想されそれだけ鮮米の消費を增すこととなるので總局移出もこれだけへることになる譯である

實現しさうな
鮮航會脫退喧傳
朝郵當局は否認

北三[illegible]朝鮮郵船當局に鮮航會當局との間に何らか鮮に變態が萎され時は局議目されてゐるが、その内容は或は朝郵の鮮航會脫退の件でないかともいはれてゐる。即ち鮮航會は大阪商船その他内地七社で鮮は昨年の値上げ問題以來鮮内と朝郵を加へた六社で組織され朝郵において鮮航不振を[illegible]同情を失つてゐる折柄今期決算に間隔としてはこの際朝郵をして鮮航會を脫退せしめ朝鮮の地盤會社として朝郵は朝鮮の行動をとらしめんと[illegible]した模樣であると傳へられ[illegible]社長の上京と共に或は近く實現するのではないかといはれてゐる。しかし右について朝郵當局者は左の如く鮮航會脫退を否認してゐた

社長の内地行は社債問題などで鮮航會脫退問題などでない鮮航會は現在では相當基礎が出來てゐるので若し脫退するとしても左樣簡單に行かないから現在ではそんなことを考へてゐない

米穀大會で
鮮米買上可決
山本々府技師歸來談

去る十三、四、五日の三日間岡山市公會堂で開催された大日本米穀大會に出席その後香川縣の小作問題を觀察して昨夜歸城した殖産局山本技師は語る

大會の要案は米穀法の運用に關する問題で討議の結果生産者側は米の數量價格の徹底的調節を圖るためには買上資金現在二億圓を四億圓に擴張すべしと主張したに對し穀商側は買上資金二億圓の内既に一億三千萬圓買上げて而も米價はジリ安を辿つてゐる、かくの如き不徹底な米價調節は何等の效果はなしと主張してこれが廢止論を述べたかくて政府側は第案の全部を保留とせんことを諮つたが穀商側は承知せず最後の本會議で結局常設の特別委員會を設けて審議すべきものは總議すると言ふことになつた、而し朝鮮から提案した政府の買上米中に鮮米を含む案は滿場一致を以つて可決した、倘運送店の一驛一店反對の提案に對しては鐵道省當局の說明宜敷を得たので結局今後を監視すると言ふことで反對案は撤回された

春繭一割增加

昭和三年度春蠶掃立狀況は減收は昨年に比して僅かで一割以内外[illegible]立も早からうとみられて居るしかし今の發芽の模樣も不明で、從つて掃立枚數も正確にはわからぬが目下本府へ殖産局の第一回申込數は五十九萬五千二十四枚と前年の五十六萬二千百七十二枚に比して三萬二千八百五十二枚即ち五分八厘四毛の增加である。しかして各道中一割以上の增加を示したものは忠北、全南、慶北、平北の五道で、減少したものは咸南だけである。しかし右數字は各道の申込枚數に過ぎぬので五月十日本府へ報告の第一回春蠶掃立の際は一割以上の增加を豫想されてゐる

各品漸次回復し
商品界活況期待
ゴムだけは依然不勢

商品界は米穀以外に不振で資金の出廻りも極る閑散である。しかし五月に入れば漸く活況を呈するであらうと見られてゐる、即ち肥料のごときも需給は五月に入つてから目下のところ需給さほどとなく、織布は賣捌との關係期に入り一般實需による賣物漸増と三品高値に伴ふ上積を示し、セメントは需要期でも在り内地のストック減少と相まつて京城渡し一樽二十一錢に五十錢見當を値へ四五十錢方の暴騰を目先なほ强調を呈してゐる、ゴムは神戸渡し三十七、八錢高値三十九錢乃至四十錢と重要ひの姿である。これは英國政府の輸出制限撤廢聲明に伴ふ思惑取引が來た斷然しないのと、ゴム栽培業の休業を決定して輸出が豫想され一方米國において從來十七、八萬トンも生産されてゐたもの丶半ゴムの前途も目安がつかぬためであるといはれてゐる、外米、滿洲粟共に米安の年だけに依然ふるはず糶は直錢一巡と軟安で沈滯し北滿物は百斤十一圓四十錢から七十錢、北滿物は十錢幾を唱へ鮮内需は閑散、砂糖も生産減從をして市價の低落を維持せんとしてゐる位で、朝鮮は經定から除外される模樣なるも需給は殆ど變らず、現に商品界は目下金融難として依然閑散であるが五月に入れば稍々付け時期と季節資金出廻り期の接近につれて漸く活況を呈し來る氣配が濃厚となつて來た

平北電化計畫
電興より受電

平北昌城、雲山面金鑛は現在自家發電で操業してゐるが今回平壤電興から受電すべく話を進めてゐる然るに電興から該金鑛まで送電線設備に約百萬圓を要するのでこれを同金鑛組織として新金鑛の需要電力一千五百キロを送電し、これにつれて安州、新安州その他附近の都邑一般に水利組合にも送電せんと計畫中で最近具體化した模樣である

豆粕需要
稻肥に使用

豆粕はその後施肥期が近づくにつれて次第に入荷を增し鐵道局調査の四月中旬の輸入高は一萬二百六十トンと前期に比較すれば四千二百八十トンの增加を示した、しかして一日二十三日の如きは一日二千トンの入荷があり今後漸次旺盛を期待されてゐる。即ち豆粕の需要は稻肥において硫安、石灰その他化學肥料に押されてゐたが最近豆粕相場の割安と稻肥のため需要を喚起したもの丶如く、從つて豆粕の需要を增すものと觀測されてゐる

江景米穀大會
出品者決定

今秋十月二、三の兩日忠南江景で開催の全鮮米穀商組合聯合會大會に朝鮮穀物商組合主催のもとに米穀貯藏奬勵品評會を催すことになつたしかしてその出品者は江景殘穀商店倉庫に決定し五月廿日までに入庫し、出品は一品種に對する數量は穀食糧一等より四等までの玄米八十俵となつてゐる。出品者左の如し

▲仁川百九十俵▲滿州百六十俵▲群山百六十俵▲木浦百六十俵▲大邱百六十俵▲釜山百六十俵▲沙里院百六十俵▲鎭南浦百六十俵▲新義州百六十俵▲元山百六十俵▲忠南一千五百六十俵合計四千百六十俵

株式（廿五日）

京取短期 / 京取定期 / 大株長期 / 東株短期 等相場表 [illegible]

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取 後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
穎新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

勘定と日歩 / 京取短期・東株短期・大株長期・東株短期市場 [illegible]

期米（廿五日）

仁川・東京・大阪定期米相場表 [illegible]

東京現株（東新、鐘新、同新、東拓、日石、富士紡、新鐘、日毛）[illegible]

株式
政局樂觀で好調

前場　昨廿四日後場頭重かつた機先、今朝は前日の常任委員長選擧によつて一時悲觀された政府も前途樂觀人氣に傾いたので先づ内地の堅調となり、ついで當所も好調に寄付いた、併し政局も無條件の樂觀を許すには尚早と見られてゐるので高寄りしてアト無暗の買氣は抑止され滑商ひであつたのと同時に只好調持續と云ふ程度に止まつた、かくて結局昨後場止に比し京取同事大新一圓十錢高東新一圓三十錢高であつた

低迷す
依然警戒人氣

後場　前場好調の機先、後場は一本調子の買氣許さぬ場面だけに不氣乘り閑散、昨後場止に比し京取十錢高大新六十錢高東新一圓四十錢高と前場に比し低迷した

政局は明正、革新、中立等の向背が政府に不利であつたため一時再解散か總辭職かと悲觀人氣擴がり極め、相場もこれを織り込んだが昨年後場以來の形勢は逆轉、殊に昨廿四日における議會の常任委員長選擧に當つては四名共與黨政友會の占める所となり、政府の前途的議運は漸く曙光を認められるやうになつて來た。これがためこれ迄の政局悲觀人氣が今朝は樂觀人氣に變り相場も急に立ち直り模樣となり、今朝は小口の如く政局樂觀と云ふ今朝財界の分野は見する至つた、併し右の如く政府と云ふ共一二三名の差で、政府決死的議解體の手が少しでも緩められるなら何時また如何に變化するかも知れぬ相場不穩人氣はこれから、市場における資金が一寸にでも緩解放されるかは至らず、從つて買物を散見と云ふもそれは只目先的のもとに過ぎぬ模樣であり又仕手の腰入れが依然淺いのと相俟つて此まゝ相場硬化して了つたものとも信ぜられぬ風であつた

大勢は強い

今相場を支配してゐる材料は政局が最目立ち、材料はこれが唯一のやうにも見られる、從つて政局への觀測如何によつて種々の波紋を描いてゐるが、大體の人氣に依然强波の手を緩めやうとせず、只目先的小掬方針のもとに從つたり買つたりしてゐるやうである、併し周圍財界の根底が特に大變化を來たして居らぬ以上、又山東出兵や支那の年中行事的紛亂がこれ以上大惡化せぬ限り、今後再び政局悲觀となり、その結果遂に再解散な

總辭職なり

が決行されても相場がそう深押しあるとは考へず、若し反對に此まゝ不信任案が阻止され、政局が安定すれば相場は急に活氣づき此前の高値位はしても忽ち齣合せするは必定との一時に觀測が有力である、要するに政局の如何によつて叩かれるとしても東新の如き

七十四五圓は底

であり、大新も九十二圓以下になりそうでないか、此まゝ活況を持續しても東新の

八十五圓か高値

と見られてゐる譯である、併し、東新八十五六圓が目先天井としても鐘紡は高いと云ふ人氣が根强く動いてゐるだけ大手として玉を仕込むのは此機を狙ふべきだとの人氣も朝し、今迎の買方中には頓なる目先的でなく玉仕込を窺味する買物もないではなかつた

賣物薄く
買物を散見す

今朝は政局樂觀を見び込む向が多かつたので買物を散見した、即ち前日の東新を買つたが、これに對し賣物ははつく買つてゐたが、これに又大新に對しても新田、田中直等で正崎も少し東新を買ひ込んだ、これには大新を[illegible]買つてゐたが、只利喰と迄には至らず、又一應これには賣物は極めて薄く、只利喰と迄は[illegible]注目されたのに過ぎなかつた

東新は無日歩

代引と日歩は大して變化を見なかつたが今朝は大新東新共算足は高くなつた、而して東新不足なしの一杯で無日歩であつた

今日の手口

今朝は政局樂觀人氣で好調を辿つたが、手放しの樂觀は尚早とし警戒人氣が依然去らぬので相場の割に商ひ振はず、昨後場の出來高一八〇枚に比し今[illegible]京取二〇〇大新二三〇東新二一〇合計七二〇枚とやゝ多かつたと云ふのに過ぎなかつた、今朝における三〇枚以上の手口左の如し

京取　双方小口
鐘新　双方小口
東新　賣方松一八〇大林一〇〇成惜七〇正崎五〇白樂四〇▲買方正崎一五〇松一四〇新出一三〇市川四〇
大新　賣方洪股七〇京瑪五〇正崎三〇▲買方新田五〇田中直五〇成惜四〇正崎三〇

つよきよわき

株式　昨今の政局悲觀、樂觀極まりなき浮世である。

△この變轉極まりなき材料を元にしてうつたり買つたりは危險とあつて買物散見といふもホントに散見といふ程度で一向に冴えぬ

△しかし、東新の七十五圓は底値の相場、買ふならこの邊から玉を仕込むべしとあつて當所から先物を越えた買物があつたにはあつたが、大玉は當所では仕込めないはく

期米　鮮航會脫退問題の噂喧しく政局共速に見透しつかぬ折柄目下の所鮮航會が変轉流變となるか、社外船が玄海の眞中で沈沒するか二つ一の所まで行かぬと納まらないといふ處

△かうなると一番困るのが荷主で鮮航會に盡す理立すると運賃は上つたりだ、それかといふて社外船に積めば鮮航會を脫退せねばならぬといふヂレンマに陷つてる向きが多い

△從つてこの問題が永びけばひく程米屋さんとしての一と問題が起ころかも知れないといはれてゐる

期米
閑散で不味
先七圓合割れ

前場　月末安における不氣乘りの折から今朝は阪地の十錢安を受けて一層不人氣であつた、當限廿六圓三錢中限二十六圓五十錢先限二十六圓九十四錢と前日の止値から八錢安に寄付き⑤の買惡みに二節先物は六十九錢と小戾したがこれも②から賣物が現はれて戾りは五十錢④に小戾してアトは阪地の硬化に引摺られ三節は九十六錢と落ちアトは阪地の逆轉を受けて九十八錢から五錢所に保つて前場を打止めた、併し何分當中に賣米をもたれを懸念されて居るだけ目先回復は望み難い情勢である

引續き鈍狀

後場　前場不味の機先、後場は先限廿六圓九十二錢と鈍場裡に寄付きアト九十一錢と低迷し六節に當限廿六圓十二錢中限二十六圓五十二錢と依然不勢を辿つたが先は八十五錢と見られてゐる

天災期迄は
依然小浮動

相場の値幅が漸次縮少して行くのは政府が食米政策に熱中し買上げ撤下け等を行つて商人に乘ずべき隙を與へない事や、仕手の總てが採算に終始する向の多い事等に起因してゐるのは元より、一面には米其物の實情が前途に供給不足の不安がないため積極的行動に出る向のない結果である、現に仕手の態度を見ても挑戰的行動を採る者は一人もなく大手筋が乘出しても戾り賣りの押目買ひに日を暮すと云ふやり方である、理想が滅裂してこそ變動を作る相場が斯の如く仕手の全部が消極的になつては相場も動かれないので當然で、從つて天災期に入り其日の氣分で賣買する樣になる迄は相場も依然小浮動に推移するの外あるまいと觀測する向もあつた

當限の
受渡は五六千石
多少は減少か

納會が目睫に迫つた當限は五千二百石の取組を有するが、此うち渡米となるものは②の三千五百石②の千五百石等で何れも不二興業の貿物である、併しその他鄕にも約二千石の渡米があるが、同店には受米すべき買玉と相殺となつてゐる模樣である、又⑤の二千五百石も受米する手口と見られてゐるので結局五六千石の受渡と見れば大差ないが、納會迄に投げ出くべき玉が、三四千石あるのでその投物[illegible]

不二興業の乘替

當中に多大の持米を擁してゐる京城の不二興業は前日の不勢で當限の賣玉を八百石程先物に乘替へたが、實米を用意して居る際とて全部乘替へる意志はなく、只網屋係乘替つて見た位で殘りは全部渡米を提供するものと見られてゐる

期米　仁川海岸町　電話二六〇　三五七　菰淵取引店

何によ て相場が崩れることになると渡米の手口としても利喰して先限に乘替へる方が利得なので實際の受渡は多少減少するかも知れぬと見られてゐる

大豆
小往來乍ら頭重い風情

前場　一節は當限十八圓三十錢と寄付いたのみで二節三節は三期共出來不申、四節五節は中限十八圓五十六錢から五十五錢所に小往來し依然閑散に前場を終た併し現物の買行不良で戾り賣の意向のもの多く從つて相場は頭重い風情であつた

▲當限賣方　⑫二〇〇⑤二〇〇⑬

仁川大豆本玉表

大豆後場出來不申

正米

京城正米

鮮銀總會の賣合ぎ物續出したが、正米筋は白米の發行不良に冴へず相場は前日より一、二十錢安であつた、⑤三等二十六圓十錢四等二十五圓六十錢地搗玄米二十三圓五十錢一等白米二十四圓白米二十六圓稷は改良種七錢五厘在來種七錢二厘大豆は値頭賣増加し十錢安龍山十八圓長湍十七圓八十錢禮山十七圓八十錢

京城穀物組合建値

▲外米　ミートン西地搗二二、七〇當[illegible]一一、四〇陽[illegible]米二一七〇▲粟　海城一一、七〇[illegible]一一、六〇昌圖一一、三〇四平街一一、二〇遼陽一一、五〇[illegible]粟一二六〇▲小豆　龍山物二二、三〇滿洲物一八、九〇▲大麥　上八、九〇並七、一〇▲綠豆　朝鮮一七〇〇滿洲物一八六〇▲胡麻（滿）二七、六〇▲小麥（沙里院）三四、八、六〇▲在子（朝）一三〇〇▲高粱二二、〇〇▲碎白米　一等碎白一八、五〇碎白一四、五〇

仁川正米

十錢四等廿五圓七十錢⑥田三等廿六圓四十錢⑤四等廿四圓九十錢粗上物七錢六厘五毛、在來種七錢四厘一等白米廿八圓廿錢大豆龍山十七圓八十錢長湍十七圓六十錢海州十五圓九十錢所である、何れも閑米安で内地筋の買物見送りと產地の出廻薄で取引は閑散であつた

東京深川在米高

東京深川在米二十五日現在高は五十萬八千九百四十一俵と前日の在米高に比較して四千二百三十九俵の增加である

本日の出來值

	當限	中限	先限
（前場）一節 寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一節 引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二節 寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二節 引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三節 寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三節 引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四節 寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四節 引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五節 寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五節 引	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六節 寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六節 引	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲中限賣方　⑪四〇〇⑬六五〇⑤一〇〇
▲同　買方　⑤七〇〇⑫二五〇⑲
▲同　買方　⑤二五〇⑬九〇〇
▲先限賣方　⑤一〇〇⑤五〇
▲同　買方　⑤五〇⑤一〇〇
▲總入値當限一八三〇中限一八六〇先限不申
▲取組高當限二二〇〇石中限一一五〇石先限一五〇石
▲出來高合計八五〇石累計一〇五〇石

東京期米・大阪期米・大阪堂島米 定期相場表（前場・後場、一節〜十節）[illegible]

大阪期米取引 / 大阪三品 / 下關・桑名・名古屋・若松・大阪（大豆・現物延べ）等相場表 [illegible]

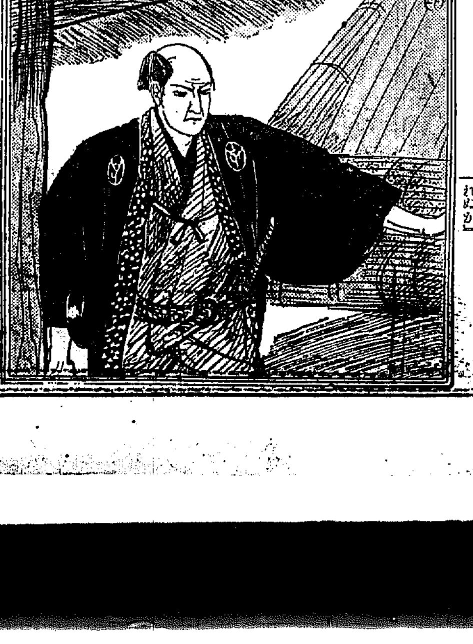
大阪綿糸 / 大阪三品 / 東京期米 / 現物綿糸 / 大阪砂糖前後場 / 京城手形交換高 [illegible]

京城手形交換高（廿五日）

[illegible]

市中米價 [illegible]

玄米	二五圓六〇
白米	二〇圓〇〇
仁川	二〇圓〇〇
一等白米	二八圓二〇



薩摩義士傳（40）
中村兵衛作　神保朋世畫

會心の笑

油島締切工事の崩壞から、四の手の出張り小屋に居たる永吉惣兵衛その他が、嚴代官木村治郎九郎の下役、荒牧角右衛門にのゝしりはづかしめられたと聞くより、一の手から三の手までの隆摩藩士は、斯せずして四の手の小屋へ殺到した。

江夏次左衞門、竹中傳六、山元八兵衞、森源右衞門、岡田新兵衞、總集甚右衞門、和田喜右衞門等、血氣の壯士は口々に、

『永吉氏、何で對手を斬つておしまひなさらぬ』

『郡代や美濃衆がこわいか』

『江戶役人の五人や十人、何の恐るゝ事があらうか』

『四の手の小屋に斬る者がないとなら、われ〳〵が斬つて進ぜやう』

『その通りだ、郡代役宅へ乘込み隆摩武士の腕を見せて與やう』

『さうだ〳〵、永吉氏が默つてゐる所を見ると、四の手の小屋には斬る者がないのだ』

『よしツ、この上は四の手の役儀にわれ〳〵が乘込み、荒牧角右衞門をはじめ美濃衆郡代や、江戶役人等に目に物見せて與れん』

『ソレツ、押出せツ』

押取り刀で走り出さんとしたが、永吉も管野平蔵も、沈默して答へも止めもしなかつた。

もうこの時には役儀として、元小屋から來た平田翔負は來てゐた

『各々方、待たつしやい』

一同はそれと見て一應した。

『翔負、これにおいでござつたか、定めしお聞きでもござらうが、憎き荒牧角右衞門、四の手の人々を罵りはづかしめ候を……』酬申すまじい永吉氏は罵倒されたまゝ、何等なくも得いはず、アレ御覽あれわれわれに責められても一言の答へも致しませぬ、よつてわれ〳〵四の手に代り、郡代役宅り乘込んで、殿下をはじめ郡代にこびる奴輩を一人殘らず叩ッきけ彼等の荒膽拉いてくれんと存ずる』

『御一統へ翔負がお訪ね致す。その役儀は勇ましく存ずるが、郡代役人に血の雨降らさば、江戶御老中より如何なる御とがめが

『ではござるが、荒牧角右衞門の非禮の中に、われ〳〵のみが恥辱をのゝしりし事あり、君命しめちる〳〵時は此死すと……』

『さればでござる。君辱しめられても我らに大死には不忠でござるぞ一時の無念を忍んで、四十七士心を一致し、敵吉良殿を討つたる赤穗浪士の精忠を御存知なきか』

『さアそれは……』

グッと行き詰つた隆士は、四の手の小屋の表に立往生した

翔負は更に永吉、管野その他に向つて、ねんごろにいつた。

『各方、よく堪忍を致された。翔負感服致した。もし一箇の怒りに任せ、役宅狩木を斬つたならば、各方のみか非數へまで、御老中より如何なる難題かけられるや計り難し。たゞさへこの川普請は……』

といひかゝりて、何事に家に對する無理難題を言外にあらはした。惣兵衞と直藏は、この一言に慰められ、初めて、會心のゑみを洩らした。

『今日は永吉氏はじめ御一統の堪忍で無念なきを得たは、まことに限りでござる。その勇み立つ各の氣を、飲んで笑ひませう』

かういつた時、雪の臉の奧から二、隆摩三郎が嚴顏つて入つて

『あらうか。』その時御一統は加様なる申し聞きをなさる』

『申すまでもない事、隆摩藩士の面目を御せずして、斬り捨てるは無禮者を成敗したと、申し譯を致すまでの事』

『然らば私のうらみに大事の御工事は、どうなりませうや。お役人を殺して申し譯き、それで何事もすみませうや、川普請は誰が致しませうや』

『さアそれは代つて某が』

『同志一千の中、これにある御一統が控はなば、工事はそれだけ手拔け、日をむなしく過ごしは致しませぬか』

『さアそれはその』

『一朝の怒りに任せて、吉良の無念晴らしに、時日を過ごす事の我君に對して不忠とはお考へつきれぬか』

改造　五月號

■メーデーに不思議の行列を見た……田口運藏
■余の左傾と前藝人に就て……片岡鐵兵
■漱石の思ひ出……夏目鏡子
■春季野球リーグ戰の新陣容……廣瀨謙三
■チャプリンの「サーカス」……林房雄
（歌）磯の海の春……中村憲吉
■共産黨事件につき……卷頭言

定價五拾錢　送料三錢
東京市芝區愛宕下町　振替東京八四〇二番　改造社

■團結權を死守せよ……末弘嚴太郎
■野田爭議籠城記……小泉七三
■教育の根本問題……杉森孝次郎
■新自由主義の立場より……鶴見祐輔
時評　■營業收益稅委讓の是非・政府の政策と矛盾する金解禁……杉山幹　■農民組合合同の暗礁・勞農黨は何處へ往く？……山川均
■第三インタナショナルの話……田中九一
■金融資本に於ける支配の過程　電力産業の爭霸……薄茂人
■新職業部門としての經濟顧問と會計檢查……吳文炳
■國粹團體の批判……蠟山政道　高畠素之　細迫兼光
■想出の映畫……古川綠波
三越の研究　■經濟眼から見た三越……下田將美　■三越藝術を作れ……秦豐吉　■「三越」に現はれたる社會相……長田幹彦
■あくの強い男……前田河廣一郎
■神に欺された男……長谷川如是閑

創作
■小説　泥濘……保高德藏
■小説　裸木……犬養健
■小説　卍（まんじ）……谷崎潤一郎
■戯曲　春光……里見弴

■醬油佛……吉川英治
■上田敏氏について……永井荷風　■敏先生のおもひで……谷崎潤一郎
■維新回天史の一面……德富猪一郎
■素人の美術觀……兼常清佐
■「放浪時代」と「泥濘」……武者小路實篤　前田河廣一郎　廣津和郎
■父よ悲む勿れ……麻生久
■淺草底流記……添田啞蟬坊

共産黨事件と勞農黨解散問題……長谷川如是閑　山川均　河野密　清瀨一郎　大山郁夫　青野季吉

京城日報　朝刊　本紙朝夕共十二頁

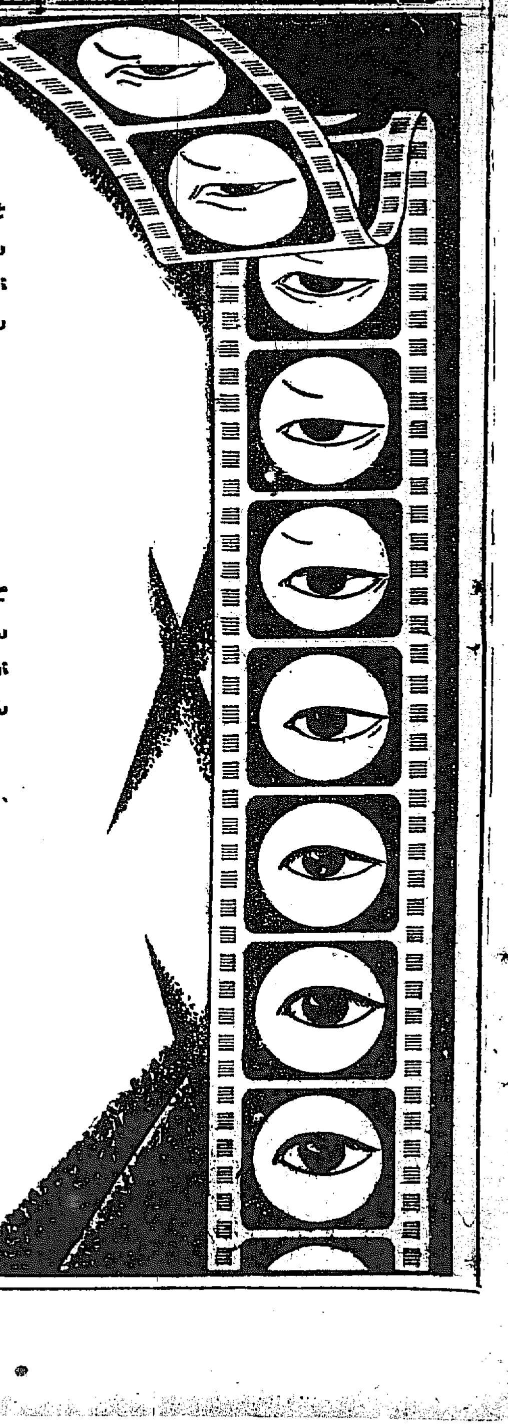
寫眞機械材料（目錄進呈）
京城本町二丁目　岩瀨寫眞機店

▲化學は進む
金剛山松の實精より成る（不老泉）
造血、強精に卓効の滋養美酒
（日本土産好適）
京城　三越呉服店　特約　龜屋商店

日本共立火災保險株式會社
資本金　五百萬圓
一、當會社は確實を本旨とし御便利に業務御取扱可申候
一、當會社は損失を公平且つ迅速に支拂可申候
電話又は御一報次第社員參上可仕候
本社　東京市京橋區南鍋町二ノ六　取締役會長　原　錦吾
京城出張所　京城府本町三丁目三九番地　出張所長　三鍋才次郎　電話本局一五六六番
鮮內代理店所在地　京城、平壤、仁川、釜山、大邱、大田、鳥致院、木浦、光州、群山、全州、裡里、江景、馬山、晉州、鎭南浦、新義州、沙里院、海州、咸興、元山、羅南、淸津

多木肥料
九重肥料　しきしま肥料

洗眼してこそ　點眼が活きる
さすがは大學、用意あり



大學目藥
キキメ第一
定價　廿錢、三十錢、五十錢、一圓　小兒用二十錢

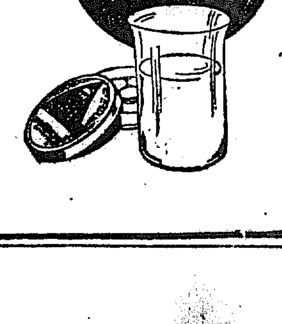
推奨
醫學博士　河本重次郎氏
醫學博士　小玉龍藏氏
醫學博士　松岡與之助氏

大學目藥が、トラホーム、ほし目、かすみ目、たゞれ目、のぼせ目、其他一切の眼病に卓効ある名藥である事は、既に定評あり、多年斯界第一位の賣上と名聲を維持して居りますが、之も他品と比較にならぬ藥効優秀の爲めで、有名な眼科専門の博士が揃つて推奬してゐられるのもこの爲めであります

大學目藥の姉妹藥大學洗眼藥は、新藥ノイボルミチンを主藥とした優秀な洗眼専門藥であつて、どこの眼科院でも行はれてゐる樣に、洗眼藥を以て物理的にも化學的にも點眼藥の効力を補助せしめ、眼病を一層早く完全に治す樣親切に用意してあるのであります

小兒用大學目藥
小兒用大學目藥は、十歳以下の小兒の眼病の爲に、特に留意して調劑せられたもので小兒用目藥の嚆矢として多年の信用と好評を博して居ります

眼病の行き届いた治療には
大學洗眼藥
大學洗眼藥は、斬新に優れる洗眼藥として本邦唯一のものです
各地藥店にあります、廿錢入金廿錢、送料二錢



大阪北濱二丁目　參天堂株式會社

政戰漸やく熟す

總員起立裡に 御大禮豫算可決
廿五日の衆議院

【東京電話】昨二十四日夜來、朝野兩派必死の苦鬪を續けてゐる間に政戰はいよ〳〵進み、朝野二大黨は二十五日の本會議において陣容を整へて相對峙し一大肉彈戰を行ふこととなつた、この日天氣穩かに晴れて兩派の政戰を見んものと傍聽者は未明より押しよせ院の内外に雜沓の如くゴッタ返し守衛は院では未曾有の人出と稱してゐる警戒は極度に嚴重し守衛も數を增して警戒嚴重を極めてゐる、午後一時振鈴と共に田中首相以下各閣僚入場し、與黨は嵐の如き拍手を以て迎ゆれば野黨は沈默しこれを冷視し、山雨來らんとして風樓に滿つるの概あり悽愴な光景に朝野兩黨の鬪志と政府はいやが上にも高調される、衆議院本會議は午後一時十七分開會、直に田中首相與黨の拍手裡に登壇、那須の如く大禮關係豫算案、山東出兵、共產黨事件に關する演說をなし、次いで三土藏相より昭和三年度追加豫算に關する說明を行ひ終つて

元田議長 豫算審査の都合上暫時休憩し國務大臣に對する質問は一時あと廻しとする旨を宣し同一時四十分休憩

再開會【東京電報】衆議院本會議は午後三時再開、御大禮關係豫算案三案を一括議題に供し

川原豫算委員長 登壇 豫算委員會は御大典關係豫算案三案を一括議題に供し全會一致議案の敬意を以て可決した旨を報告して自席に入り

粕谷義三氏（政）登壇 八千萬の國民は赤誠を以て今秋御大典を待ち望つてゐる我々は直ちに右豫算案を可決し赤誠の一端を披瀝したい

と述べ、次いで武內作平氏（民）もまた全部賛成即決可決すべしと主張し、直に採決に移り全員總起立滿場一致を以て御大禮豫算を可決確定した

次いで
一、大禮の祭田の土地免租に關する法律案
を議題に供し、三土藏相の說明後可決したる後政府の要求により秘密會として田中首相、原法相、鈴木內相、水野文相より交々共產黨事件並に關係事項につき詳細なる報告を開始した時に午後三時十二分

全員總起立して 即決可決
御大禮費豫算と 衆議院豫算總會

【東京電報】衆議院豫算總會は午後二時再開、同委員會附託の追加豫算九案中御大禮關係の
一、昭和三年度歲入歲出總豫算追加案（大禮費豫算）
二、同上（大禮施設費豫算）
三、昭和三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案（各植民地特別會計所屬大禮施設費）
右三案を一括議題に供し議事に入れば

武內作平氏（民）三案は分科に移さず直ちに評議されたい

と述べ、別に質問もなく討論に入り原田兵衞（政）町田忠治（民）の兩氏賛成演說を行ひたる後採決に入り全員總起立を以て滿場一致を以て原案を可決し午後二時十分散會した

辭職してもよい 留任しても差閊えない
尾崎氏態度を表明
思想的國難決議案上程
無產三氏を除いて全員起立可決

尾崎氏 登壇 當事者とは現內閣のみではない歷代內閣を含む、現內閣が事件を惹起したのは現內閣の不幸で

あるから辭職してもよし、このまゝ留任しても差閊えない、議會の謝罪形式は國民を救めて斯ることなきやうするが何よりの謝罪である

と述べたてゝ野黨側を嗤しがらせ最後に

今秋御大典の盛儀が行はせらるゝことに感銘して政府は再解散野黨は倒閣運動を愼しむべし、斯くして政府を安定に導き以て上陛下の聖旨に副ひ率ゐ國民の期待に副ふやう行動すべきである

と提案理由を說明して降壇すれば朝野兩黨とも狐につまゝれた如く茫然を交換する

質問に入り

原夫次郎氏（民）登壇 尾崎氏の提案中に立憲手段を以て思想を取締るべしとの件は取消しては如何の問答と謝罪の件に

と述べ京大事件につき水野文相の責任を問ひ降壇すれば田中首相起立に答へる、次いで

中西六三郎氏（民）登壇 尾崎氏が共產黨事件につき當事者は罪を聖明に謝し奉り下國民に謝すべしといふが、當事者とは現內閣を言ふか、國會の謝罪とは如何なる形式に於てするを要求するや（と質す）

公開後
午後四時十分秘密會を解いて公開し

元田議長 秘密會に於ては鈴木內相並に原法相から共產黨事件に就き詳細の報告があつたと述べ長島隆二氏の動議で日程を變更し

一、思想的國難に關する決議案を上程

尾崎行雄氏（中）登壇 先づ本問題は重大問題であるから不謹愼な言動を愼み審議を望む

と前置して國難を陳述したる後決議案を朗讀し

共產黨陰謀事件は重大な不敬事件で政府、國民共に充分反省し恐懼せねばならぬ、若槻內閣、山本內閣何れも不敬事件に就ては責任をとり、山本內閣の如きは總辭職を斷行した、政府は政局の重大を知りながら再解散を以て野黨を威嚇してゐる、解散は陛下の大權に屬し恐も輕々に口にすべきでない、徒らに政權に內訌を用ひたる役と輕も輕々に國政を壟斷してゐるが如き顧慮をしてゐる政狀であるがこれも許すべからざる國狀である

田淵豊吉氏（無）登壇 本案は既成兩政黨を攻擊したものと思ふ、兩黨が賛成し提案を提げたる裏には何か政治的意味はないか、尾崎氏は倒閣運動を不可といふが鈴木內相彈劾は倒閣運動なりや

とお茶をにごせば、代つて

尾崎氏 登壇 鈴木內相彈劾案は倒閣運動でない、現內閣を必ずしも良しと思はぬが火事を起して逃げた憲政會內閣よりは良からう、今日の狀態で**民政黨が政友會に代つて組閣しても更によい內閣が出來るとは思はぬ**

と政友會を喜ばせて降壇す、次いで

田中首相 共產黨事件に就ては政府は國民に謝する途を充分講ずるつもりである、既に政府は事件發表當時恐懼に堪へず誠意を披瀝した

と述べ、終つて

討論に入り

廣岡宇一郎氏（政）登壇 本案は首肯し難い點もあるも趣旨は悪いものでないから賛成する

三宅盤氏（民）登壇 又略同様の趣旨を述べ今日政府の實際に鑑み止むを得ず賛成する

と述べ討論終結、採決を起立に問へば山本宣治、水谷長三郎（勞農）淺原健三（民黨）の三氏**を除く外全員起立多數を以て可決**し五時四十五分散會

日本共產黨の テーゼ
內相より說明

【東京電報】廿五日衆議院秘密會議上において鈴木內相は日本共產黨陰謀事件に關し以て結社に同黨に一脈の聯絡ありとして解散を命じた勞農黨外二團體の詳細について說明を行つたが、內相は議會に對し日本共產黨のテーゼを示しかつ勞農黨外二團體の綱領は單に共產黨テーゼより一、八、一〇、一三、の四綱目を採殺したるに過ぎざる點から充分當局者に聯絡あるものと認めたる旨を說

政經決議案 贊否色分け
結局政府支持が多い

【東京電報】社民黨、日勞、民黨、勞農黨四派との提携による政治經濟國難決議案の勢力は左の通り

▲政府不信任案
民政黨二百十五名▲明政會七名無所屬一名（清瀨）▲革新一名（大竹）▲無產四名（河上、山本、水谷、淺原）
計二百二十八名

▲政府支持
政友會二百二十名▲無所屬六名（尾崎、長島、守屋、堤、瑠野福井）▲革新一名（田崎）▲實同三名
計二百二十九名

となり若社民黨が政府支持的態度をとるにおいては二百卅二名となる模樣が明かとなつた、なほ右算定には田淵氏を棄權、安部氏を病缺と見込んでゐる

贊成し得ず
民政明政の妥協案に
尾崎氏反對を表明

【東京電報】明政會の尾崎行雄氏は二十五日朝院內において尾崎行雄氏と會見、二十四日夜行はれた明政、民政兩派の會合において決定した民政黨の修正案につき賛成を求めたが、尾崎氏は民政黨の修正案中「剩余金はこれを減債基金に振向くべき法律を制定し」と支出その他の濫費の弊を除去すべし」の字句削除說は法議案中の慣例につき賛成し削除に賛成し得ずと拒絕した、尚に同案の前途は容易に既知し得ざる狀態となつた

無產各派 步調遂に紊る
社民黨に對して他三派
主張明かに一致せず

【東京電報】政治經濟國難決議案に關する無產黨共同委員會は廿五日午前十一時四十分、片山社民黨書記長事務所において勞農、日勞、民黨、勞農黨農民黨が一切の條件を附せず、民明兩派の現內閣不信任案目標に合流して投票をなすべしと主張せしに對し、社民黨は單に投票を合流せしむることをなさず民政黨に對し無產黨の政策實現を條件として合流せしむべしと主張して讓らず、明かに社民黨と日勞民黨、勞農黨はその主張において決裂して散會した、次いで社民黨は民明兩黨に對し

一、政治國難決議に於て普通法改正のため選舉權、被選舉年齡制限を二十歲に低下し、居住制限期間を短縮し婦人參政權を認むること
二、經濟國難決議案に於て勞働組合法、小作法の改訂を行ふことをそれ〴〵政策項目として追加すべく要求するに決した

四氏共同宣言

【東京電報】廿五日無產黨共同委員會において山本宣治、水谷長三郎、浅原健三、河上丈太郎、民黨岡原健三、勞農黨とはか三派ども協議した結果の聲明を發したゝめ社民黨は右四氏は田中內閣倒壞のために投票合流をはかる旨宣言した

民政黨の 不信任案
提出の手筈成る
濱口總裁說明＝床次顧問贊成

【東京電報】民政黨は廿五日午後五時院內に臨時幹部會を開き政治的國難、經濟的國難兩決議案と別個に政治的國難決議案を提出するに決定して七時半散會したが、濱口總裁自ら提案理由を說明し床次顧問賛成演說をなすはずである

政黨の決定に至らず廿六日午前の代議士會を經て本會議に提出する形勢にある

田中首相の演說
衆議院の兩相演說

【東京電報】第五十五議會における田中首相の演說左の如し

昭和三年度豫算は五十四議會解散の結果不成立となつたため政府は憲法の條章に依り前年度豫算に基き實行豫算を編成した

大禮に關する 經費は盛大なる大禮に際する一部を昭和三年度追加豫算として臨時議會を召集したが今回は全豫算を提出して協賛を仰ふに至りたること必要缺くべからざるもののみを提出したり、追加豫算は會計法に從ひ必要缺くべからざるものである

陸海軍一部隊 を山東に派遣したが、我が軍派遣は居留民の生命財產を保護するためにて我在留民保護のため已むを得ざるもので山東地方の形勢その必要を見ざる場合は直ちに撤兵するものである、尙彼所發生せる不祥事件の概要は既に政府に於て發表せる通りで詳細の點は司法當局の審理に俟たねばならないが、要するに組織的計畫を以て暴力的革命に依り我國體を變革し勞農專制の政府を樹てんとするもので其の思想無賴冒瀆に絕した不祥事件である、吾々は之に關し重大責任を感ずると共に皇室並に皇祖皇宗在天の御靈に對し恐懼に堪へざるのみならず又是等國民の祖先に對し慚愧に堪へざる次第である、政府は斷乎たる方針を以て之等逆徒を處分すると共に

因つて以つて 生ずべき原因を究め各方面に亘り出來るだけの施設と用意とを盡し拔本塞源の途を講ずる皆である、然し思想を正し精神を作興するは政府のみを以てよくし得ず朝野一致の大努力を要するものである

三土藏相の演說

【東京電報】衆議院本會議における三土藏相の演說左の如し

昭和三年度歲入歲出追加豫算第一號は大禮經費として歲入歲出各九百五十五萬餘圓である、大禮費は總額一千二十四萬餘圓にして內昭和二年度分三十四萬

昭和三年度
九萬餘圓であるが、この昭和三年度豫算中三十四萬餘圓は施行豫算の範圍內にて支辨し殘額九百五十五萬餘圓を追加豫算として要求せるものである、昭和三年度歲入歲出總豫算追加第二號は大禮に伴ふ關係各省の施設經費にして歲入出各六百三十六萬餘圓とする、昭和三年度歲入出豫算追加第三號は不成立豫算中必要缺くべからざる事項にして歲入出各四千五百四萬餘圓である

昭和三年度
總豫算追加第四號は不成立豫算中緊急止むを得ざる經費にして歲入出各一千百○七萬餘圓である、以上を通計すれば追加豫算總額は歲入歲出七千二百三十萬餘圓となる

一般豫算
昭和三年度實行豫算は
經常部　十一億七千八百卅六萬餘圓
臨時部　四億三千八百十七萬圓
計　十六億一千六百五十四萬餘圓
にして追加豫算の成立を待ち追加すべき實行豫算追加額は
經常部　一千四百十六萬餘圓
臨時部　一千四百十二萬餘圓
計　一千四百六十九萬圓

なり、以上昭和三年度**實行豫算追加** 並に追加豫算の三者を總計せる昭和三年度歲計總額は歲入出とも十七億○三百二十六萬餘圓なり、昭和三年度歲出豫算財源として新に發行する公債は一般會計にあつては震災善後公債六千四百萬圓、特別會計鐵道公債分五千五百十六萬圓、其の他は凡て前年度通りにして總額一億四千二百五十六萬圓である、地租の地方移讓は來る通常議會に提出することゝせり、從つて地租の地方收入に移するは昭和六年度となる豫定であり、かくなる以上營業收益稅をも

地租と同時に 國稅より撤廢する考へである、而して政府は國稅地方稅を通じ一般的稅制整理を遂行し社會政策的租稅制度を確立し努めて中產以下の負擔を輕減することとし、其成案を次期議會に提出する豫定である、尙經過的便法として昭和四年度よりある程度に於て租の稅率を引下げ營業收益稅の免稅點を引き上げる積りである

三年度實行豫算 議會に提出
總額十七億三百二十六萬圓
各省別內譯如左

【東京電報】昭和三年度實行豫算は廿五日議會に提出されたが、歲計總額は歲入歲出共十七億三百二十六萬一千五百十七圓にして內譯左の如し（單位千圓）

歲入

經常部	一、四八四、三六五
臨時部	二一八、八九五
普通歲入	四五、一八三
公債金	六四、〇〇〇
前年度剩餘金繰入	一〇九、七一二
合計	一、七〇三、二六一

歲出

經常部	一、一九九、五五五
臨時部	五〇三、七〇六
合計	一、七〇三、二六一

各省豫算

なほ各省別實行豫算の內譯は左の如し（單位千圓）

皇室費	經常部	四、五〇〇
	臨時部	—
外務省	經常部	一六、二八六
	臨時部	三、〇六六
內務省	經常部	四二、〇五三
	臨時部	一六四、一八八
大藏省	經常部	三四八、七二五
	臨時部	五七、〇九八
陸軍省	經常部	一七六、〇八一
	臨時部	四五、八三〇
海軍省	經常部	
	臨時部	
司法省	經常部	四三、四七二
	臨時部	一七、八八九
文部省	經常部	三二、一九三
	臨時部	二、三九九
農林省	經常部	一八、六四八
	臨時部	二〇、六〇七
商工省	經常部	二六、五二〇
	臨時部	二七、五四二
遞信省	經常部	四、九一九
	臨時部	六、六八三
合計	經常部	二八六、一五二
	臨時部	五八、三九八
合計	經常部	一、一九九、五五五
	臨時部	五〇三、七〇六

政經決議案

…說明したと、なほ日本共產黨テーゼは左の如きものであると
一、〇〇制の廢止
二、議會の解散
三、十八歲以上の男女普通選舉
四、言論、集會、結社、出版の自由
五、一切の反勞働者農民法の撤廢
六、八時間勞働制の實施
七、資本家全額負擔の失業保險
八、〇〇寺院地主等の土地の無償沒收
九、高度の累進所得稅
一〇、サヴエート、ロシアの防衛
一一、支那革命の不干涉
一二、戰爭の危機に對する鬪爭
一三、〇〇〇

貴族院豫算 正副委員長

【東京電報】貴族院豫算委員長は大河內正敏子、副委員長は藤田四郎氏に決定した

在留民の 保護が目的
不遍不黨＝儼然中立
派遣軍の首青と師團長の陳述

【青島二十五日發聯合】青島派遣軍を統率する福田第六師團長をはじめ齋藤第十一旅團長および第十三聯隊をのせたアメリカ丸は二十五日午前六時三十分に青島に入港、第十三聯隊を先頭に上陸を開始した、埠頭には福田師團長をはじめ官民多數出迎へた

福田師團長陳述【青島廿五日發聯合】福田師團長は二十五日朝青島上陸に先だち各新聞通信社に對し大要左の如きステートメントを發した

不肖帝國在留民保護の責任を負ひその所屬部隊と共に青島に上陸す、支那戰亂の結果我在留民の生命財產に危險を感じ派兵の已むなきに至れる事は我帝國の爲め眞に遺憾に堪へず、速やかに和平解決の日の來らん事を希望す、今回出兵の目的は既に我當局の聲明する如くたゞ在留民の生命財產を保護するにあり、支那戰局に對し毅然中立の態度をとり眼中南軍なく北軍なく、所謂不偏不黨は勿論なり、然れども苟も我軍の任務遂行上これを防害し、或は國威を傷つけるものあるに對しては一切假借なく決然斷乎たる處置をとるべし

先發部隊 今日濟南に到着

【東京電報】某所着＝二十五日朝青島に上陸した派遣軍先發部隊五五〇名は二十六日朝濟南に到着の豫定、三三〇名は二十五日夜青島出發し二十六日朝到着のはず

日支懸案の交涉は 南軍北京入城後
にすると蔣氏から通達

【東京電報】某所着＝蔣介石氏は最近日本側に對し北伐軍の北京天津占領も近きにより、南京事件その他日支間の交涉懸案件は北伐軍の北京入城後に交涉を開始したい旨通達した

總督巡視
和島特派員發

【麗水特電】總督觀察の六日目宿泊地たる麗水についたのは午後二時五十分、那麗郡廳側に官民有志外國人、在鄉軍人會、青年團、消防組、愛國婦人會員、水産學校、男女小學生等千余名整列して出迎へ盛大を極む、なほ門前には鎭海要港部参謀長松崎大佐、同港務部長伊佐少佐、副官小笠原大尉を從へ出迎へてゐた、總督一行は直ちに出迎み港に赴き四時發新船福丸に乘込み港灣を視察し原田工學博士の築港計畫の說明を聽取し五時半旅館に投宿、晩餐後總督元氣益々盛んにて諸般の所觀察詳細を極む、二十六日は汽船白銀にて鎭海視察、馬山に泊る豫定にて一日中船にて宿す譯であるが、馬山へは夜八時半着の豫定である

內務政務次官 秋田遞信轉任
其後任は秦氏か廣岡氏

【東京電報】政府は二十六日臨時閣議において故武藤內務次官の後任として秋田遞信次官を轉任せしむるに決し、即日上奏御裁可を仰ぐ筈のはず、なほ後任遞信次官は秦豐助氏又は廣岡宇一郎氏の內から選定される模樣である

大倉翁に 祭祀料御下賜

【東京電報】大倉喜八郎翁の葬儀は二十八日に行はれるがかしこき邊りでは祭祀料として氏の靈前に金一封を御下賜あらせられた

府勢振興會員上城

仁川府勢振興會吉田秀次郎、加來榮太郎、野口理事は廿五日上城、花町の埋築問題および小野勝鐵道問題について總督府當局に陳情した後、水野、大島、關係當局を訪ひそれ〴〵陳情する所があつた（仁川）

朝鮮鐵道協會 春期總會
廿六日朝鮮ホテルにて

朝鮮鐵道協會第一回定期總會は廿六日午後四時三十分より朝鮮ホテルにおいて開催、大村會長より一場の挨拶ありたる後議事に入り會務の報告及び一般會計決算報告の承認を求め、終つて一部理事の改選を行ひ、其他役員の補缺選擧に移り、會長より

明治鑛業會社、服部勇吉、阿川重郎、井上周、門脇勝太郎、清田茂實、荻原三郎、清水幸次、以上八名を指名し、監事重任として再任に新田留次郎、飯田郡…の三名を選擧し、副會長に新田留次郎氏を推薦して五時五十分に閉會、それより近藤博士の「鐵道に就て」、並に米國における鐵道の發達」の講演があつて晩餐會に移り和氣藹々裡に八時散會した

◇會◇

●堀井專務招待宴 千代田生命保險では常務取締役堀井卯之助氏が京城視察の途次入城したのを機とし廿五日午後六時から京城の各關係者を招待し盛宴を張つた
●龍山驛長送迎會 龍山驛長より鐵道局營業課へ榮轉した大野氏と後任龍山驛長に榮轉した信田氏の送迎會は龍山民間有志の發起で廿五日午後四時より鐵道局食堂で開かれた參集者二百餘名

◇人◇

○寺島利久氏（仁川府尹）新任挨拶のため廿五日本社來訪

茶話

▲龍取ラデーか龍取らぬデーか▲龍は市民が取るので道府龍が取るのではない▲道府龍に於て龍取りあるはさることながら▲四十萬市民に四十萬個の龍たゝきを持たせたるにおよばぬ▲一個の龍たゝきに一日百疋百日の殺生をさせたら▲殺生讃頭の日までには龍捕の數いくばくとならうか▲魂魄この土にとゞまつたところで高が鯛や鮪なら驚くに及ばず龍撲滅運動の寄附金募集は斷じてないことを請負ふにより▲官を安んじて鯨退治に從ふべきだ▲さて退治ても〳〵その跡をたゝぬは宣傳を職として口を糊するともがら▲災ひなす蘖蝱は小動物よりむしろこれにありて▲拂へども拂へども去りがたい▲京城市内三五の龍長を取りかへいづれ劣らぬ龍悦の聞こえ高いが▲借聞すこれ等五月の蝿蠅を如何せんとする▲物的龍取デーの外に心的龍取デーはなきものなるか▲いよ〳〵なしと定まらば龍叩きの使用を許してやるも一策▲いやな宣傳まちがつた宣傳べらぼうな宣傳は▲全く龍と同罪としてそれ〳〵に咎を以て處刑しおはる▲時勢にあらずといへども推薦ならんや▲三五の龍長と共に席をまぢへて一席にお上ぶを聞せぬ一つの問題▲明り蟲蝿から龍へ（龍の親）

經濟

本年度の 水利代行割當

昨年度迄の工事未着手の水利組合は十六組合、蒙利面積一萬五十九町步でなほ今年度新着手豫定のもの十七組合四萬三千六百五十町步あり結局今年度中に工事着手豫定總面積は三十三組合五萬三千七百二十四町步である、しかしてこれが代行會社側當局においては近く該組合の水利組合において本府當局東拓土地改良會社當局者が會合し協議を重ね決定を見るはずである

連帶貨物增加

四月中旬の鮮內各線連帶貨物は局線發七千二百八十二トン私鐵線發八千七百五十三トンで前年に比して局線發五百九十四トン私鐵發一千三百二十四トンの增加で、殊に湖南線の栗、セメント、忠北線の豆粕セメント、黃海線の栗、セメント、咸南線のセメント等が目立つて增加した內譯左のごとし（單位トン）

線別	局線發	私鐵發
京釜線	二五	二二二
京義線	一六六	四三
京元線	一、四〇一	一、四六一
咸鏡線	一、三六八	一〇四
黃海線	一、六九一	二七〇
湖南線	一、二三三	三
朝鮮鐵道	一、〇〇二	二、〇二
金剛山電鐵	一三〇	八六
价川鐵道	二三六	三

局線中旬業績

四月中旬の鐵道局業績は收入合計百十一萬七千五百六十九圓で前年同期に比して約二萬四百餘圓の增收である、右は主として旅客收入に於て增收を見たるもので、貨物收入は多少減少して居る、なほ內譯は乘車人員八十八萬六千三百九十七人手小荷物を數七百五十三萬五千四百十七噸旅客收入五十六萬四百七十七圓前年に比して三萬四千餘圓增、貨物收入は五十二萬九千三百七十八圓と前年に比して一萬七千餘圓減、雜收入は前年に比し七千五百六十九圓、收入合計百十一萬七千六百圓と前年に比し約二萬圓增、一日一哩平均收入七十六圓七十二錢であつた

◇株式◇

大阪短期引跡

大新　九十二圓六（十錢安）
鐘新　百四十圓（十錢安）
久原　五十九圓二（十錢高）
東新　百七十八圓七（十錢安）

本玉

二十五日前場に於ける百枚以上の賣玉左の如し
▲大新 賣方白井九三〇正崎一六〇松山二三〇金潤五〇外小口二店▲買方大林一〇〇吉三一〇〇浪殿一三〇成清一一〇〇新田八九〇田邊四七〇白樂一六〇外小口二店
▲東新 賣方白井一七〇正崎三八〇田友一六〇京證一二〇松山三〇〇新田一五〇金潤一〇〇外小口二店▲買方浪殿二〇〇吉川三四〇松山一五〇新田五三〇田邊二七〇外小口二店
▲鐘新 賣方新田一〇〇外小口四店▲買方小口八店
▲京證 賣方白井七〇正崎二四〇京證二九〇外小口五店▲買方大井一九〇吉川一八〇松山四九〇新田一五〇田邊五〇〇外小口三店

◇期米◇

各地期米後止

▲兵庫三〇九六▲名古屋三〇四九▲下關二九七八▲金澤二八七一▲關本二八五九▲桑名十一番二九一九▲十二番二九一六
大阪最終　九十三錢

仁川各店俵合（單位百石）

富田　賣方　㊀一五㊂五㊀三二
同　買方　㊁二九㊀一九㊃四
中限　賣方　㊀二五㊂五〇㊉七㊃一
同　買方　㊁一㊅五二㊂三二㊄五

◇市況◇

鮮魚低落

京城府中部魚相場は花見景氣失せて前日來の好調は引替へ低落一般に二圓方の下落を示して居る水揚高四千六百六十五圓二十錢買數二千四百三十九貫

▲タイ七〇▲アマダイ三〇▲ベニタイ二〇▲チヌダイ三〇▲サハラ一〇▲小タイ三〇▲モエビ三出▲ブリ二〇▲スズキ三〇▲メバサバ一七▲コノシロ一三▲アナゴ一六ル一四▲ボラ一〇▲タコ一七▲イカ二五▲ヒラメ一五▲ヒラス三〇▲ニベ一〇▲カナガシラ一七▲イワシ七▲上ザツ七▲カジキ五〇▲並ザツ六▲カマホコ一四

大阪市中外棉唱へ
前日比較

ストリクトミドリング　四月限　五月限　同　五〇〇　不變
ブローチ　同　同
ベンゴール　同　同

綿布落付

米棉五十錢高と作柄不良を傳へ三品一、二圓方高騰目先當一段と高見込み、市中現物界は綿高を移し氣配良好ながら成行相落付模樣である

硫安昂騰

昨今の粕高に加へて內地肥料硫安の値上げ旁に刺戟され人氣は逐日硬化して來たが、先日來に日鐵は先頭五圓五十錢と四錢方の値上げを行つた、日鐵の第二次爆期を目前に控へて此の値上げに他の硫安も之に追從するであらうと觀られ少時懸保合中るであらうと觀られ硫安界は愈に活氣を帶びて來た模樣である

豆粕漸落

豆粕は先日來ずり安步調を續けて居るが、本日も亦一錢方下押し安値二圓六錢を唱へて居る、目先は昨今の不伸なのと原料大豆の出廻りか緩和されたる模樣に、まだ一押付あらうと觀られて居る

過燐酸保合

過燐酸は依然閑散期間の小康を保ち人氣は益々硬化で相場も一圓四十八錢を其の儘持續してゐる

鐵板保合

鐵板は昨今需要時期に入つて人氣は良好であるが亞板は五圓厚十貫につき五圓七十錢と二十錢方嗄いが龍山もの五十三枚物は亞板に反し六圓七十錢と三十錢方の昂騰を示した

京城米穀市場

（中略）

大邱米穀市場
群山米穀市場

釜山米穀市場

仁川穀物出入（廿五日）

	入	出
玄米		
白米		
大豆		

大阪市中在米高

大阪市中在米は廿五日現在は百四十五萬三千五百九十七俵と前日在米高に比較して八千廿二俵の增加である

議員自決案の合理性

通俗に無産黨と稱せらるゝ二三代議士に對する自決案が、今明日の衆議院に提出せらるゝかも知れぬといふ。表面われ等の知り得る情報によればそれ等の代議士は過般の共產黨事件と關係あるべしとにらまれたがためであるかのごとくである。むろんそれは單ににらまれたがためにのみ事のこゝに至つたのではないであらうけれども、表面の情報のみを以てすれば、彼等は自決案なるものゝ妥當を是認するにしても一應吟味し置かねばならぬ多くの點あることを推察せずには居られない。

◇

代議士が現實に刑事訴追さるゝ場合といへども、法律が制限的に代議士の職權におよばないことは申すまでもない。いはんやいまだ嫌疑の事實すらなきに、代議士たる身分をおびやかすがごとき一切の追求を受くべきいはれは斷じてない。被疑者はあくまで被疑者であつて最後の判決に至るまで何でもない。いはんや法律上の被疑者でも何でもない問題の二三代議士に至りては自由にかつ平穩にその與へられたる地位を確保し主張してよいのである。かくありてこそ政治的たるほこりを擁護し得るのであつて、殊に通俗にいひならふ無産黨員として、左傾的思想の所有者たるのゆゑに、代議士たる地位をおびやかさるるがごとき政府の處置はわれ等の反對せざるを得ざるところである。

◇

ただしかしながらここに共產黨事件なるものあり、それに關連したる多くの被疑者が檢擧せられ、議會問題だ分明なりとし、しかも問題の二代議士のごとき、最もこれと接近したる痕跡を有したりとせば、しかして實に左傾なる人物と共に國家を否認するの徒たらんか、二代議士のために自決を要求すべきを求めらるゝことは決して有得べからざることではない。けだし二代議士において被疑のごとき事實が現實にあるにせよなきにせよ、良心の存在はもちろん疑ふべからぬのであつて、いはゆる自決案はすなはち、この良心の命ずるところをあづかり聞かんとするのである。

◇

事は司法の問題ではない。良心の問題である。良心の問題たる限りあらゆる判定に先んずることが出來る。現在の代議士に良心があるかないかは問ふだけ野暮なりといはんかなれども、代議士に良心なかるべしとの推定を以て、良心を自繩とする提議の出現を不可能なりとも、不合理なりともいふとは出來ない。」

蝿取らぬデー

廿五日は蝿取デーであつた。道衛生課、府衛生課、各警察衛生係が總出動して大わらはの奮鬪ぶりであつた。京城はすなはち府內外の各衛各戸におよんだとを疑はぬけれども、各衛各戸の衛生がこれによつて一掃したかといふとそうはおもはれない。けだし各衛各戸の住民の衛生思想がそこまで發達して居ない限りがあるからである。衛生思想は半歩遅々として居る。蝿取實行に至りては風馬牛と一般であるかのごとくある。

蝿を衛生の根本に擁護することは公衆衛生の上から必要事である。公衆の必要事は公衆によりて例外なく實際に克明に行はるゝことを要する。しかくあることがいはゆる公衆を形成するところの市民各個の大きな義務である。市民生活が一個の生活たるを顧念しうる限りそこに一つの統制がなくばかなはぬ。蝿取デーが必要事として提起せられ市民生活の統制に依倚してこれを實行に移さんとする際には市民生活の成員は喜んでこれに參加しなければならぬ。喜ばずといへどもこれに參加することがたふとい義務だ。蝿取デーを蝿取らぬデーとして徒消したるものは蝿取らぬデーを蝿取デーに轉化して徒消の債務を果すべきである。」

月賦販賣論　(六)

米國に於ける月賦販賣の現狀

自動車に試みられて流行し出した

アメリカで月賦販賣をやり出したのは今から百二十一年前の一八〇七年、ニューヨークのカウパースウエイト(Cowperthwait & Sons)といふ家具屋が最初ださうで、何でもバター賣りの一婦人からヒントを得たといふ話である。品物が客も買ひよく、賣る方も儲かるといふ新しい方法なので追々他の同業者も眞似て、終には家具類は何でも月賦で賣る樣になつた。續いて一八五〇年には御承知のシンガー・ミシン會社が月賦販賣をはじめこれが又大流行となつて何所の家でも爭つてミシンを買ひ込んだ次ぎは一八七〇年代のピアノでこれは品物が高價なのと客筋がよいので成功し更にセツト物の書物の月賦販賣が中流知識階級を目標に展開さるゝに至つた。然し月賦販賣が今日の隆盛を招くに至つたのはこれが自動車に應用せられてからの事である。

自動車の月賦

自動車がはやり出して月給取やお百姓さんもこれを欲しがるやうになつた。又自動車會社にしても大量生産を行ふには大量販賣がなくてはならぬ。そこで一九一〇年には好い氣候と好い道路に惠まれた太平洋岸の諸州で先づ中古自動車の月賦販賣がはじめられその後二三年の間に漸次新品にも行はれる樣になつた所がこゝに一つの困難があつたそれは販賣店が顧客に月賦で賣つて自動車會社へは現金で拂はねばならぬ事である。この間の金融をどうするかといふ問題である。そこでこの金融を容易にする爲に生れて來たのが金融會社である。一九一三年十二月サンフランシスコのウイーヴアーといふ男がはじめて自動車の月賦證券引受を專門にやり出したといふ事であるが、その後二年を經てウイリス・オーヴアランド自動車會社がガランチー證券會社を創立したのをはじめとして續々自動車專門の金融會社が設立せられた一九一八年にはアメリカ最大の金融會社の一つとして有名なヘアー、アンド、チエイス商會(Hare & Chase)が創立され又翌一九一九年にはジエネラル・モータース會社の重役ラスコブ氏の發起でジエネラル・モータース金融會社が出來た。殊に最近の數年間における金融會社の發展は目覺しい。即ち一九二三年には金融會社の數も約一千に達しその月賦取扱ひ高は自動車販賣高の一割七分に及んだ。それから一九二五年になると會社數が一千六百乃至一千七百に增加し、その取扱ふ金額は總販賣額の七割乃至七割五分に達するに到つた。しかも大部分は自動車會社と特殊の關係にある少數の大金融會社の手によつて行はれたのである。

月賦と一般小賣

以上はアメリカにおける月賦販賣の發達の經過であるが、次ぎは月賦販賣が小賣の中でどれ程重要な地位を占めて居るかを簡單に研究して見よう。

一年間にアメリカでどれ程の品物が消費公衆に販賣されるかといふ事についてはマン氏(Lawrence B. Mann)とニストロム氏(Paul H. Nystrom)の調査がある。その詳細は略するとして結論だけを言ふとマン氏は一九二三年の小賣總額を約三百七十億ドルと見積りニストロム氏は三百五十億ドルと概算してゐる。兩氏の調査共に「一國の小賣總額はその國民所得の半分に當る」といふヨーロッパの學者の說と大體一致して居る點であるがセリグマン教授はこれ等を綜合して一九二八年度のアメリカ小賣總額を三百五十億ドルと推算してゐる。

次ぎは商品別の小賣價格および月賦販賣額であるが兩者とも纏まつた統計が少い。ファーマース・ローン、アンド、トラスト會社(Farmers' Loan and Trust Company)の調査がよくアイヤース(Milan B. Ayres)氏の數字の方がよく纏まつておりセリグマン教授も主としてこの統計を基礎として居るやうである。

セリグマン教授はアイヤース氏調査の月賦販賣額について商品別に區分した後總額において二十億三分の數額を主張してゐる教授の數字も赤概算に止まる所は勿論であるが、この中自動車家具および蓄音機については比較的確實な材料により計算したと言つてゐる但しこの表中には、トラクターおよび農事器具の三者は商業消費用として月賦販賣の中へは入らない。からこれを取除くと、一九二五年度においては小賣總額三百八十億ドル中の月賦によるのは四十五億七千四百萬ドルで、ある一時にける月賦手形の總額は二十億六千七百萬ドルといふ結論になるセリグマン教授の顏べは今まで普通に擧げられてゐた數字よりは少いがそれでも大きな金額ではないか右に示した表によつてアメリカの月賦販賣が主として自動車家具ピアノである事が判る。その他大體如何なるものが月賦で販賣されてゐるかも一目瞭然となる。どういふものが我國で月賦販賣に適するか、それは大に研究を要する事であらう。」

朝鮮藝術資料

安平大君蒐集の古書畫に就て　(三)

學務局　加藤灌覺

宋　崔慤

花鳥畫の巨匠としては、その時代における一流の人であつた、今手元にあるのは秋花野禽の圖一幅だけであるが、既に風霜變涼毛羽斑駁の跡を描寫し盡くした名畫である。」

元　趙孟頫

畫はいづれも絕倫、既に衆體した名家である。今手元にあるものは行書二十六幅と、眞草二幅である。

元　鮮于樞

趙孟頫と同時に書を學んで、知名の大家となつた、今手許にあるのは、草書が六幅だけである

元　王公儼

花鳥畫の大家であつて、寫生を主としてゐた、今手許に存して居る花木の圖十幅は、柔荑嫩蕊戲鳥相呼ぶの趣きがあり、その竹花鳥圖四幅と、果木の圖四幅とは、花實草虫圖研として變化の妙を示し眞荷鷺鷥の圖や、黃鷹の圖や、孤雁飛鳴の圖や、桃花鷹子の圖や、鴉鵲の圖やなどは、いづれも羽を斂めて身を竦て、又は飛翔驚喝して全くその眞に逼つて居る。」

元　顏元。陳義甫

また花鳥の大家であつた、今手もとにあるところの澁栗飛技の圖一幅は、稀畢簡疏全く造化そのものを彷彿せしめる。陳義甫の畫としては、櫻花の圖一幅と、杏花の圖一幅であるが、いづれも現前目に溯びて飄飄淸翰を弄するの概がある。」

元　劉伯熙。李弼。馬遠。喬仲義。劉遠暢。顏輝。張彥甫。顧迎卿。張子華。羅稚川。」

以上の人々はいづれも山水畫家としての巨匠であつた。伯熙は樹石が殊絕で、亦雅老樹に卓絕した長所がある、今手もとにあるものは、江亭雪霽の圖が一幅、長江の圖が一幅、長林雪霽の圖が一幅、合せて三幅であるが、既に懷古の作品といふことが出來るものである。李弼は墨戲が精微で樓閣と人物とに長所がある、今手もとにあるのは、滕王閣の圖が一幅、岳陽樓の圖が一幅、滕王宮の圖が一幅、商山四皓の圖が一幅、二十四孝の圖が十二幅、古木の圖が一幅、靈巖寺館の圖が一幅等であるが、いづれもすぐれた作品として推賞しうるものゝみである。馬遠は絕妙なる畫法、恐らく興に肩を比べうるものがなからう、今手もとにあるのは、長松帝舍の圖が一幅、漢居淸宴の圖が一幅、合せて二幅であるが、その圖の中に表現されてある尺山寸木にも、一點の規矩を踰へざる大家の手法が示されてあるのを見出す。喬仲義は風雅山水の大家で、その畫圖の中には、一木一石を苟もせざるところの法則が示されてある、今手許にあるのは、深綠の山水圖八幅である。劉遠暢は水墨畫の大家であつて、その瀟灑入神の技に至つては、既に斯界の第一人者であらう、今手許にあるのは水墨山水一幅だけである。顏輝は岩石と人物とにおいて名を知られて居る、今手許にあるのは山中觀瀑の圖が一幅、羅漢佛が三幅である。」

馮軍の先鋒長辛店を占領

濟南を目標にしてひた押しに進擊

【北京廿四日發聯合】廿三日午前六時曲阜から迂回して來た馮軍の先方は大濱口を突破した馮軍は更に進んで滄州を占領した北軍は目下萬德店に前哨線を置いて防戰につとめつゝあるが濟玉鮮の各軍の最前線は濟南を目標に進出しすでに長辛店を占領したといはれる萬德店の背後を衝かれるおそれがあるので山東軍は更に同地をも退却を余儀なくせらるであらうかくて濟南の危險はいよ〳〵切迫した

奉軍の大評定

各巨頭に召電

【北京廿四日發電】張作霖氏は時局收拾の協議をなすため吳俊陞、楊宇霆兩氏に至急來京を電命したが、吳氏は黑龍江騎兵を率ひ直に出發するとの返電あり、楊宇霆氏は目下馮軍と激戰中なるも後事を張學良氏に委ねて至急上京すると返電して來た、よつて近く奉軍の進退を決する大評定會議を開催のはず

大元帥府で防禦策協議

濟南支持困難の際　精銳を後方に廻す

【北京二十四日發】大元帥府では二十四日朝來緊急首腦會議を開き對策考究の結果左の如く決定した

一、濟南支持不能となれば孫良軍隊を郊外北に退却せしめ不良軍を犠牲とし南軍に對抗せしめその間に黃河鐵橋レールを取り外す

二、青島海軍避返り防止のため十分の軍數を與へる

吉林騎兵二千戰線へ向ふ

【奉天廿五日發】問題の吉林騎兵は先發隊として百八十騎昨夜皇姑屯着直に戰線に向つたが今明日中には約二千騎全部同所着戰線に向ふはずである

模範隊出動

【奉天廿四日發聯合】戰況が陥落したので張學良所屬の奉天駐屯模範隊は出動命令を受け廿三日夜來戰備にとりかゝつた

山東軍敗退

【北京二十四日發】濟南南軍の進擊急にして山東軍は無抵抗で敗退し黃河に據るものゝ如く現在の勢ひでは二十四時間後の濟南の運命は全く見當がつかぬ

張宗昌氏は下野の決意

依然不利なら

【天津二十五日發】張宗昌は二十四日濟南で天津日報特派員に對し『今後の戰況依然として不利に陷り再び拾收し難きにおいては余は斷然下野して旅順に歐遊する決定である』と語つたなほ張宗昌は世軍品を日本側に委託すると共に近親を旅順に急派した

奉軍の援兵輸送

間に合ふかは疑問

【奉天特電】張大元帥は津浦線における戰狀に鑑み吉林、黑龍の全軍に錦州方面に出動すべきことを命令した。總指揮官は吳俊陞氏にして吳氏は黑龍第十八師團を率ひて近く出動するが錦州までには一週間を要すれば目下の危急の間に合ふやが疑問である。長春より徒步にて來着中の吉林軍は本日京奉線にて前線に向ふはず、また齊齊哈爾にある黑龍騎兵も既に前線に赴くべく貨車七臺にて輸送するはず

朝鮮人勞働者の爲

積極的保護對策

主として職業の紹介

年々一萬以上內地に移入する朝鮮人勞働者の取締保護については政府當局に於てもすくなからず苦心してゐる處であるがこれ等移入者の大多數は確實なる目當てもなく唯漫然と渡來するのであるから從つて就職難の爲に生活に窮しどうの誤りは惡事を働き或は思想的に惡化するなと現在十五萬の鮮人には當局も手を燒いてゐる狀態にあるので最近北鮮における鮮人勞働問題の對策を樹立すると共に內地移入鮮人の取締保護の見地からこれが對策を考究する必要があるとし目下內務省社會局は主として職業紹介關係當事者において鮮人勞働者等との間に協議を重ねてゐるが大體の根本方針は移入者の殆ど全部が就職に渡來する勞働者である點に彼等の職業紹介に一段の力をなすべく左の如きものが決議されてゐる即ち人口食糧問題解決の見地から將來有望視されてゐる朝鮮の拓殖計劃の一策として今後は朝鮮內地において干拓、築港、水田灌漑工事等を起しそれに成る可く彼等を收容する事に努め內地移入者は目當の確實なる者に限つてこれを許可し何等のたよりなく漫然と渡航する者を防止する事になり現在すでに內地に移住してゐる者又は新に移住する者に對しては全國的に職業紹介所が連絡をとつて能ふ限り就職を斡旋する事としこれが積極的方法として鮮人專門の方面に對して求人口の開拓に努めるはずである、しかして現在これ等勞働者の出稼地は大阪福岡東京神戸が最も多くこの外鐵山等の所在府縣を始め全國至る處に分布し內地人に比して賃銀その他の點において割合いゝので事業主側はこれを非常に歡迎してゐる傾きである

南軍肥城占領

【濟南二十四日發】北軍は濟州の線を支持しかね主力を萬德店附近に集めつゝあり南軍騎兵隊は既に之を拔き一部は肥城を占領して長淸方面に迂回中で近く濟南總攻擊となろう

奉軍戰線短縮

總退却の時は全線總崩れ

【北京廿四日發】津浦線の總崩れの際京漢線の奉軍は戰線短縮を絕對必要とし奉天總司令部は楊宇霆氏を總指揮とし保定を第一線、長辛店を第二線とし、津浦線は滄河を第一線、灤州を第二線に短縮することゝなつたが、奉天軍の總退却の場合は大破綻を生じ全線總崩れとならん

日支通商條約

【北京廿四日發聯合】日支通商條約改訂期限は本月二十日附で外交部との間に公文の交換を經り更に三ケ月延長された。

前田菊子夫人渡歐

【東京電話】駐英大使館附武官前田利爲侯夫人菊子夫人は廿四日朝東京出發來る廿六日神戸出帆の伏見丸でロンドンに向ふはずである

創作

屍戀　(四十)

三樂

經作には、酒のより好みがない。どのやうな酒でも、よく飮んだものです。しかし、そのなかでも、このカクテールだけは、彼の一番の好物でした。からして、話ながらも、運ばれて來るカップが、いつの間にか三つも並んでゐました

「さう勿體つけなくたつていゝぢやないか。おごるだけの價値がありやいつでもおごるサ……」

心持も陽氣となつた經作は、皿の物にナイフを入れながら、年增をチョッと見て、殊さら「いつでも」にわざとらしい力をいれました。すると女は無造作に笑つて

「いけませんよ。いつもその手なんだから……最初からきめておかなくつちや駄目だわ…ねえ美以ちやん……」

「そりやそうだわ」

美以ちやんといへる女が、かういつて眉のあたりに波をうたせるとあとの三名も、同じやうにいつて、年增の言葉にわけもなく賛同しました。

その時、入口のドアーがあいてどこかの會社員らしい若い男が這入つて來た。みなの視線はいつせいに、その方に向けられました。

「いらつしやい」

女等の聲は機械的です、さういつて立ちあがつたかと思ふと、その男がはじめての客なのか彼等の顏には職業的な氣まずさが流れてゐました。

男は一杯の紅茶を注文すると、誰を相手にするでもなく、持つて來た雜誌を見るともなくページを繰つてゐました。

それから、しばらくして、今度は五人連の角帽がドヤ〳〵と這入つて來ましたのでカフエーの中は俄に賑かな笑ひ聲にみたされました。

女等は、そのあひだを、いかにも彼等の世が來たかのやうにいそ〳〵と注文の飮み物や、サラダなどを運んだり、なじみらしい學生等と、うろおぼへの新語をあやつつて、戀だの愛だのとはしやぎ廻つてゐました。

經作は、カクテールの醉ひと、そうした、はなやかな雰圍氣とで、すつかり氣分を一新していゝ氣持になつてゐたが自分の前に年增がゐるのに不圖氣がついたらしく

「おや忘れてゐた、あんまり賑やかしくなつて來たものだから……」

とあはてゝ女にとひかけました。

「さつきのつゞき……?」

年增はニヤリとしてうなづきました。

「さうだよ、一體、茨木がどんなことをしたのかい……」

「茨木さんぢやなくつてよ、このお話の主人公は、あなただわ!」

「ナニ……?僕だ……?」

「さうなのよ、あなたもずい分罪だわ……」

「ほほう……いやな人」みんな知つてるくせに、どんな罪だつて……」

「いや、ほんとに少しも知らないんだ……」

「どうせさうでせう、知らないんでせう、知らなきや聞かしてあげるわ……」

「うん聞かしておくれ、何でもおごるから……」

經作はもうこの話が後子の一件であることは想像したが、彼女の口からどんな秘密がもらされるかよ、おそろしいやうでもあり聞きたくもありました。經作は胸のあたりがしだいに鼓動するのをおぼえて來ました。

法人登記公告

[illegible] 順川出張所

法人登記公告

[illegible] 茂朱出張所

法人登記公告

[illegible] 陽德出張所

法人登記公告

[illegible] 平澤出張所

法人登記公告

[illegible] 中和出張所

法人登記公告

[illegible] 原州支廳

商業登記公告

[illegible] 群山支廳

商業登記公告

[illegible] 淮陽出張所

法人登記公告

[illegible] 永登浦出張所

法人登記公告

[illegible] 谷山出張所

本店　京城

支店出張所　內地　東京、大阪、大阪西區、神戶　朝鮮　釜山、大邱、仁川、平壤、鎮南浦、元山、群山、木浦、淸津、會寧　滿洲　大連、旅順、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、開原、四平街、長春、安東縣、哈爾賓、龍井村　支那　上海、青島、天津　露領　浦鹽斯德　米國　紐育

右ノ外倫敦、巴里其他內外國要ノ地ニ在テ取引先有之候

朝鮮銀行　總裁　加藤敬三郎

洋鐵鋼。鋼。鐵。鉛管。亞鉛。

土木建築材料

パイプ。機械。工業用付屬品

釜山府幸町二丁目　角野商店　電話長二三三　振替口座釜山二三九番

公認　自動車運轉士養成

●現代的新職業ニシテ將來益々有望●修業者ハ總督府免許ヲ得易シ●規則ハ郵券四錢送レ

朝鮮自動車研究所

◎◎ キンギン石鹸

滋養強壯料

美味と滋養

化學工業博覽會銀牌受領

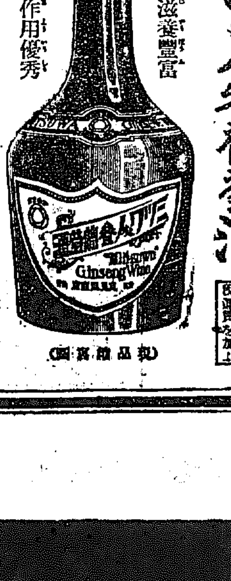
○ミツワ人參葡萄酒

飲むだけ身になる　食前食後の一盞。

風味高潔淸和滋養豐富

元氣增進興奮作用優秀

定價　一壜　金貳圓貳拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ



(製品寫眞)

ミツワ人參葡萄酒は、科學的研究を經て効力卓絕と認められたる人參を、特殊の操作に依り、小店秘密、朝鮮產ミツワ農場葡萄園產なる芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして淸爽、其の味は濃厚にして甘快、能く何人の嗜好にも適應し、元氣を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の强壯を爲し、精神の疲勞並に筋肉の疲勞を除き、尙健者に新活力を賦與する上に於て、他の物を以て代ふべからざる効果あり。本品は醱酵飲用すべく、一匙滿服したる水或は諸種の淸涼飮料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は强壯料○ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、元氣を盛んにしたい人　一、延命長壽を願ふ人　一、貧血して居る人

一、精神を爽快にしたい人　一、精神や筋肉の疲勞を早く回復したい人　一、榮養を良くしたい人

一、體力を增したい人　一、虛弱又は勞働して疲れた人　一、手足や腰部に冷えて困る人

一、身體を强壯にしたい人　一、食慾を進ませたい人　一、生來虛弱な人

一、元氣よく活動したい人　一、消化を良くしたい人　一、些細の事に氣にかける人

一、病苦や不快の感覺を忘れたい人　一、精力が減り元氣の無い人　一、身體の痩せて居る人

一、悲しい事も無いに泣きたい人

賣捌　和洋酒食料品店・藥店・雜貨店にあり。

最寄に販賣店なくば直接本舖へ御註文あれ(郵券代用三圓以下差支なし)

○ミツワ石鹸本舖　(東京下谷區二長町)(振替東京七一〇)　丸見屋商店

全羅北道
叺の米を抜替へる
籾摺業者の悪事露見

群山府新興洞籾摺業者申允明は三月同地米穀検査所で検査を受け合格した三、四等および等外玄米四十八叺(一叺四斗入)を群山および外形を損ぜぬ程度に口を開き籾摺せ米等の品質粗悪なものと詰替抜き取つた玄米は他の叺に入れて群山に搬出し同地検査所で着にも受験請求をなして合格印を得これを同地で轉賣し不正利益を得て居る事を去る十八日新義仁米穀所員に發見され所轄警察所に告發されたが本件の取調べに對し同人は飽まで知らぬ存ぜぬの一点張りで雇ひ人手後化の所謂といひ品は四十錢不合格品は十錢づゝの手數料を主人より給與さるゝので差額一叺につき三十錢づゝの欲しさに同じ屋人の金粕の贋名を騙らひ中味の入れ替をなしたりと供述してをるがすでに在庫品の數量けは群山で買却處分濟みなるにな は同數程の叺がありとせばその間不徳の生ずるはずでかつ警察金錢の取引授受等の關係上店主が知らぬとはいひ難くその上更に同一不正品十一叺をも發見した點から推して共犯頗る曖昧で主從共謀とにらみ二十二日一件書類と共に申允明外二名の身柄を米穀検査規則違反および詐欺未遂として所轄井邑署に護送となつたが近來同地方にこの種不正事件が頻々と發生するが何れも眼を盗ひ人に銘りつけ處分を脱れ居るは取締規の缺陥にもよる點あるやで當局者もこれには可成頭を悩まして居る模様である(裡里)

群山競馬會
【四日目】

好天氣に惠まれし群山春期競馬大會第四日目は九、十回目に豫想外の大番狂はせあり配當二十圓の配當を見人氣を呼んだ當日の勝馬配當左の如し(群山)

▲第一競馬古呼馬乙種競走 一着アラナミ(鵬元) 配當三圓七十錢
▲第二競馬各抽籤馬朝鮮産馬競走 一着ヤクモ(勝村) 配當三圓
▲第三競馬騎乗速歩競走 一着ヤレバワカル(平田) 配當四圓四十錢
▲第四競馬本倶樂部指定新馬競走 一着ルイズ(鵬元) 配當三圓七十錢
▲第五競馬古呼馬乙種競走 一着カチドキ(竹田) 配當二圓四十錢
▲第六競馬本倶樂部抽籤馬競走 一着シンイ(平田) 配當二圓五十錢
▲第七競馬古呼馬乙種競走 一着ウイリアム(清水) 配當二圓二十錢
▲第八競馬各抽籤馬朝鮮産馬競走 一着シンイワイ(鵬元) 配當二圓三十錢
▲第九競馬古呼馬甲種競走 一着サンライト(竹田) 配當十七圓十錢
▲十競馬乙種勝馬競走 一着トカチ(竹田) 配當二十圓
▲十一競馬各抽籤馬朝鮮産馬勝馬競走 一着シボレー(池ノ平) 配當二圓八十錢
▲十二競馬本倶樂部指定新馬勝馬競走 一着デトラータ(額川) 配當三圓三十錢
▲十三競馬本倶樂部抽籤馬勝馬 一着マルダイ(池ノ平) 配當二圓七十錢
▲第十四競馬古呼馬甲種勝馬競走 一着モントレース(平田) 配當三圓九十錢
▲十五競馬各種混合競走 一着ミロク(鵬元) 配當三圓三十錢
▲第十六競馬各種混合競走 一着スリキャスル(有吉) 配當三圓九十錢
▲第十七競馬各種混合競走 一着マルニシ(大久保) 配當二圓三十錢
▲第十八競馬速歩競走 一着ヤレバワカル(脇田) 配當三圓

鎌を盗む

全州郡東面文岱里盆在(二七)は二十三日午後四時頃裡里市場大久保商店々頭に陳列しありし鎌十挺價格六圓を窃取逃走せんとした處を裡里署李刑事の手に逮捕さる(裡里)

慶尚南道
山梨總督
廿七日釜山着

目下南鮮各地巡視中の山梨總督は二十七日馬山府内を巡視した後同日午後一時五十分釜山着府内各施設状況を視察することになつたがその際釜山府並より釜山當面の重要問題を陳述する由であるが公職者代表より△水道擴張問題△取引所の設置△釜山府廳舎の新築等を陳情すると(釜山)

晋州消防紛糾解決

晋州消防組の紛糾は出初式當時の問題に端を發し遂に幹部組員の辭職となり組員四十七名は組頭の辭任を要求し組頭の手もとに提出し、幹部もまた總辭職をなして事態頗る重大となつたが前組頭清水、山川、上村、間島、岡の五氏は居中調停を試み兩者とも一應辭表を撤回する事となつたが、幹部より調停者に申出でたる左の事項は最後の處置として適宜に處したるものと解されてある(晋州)

一、總辭を撤回して後任幹部の任命と同時に辭任すること
二、春季演習は現幹部において行はざること
三、新幹部の組織は前組頭五名(調停者)の推薦を希望す
四、後任幹部の組織は十五日以内に決定されたきこと
五、非常時に際しては快く出動することを辭せず

郡屬異動

總督府にては廿三日付にて左の如く各府郡屬の異動を行つた

郡屬(統營) 水戸啓三郎 密陽郡在勤を命ず(主任)
郡屬(蔚山) 木曾 則六 統營郡在勤を命ず(主任)
郡屬(固城) 田邊 健造 山清郡在勤を命ず(主任)
郡屬(南海) 白石 正親 陜川郡在勤を命ず(主任)
郡屬(陜川) 山田 道 晋州郡在勤を命ず
郡屬(昌寧) 鄭 西 周 陜川郡在勤を命ず
郡屬(統營) 辛 昌 烈 任朝鮮總督府々屬 馬山府在勤を命ず
郡屬(固城) 金 在 榮 統營郡在勤を命ず
(以上庶務係郡屬)
郡屬(晋州) 金 昞 成 宜寧郡在勤を命ず(主任)
郡屬(宜寧) 渡邊將大郎 固城郡在勤を命ず(主任)
郡屬(税務) 小松 榮 任朝鮮總督府郡屬 山清郡在勤を命ず(主任)
郡屬(南海) 荒武 友行 蔚山郡在勤を命ず(主任)
郡屬(蔚山) 小泉弘太郎 南海郡在勤を命ず(主任)
郡屬(梁山) 鄭 在 健 昌寧郡在勤を命ず(主任)
郡屬(陜川) 朴 聖 映 居昌郡在勤を命ず
郡屬(居昌) 朴 炳 龍 陜川郡在勤を命ず
郡屬(昌原) 深村 龍一 任朝鮮總督府々屬 馬山府在勤を命ず
(府屬)馬山 石井 深 任朝鮮總督府郡屬 昌原郡在勤を命ず
郡屬(密陽) 文 在 賢 任朝鮮總督府府屬、釜山府在勤を命ず
(以上財務係職員)

晋州金組總會

晋州金融組合は廿三日午後一時から臨石樓において第十回の定時總會を開催し低償却既報、事業報告、剰余金處分案等は原案の如く可決したが、理事給料手當て支給規定の内、内地人理事に在勤手當てを支給する事項は削除する事に修正した本期剰余金は九千四百卅八圓にて期末業務の概況は左の如し(晋州)

▲組合員數五四八名▲拂込濟出資三八、七九九圓▲預り金五〇九、九〇一圓▲貸付金二九六、九六九圓▲積立金六六、〇〇〇圓

公金拐帯犯人捕る

宜寧郡宜寧面山本金吉こと鄭仁鎬(二二)は慶南晋州郡松市北田町三〇番地無職パン製造業吉方に雇はれる内去る十二日夕方二圓余りの金を窃取して逃走する途中十六日午後一時半頃慶北金泉の北興町において慶北陜二川町役場收入役水晶某所有の自轉車と一千圓の公金入りのカバンを盗みしてそのまゝ郷里に歸り潜伏しおる處を公金拐帯犯人として手配され廿四日宜寧署の手に逮捕されたが殘金七百十六圓を所持して居る(釜山)

嘘の身投げ

釜山府土城町二丁目ピワコヤ旅館笠原石藏(二〇)は出來の嘘を悲觀して二十二日夜釜山松島海岸にて投身自殺を企て午前五時頃になつて巡查派出所の前に海水に濡れせるを發見され嘘死の身の上身寄りの者に引渡さる(釜山)

咸鏡北道
清津金組總會

清津金融組合第九期定時總會は廿一日清津倶樂部に開催され、六百余名の出席あり、豫定の議案を附議したが定款改正の件で議論二つに分れ、在來の監事定數を可とするものと未定數を監察とするものとに分れ監督とが相譲らなかつたが阿部財務部長より本府の方針を説明する處あつて、結局改正案を可決し、組合長、理事改選の結果、組合長には前理事龜崎長治氏、理事には前監事長渡邊清作氏が當選したが、龜崎氏の二百四十三票に對し前組合長四元釜次氏は二百卅六票にて、その差僅に七票の競戰を演じ、組合員一同をハラハラさせたものである(清津)

軌道自動車
請願書提出

清津市中の輕便軌道はいよいよ近く撤去されるが、これが依託經營を行つて居た松本組では、これに代るべき市内交通機關として軌道自動車を走らすべく目下準備中の處、都市計畫その他關係の諒解の下に四月廿四日請願書を提出した、區間は清津驛前停車場から中央部の市場より輸城方面まで運ぶことになるらしく認可の上は咸鏡線の全通までには完成せしめる豫定であると(清津)

清津の火事

廿二日午後十時頃清津府新巌町金熙林の家より發火し瞬く間に藥種商、持物商の中野製藥會、松島屋カローメの四戸に延燒し住宅二棟二戸、工場二軒を燒き盡くし同十二時鎭火したが、附近は空地多く殊に當夜は無風であつたゝめ延燒の恐れなく消防組警官は十分に活動した。損害額は六千七百圓と推定されて居る(清津)

新しい制服を着て

慶南の財務部長から咸南の警察部長に榮轉した阿部千一氏は十五日咸北朱乙に來着千歳旅館に一泊して十六日新しい制服をきて出迎への人々とニコニコして咸南へ赴任した寫眞は千歳旅館前における阿部警察部長×印

慶尚北道
珍しい新兵器
催涙筒の實驗

大邱聯隊兵隊では二十四日朝分隊長會議の屋上で新兵器催涙筒の實驗を行つたが同兵器はその字の如くこれを燃やす時には附近一帶の者がことごとく涙を催してある時間戰闘動作を不能ならしむる珍しい兵器で實驗の結果頗る效能顯著で並居る連中は大粒の涙を流して感心してゐた(大邱)

七人組強盗
懲役八ケ年求刑

本籍全羅南道岩郡[illegible]七人組強盗の一味は昨年十二月二十一日夜[illegible]外七ケ所に押入つた強盗および[illegible]により強盗大邱地方法院で取調べ中であるが二十三日金川裁判長係大原檢事立會の下に公判開廷懲役八ケ年の求刑があつたが判決言渡は三十日(大邱)

道營自動車
營業線の打合せ

廿三廿四の兩日にわたり須藤知事は古賀内務部長、谷土木課長立會の下に韓文樂行關係文明琦、宮木勝、中谷竹三郎の三氏と何事か密談を遂げる處があつたが右は道地方讓が大株主となり經營せむとする新設自動車會社の線路に關する打合せらしい(大邱)

殺人板場の公判

大邱府東門町そばや三福の前で金融業安部[illegible]島廳邑内里生れ三福の板場手相役(二七)が懲のかなはぬ怨恨から同町米村食堂雇ひ人七郎を殺害した事件は二十三日大邱地方法院で金川裁判長係大原檢事立合の下に公判に附せられたが大原檢事より懲役三ケ年の求刑あり判決言ひ渡しは三十日(大邱)

咸鏡南道
元山府議會

元山府議會は前日に引續き廿四日午後一時から開會府豫算案は滿場異議なく可決、從前通り施行[illegible]より持越しの[illegible]について[illegible]審議の上二讀會を省略して可決し次いで本年度以降施設すべき道路を

一、場洞西岸線(間洞中里二、三四洞、橘下洞)
二、城濱館洞線(城洞)
三、京元線驛前線(上洞)
四、新港埠頭線(洞)

と決定次に府税規則等の改定に移り審議の上直ちに休會した(元山)

咸興から

◇豫て一般から昇格確定の運を熱望されて居る咸興神社は近く昇格の機運熟したる基本財産造成の爲、祭政地たる鄕校里の盤山林二筆四千百十坪の無償讓與方を朝鮮總督府に申請中である。
◇郡立農事改良組合では郡内の[illegible]百九十町歩の内郡に二千七百[illegible]五千八百町歩の加入申込を見つゝあるので近く許可の見込である。
◇先般來計畫中咸興商業學校後援會は諸般の準備完了ため來る五月五日創立總會を開く
◇キーサンと委任料理店の三角爭は平壤から本月上旬發送を開始した矢張り元祿は必要と見え早くもその後身「發展新創立事務所」の看板がキーサン界の組合開設準備の自宅にかゝつた。
◇天長節當日咸興各學校では六年以上の初中等男女學生は軍部と聯合分列式に高女二年以下の女生徒、尋五以下の男生徒は旗行列に參加し夜間の提灯行列には全部參加を見合せる事に決定した
◇鈴木咸興、渡邊西湖、佐藤新浦、崖地馬山、島山利原、當塚永興の六郵便所長は來る廿六から東京會館で開かれる全國遞信系組合大會出席の爲廿三日咸興發出
◇色々風評のあつた咸興金融組合定時總會は廿二日咸興一普で開かれたが總額を見れば積立金八萬圓もあり全鮮屈指の確實な基礎を持つた組合だ。一二萬の缺損は都市組合の全般的狀勢から已を得まい。前理事赤塚敏雄氏は殿當日でもあつたが慰勞金も原案よりは四百圓增して三千八百圓と決定した。赤塚君も以つて瞑すべしだらう。

國有林野讓渡申請

元山府が慶源郡赤田面武鄕里の上水道水源地に植林のため國有林野十五百五十余町歩の貸付を受け大正四年以來植林し目下頗る成功したので改めて成功讓渡を受くべく目下申請中であるが將來府も有數な財産となるであらう(元山)

京畿道
仁川學組本會議

仁川學校組合の戸別割賦課定本會議は廿三日午後三時から府廳會議室において開催、出席議員十名。松島府尹は議長席の挨拶をなしたる後議事に入り二讀會に入り王生委員長より會員委員會の經過の報告に入り本月廿日づけを以て議長に修正案を提出したる旨報告し寺島議長より修正案に同意する旨説明あり質問に入つたが三井議員より力說米所に對する賦課の基礎並に個人に對して昨年より賦課率を一等下げた事情等につき質問し正原案九等を八等に修正すべしと全役委員の修正案に更に修正意見を述べ同郷の賦課をなすは穩當ならず修正案に贊成し同氏に對し内藤議員より修正案を提出し三時五十五分休憩して再開したが纏まらず四時五十分再開の結果修正案可決五時五十分散會した。(仁川)

杻峴校修學旅行

仁川杻峴小學校は廿五日一、二、三年生は月尾島へ、四、五年生は水原へ、六年生は冠山、陽王寺へいづれも廿五日修學旅行を行ふ(仁川)

黄海道
沙里院道路擴張
下水溝整理を機會に

沙里院新市街の都に屬する新多碍前から西里立川商店前までの街路兩側に半永久的下水溝を築造すべくその費用一萬二千圓は本年度豫算に計上されたが道路幅は元來三間を出でず從つて市日等の如き人出の多い場合は頗る上下の混雑を惹き不便少くないから此際道路を擴張したいと希望が沙里院市民に強く起り、せめて六間程度のものに擴張したいと水溝の築造を機會に道路擴張してもらひたいと[illegible]中であつたがいよいよ二十三日午後四五人の代表者は宇佐美知事を訪ひ陳情し知事は沙里院邑長と會見の交渉を試みた、尤もこの計畫が實現すれば、邑に入り若しい市街地整理の一助ともなり延いてこの方面の發展からいつてもたしかに有效に相違ないが、然し道路擴張に伴ふ家屋撤去の多大なる困難に伴ふ交通物件の多大なる犠牲から困難すると本事業の着手は容易なものでなく、第一その交障物件を兩側にとるか又、一方に片づくかといふ事さへ未決定であり殊にその計畫がこの方面の自發的事業であるだけに一切の協議が纏まるまでにはなほ相當の迂余曲折が免れないものと見られて居る(沙里院)

沙里院から

◇大概年に一度は鳳山炭坑を見に來る同坑の親會社鳳城炭坑の專務取締藤島二郎さんは最早七十に近い老齢だが十年前も今日も、げん氣にかはりを見せないのは誠に以て、お目出たい
◇強いてかはりを見出さうとするならば頭の照りぐはいが多少濃厚になつた位の所で氏にとつては、それが爲め、却つて專務の見榮へを上げて居る
◇そして同氏は來るたびに數多官民有志を招待して御馳走し鳳山炭が今日の大をなした事は一に官民諸氏の厚き同情と援護とによる結果だとおつしやる。吾人は其官民有志が同坑に對してどれだけの同情を寄せ如何程の援助があつたか知らぬ。然し從來何等同坑の爲めになつた點もなく又爲めにならふにも其方法も分らぬ吾人には此の挨拶は全く恐縮だから畏つて何と答辭を陳べていいやらそれさへ戸惑ふ
◇答辭と云へば二十二日の夜向井旅館に於ける同氏の宴席で高鳳山郡守が來賓代表と云ふ格で陳べたのは最初誰だ要領を得はせたが中程に至り例の吃りしみとした言葉が何回となく連發されしかも、それが、いつ迄も、同一經路をたどつて一向に進行せないので、さて、少し困んだと云つたよな視線が期せずして皆の目から注がれたものである
◇ところが顔は殆んど褐色を呈し口が大分乳まがつて居る事が目に付くと同時に、はゝ成程先生お先に一杯聞こし召してござる此狀勢ではどこ迄緊張協調が

忠清北道
郡是製系敷地決定
近く買收の上工場新築

清州に設置決定してゐる郡是製系工場の敷地につきては豫て三ケ所の候補地が擧げられたまゝ永らく決定を見るに至らずため種々の風評までたてられるに至つたが今回この敷地決定の要務を帶びて同社工場長永野幸四郎氏來清したので豫て敷地買收につき全力をつくしてゐる郡費委員會一同は廿四日道廳會議室において同氏に會見することになり郡村内務、宮本財務部長、立山、岩谷兩技師その他關係者出席した、その席上永野氏より敷地として第一期計畫として工場敷地をさしあたり一萬四千坪を要するのであるがその場所につきては種々研究を重ねた結果、豫て選定の三ケ所中より最も適地と認められるのでそれに決定した旨を述べ、郡費會員においては敷地選定の所はもとより便宜とされるもすべての關係より見て同地に決定せらるべきを要望し地主其他を說き[illegible]買收決定の上はこの機を以て一氣に萬事の進行を極力援助し永野氏は社の方針はもとより決定してゐる今日故土地買收契約につき調印濟み次第直に實測にかゝりその上、續き建築に着手する旨を聲明し、なほ家屋移轉、耕作物の賠償などに至るまで緊密役員と打合せをなし和氣藹々裡に散會した、これにていよいよ永き懸案となつてゐた製系工場清州設置も本年中に實現を見ることゝなつた、敷地買收につきては清州においても多分にもれずなかなか困難で最初値段および有力者間において極力斡旋したが豫定の價格を以て買收困難を極めついのびのびとなつた狀態でこの調子で行けば或は今年の實現も六ケしいと見て取つた郡費當局は今回前者と協力して地主との交渉につき猛運動を開始し遂にこゝまでこぎつけたので一兩日中には地主全部の承諾調印を終ることゝなり愈よ會社においては永野氏の實測通り買取より建築の運びに移るはずであると(清州)

天長節と永同
大祝宴と提燈行列

永同では來たる二十九日天長節に大々的の祝賀をなすべく去る廿一日官民有志多數郡廳に集合し祝賀に關する事項打合せをなし左の如く決定した(永同)

一、奉祝式を郡内各學校に於て奉拜式
二、普通學校に於て祝賀宴
三、煙火數發を揚ると
四、旗行列提灯行列及假裝行列此の假裝行列は奇拔な假裝をなさしむべく特に審査員を設けて一等より十等まで賞品を附する事に決定した

平安南道
南浦築港問題協議

鎭南浦築港期成會の南浦期成委員一行十四名は廿四日午前十一時發列車で來壤、出迎への平壤期成委員と共に商業會議所に入り鎭南浦期成委員より同築港問題に關し前日協議した結果の要點を附議し晝食の上午後一時から一同道廳に青木知事を訪問、川添氏より同運動の經過をのべ諒解を求むるところあり更に松井府尹、土木出張所長を訪問同様陳情を求め同夜は平壤ホテルにおける平壤期成側の招宴に臨み同夜十時平壤驛發列車で多數の見送りを受け歸途についた(平壤)

いろいろな教育法を視察
島崎平中校長談

華南支那ヒリッピン諸島を視察して歸つた島崎平中校長は語る
視察した處は臺灣、厦門、汕頭、香港、比律賓、マニラ、廣東、上海、蘇州、南京、杭州等ですが、大へん得る處がありましたヒイリピンでは米國式の實質的な處を香港では英國式を支那では革命的な教育法をそれぞれ著しい特色のある處を感じました、香港では丁度宮崎丸で御歸朝の途にあらせられた李王殿下にも親しく御目にかゝりました歸りには一行十四名の中七名は北京見物に殘り七名だけ別に歸つて來たのですあちらは只今夏休みです

合財袋

◇……日朝平壤支店では來る廿七日の同社記念日に構内運動場で從業員慰安の爲め大運動會を催すことゝなつた當日は午前九時半から運動競技を開始午後三時から假裝行列博多二〇加、内鮮美妓の手踊等の餘興あり同四時から模擬店を開く筈で官民數百名を招待した
◇……平壤券番總會は廿四日開催し取締役缺員一名の補選を行つた結果下川健吉氏が當選した
◇……櫻花咲く平壤の昨今は各地からの旅客殺到し平壤驛では毎日平日の三四割方を增加した旅客を吞吐してゐる
◇……松井平壤府尹は廿六日午後六時在壤新聞記者團を牡丹臺お牧茶屋に招待し觀櫻宴を張る

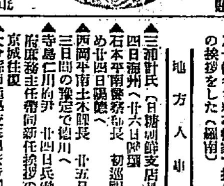
忠清南道
大田から

◇……遞信局新井事務官並に大沼書記は大田電氣會社の業務監査の爲め二十四、五兩日滞在
◇……大田郵便局では來る廿九日天長節をトし正午より局員家族の慰安會を局長官舎に於て擧行する
◇……中田賞菓子店では明治製菓株式會社後援の下に廿四日夜大田座に於て明治のキャラメルの活動寫眞大會を開催した
◇……忠南警官々優勝旗爭奪射撃會は各署に於て擧行するが大田署では二十三日午前九時から江景鳥致院署員立會の下に大田射擊場に於て擧行したが一等小林警部補(四四點)二等竹本部長(四三點)三等稻田部長、岩倉巡査(四二點)
◇……儒城溫泉株式會社では新龍山の郵毛三島を江湖に紹介する爲め現在の無料休憩所を増改築し陳列館とし陳列をなす事となつた

全羅南道
黑住氏表彰
農事功勞者として

麗水郡栗村面黑住猪太郎氏は農事功勞者として去る十七日大日本農會總裁より有功章を授與された(光州)
黑住氏は[illegible]農業に志を以て奮然起つて朝鮮に移住し地を全南麗水郡栗村面に相して農場を經營し移住者の模範を示す傍ら地方農事の開發を企て全南中央農會に組合を起して組合長に推され品種の改良に肥料に農具の改良を圖り[illegible]組合を起し今日の發展を圖り以て今日の地方に多大の生産を與へ其の功勞は少からずとす仍て茲に大日本農會の有功章を贈與し以て其名譽を表彰す

滿洲
野澤さん郡守に榮轉
住み馴れた安東を去る



安東領事館在勤の總督府派遣野澤寛一氏は今回郡守に昇進し[illegible]朝鮮に赴任する事となり廿六日安東發赴任のはずであるが氏は新潟縣の出身で明治四十三年東京外語朝鮮語科を卒業して朝鮮に渡り今日まで約二十年中約八年安東にあつて[illegible]邁進しこの國安那側を向ふに廻して滿洲同胞の爲に活動は實に目覺ましいものがある、今回朝鮮へ轉任されても必ず鮮人の間から惜まれてゐる氏は語る
安東に來た時は三十三才の若僧であつたが今日は既に四十の坂を越した顧みて思へば無量の感慨です此の間之れと云ふ手柄話しもなく單に碌々に引摺られて來たに過ぎません、滿洲の同胞、分けて朝鮮人諸氏は眞の兄弟も及ばぬ程に親密に交際してくれた、此の友情は實に辱いものである、夫れだけ私は感謝してゐます只々此の上共一致共力の御健闘を祈る次第である=寫眞は野澤寛一氏=(安東縣)

安東の火事

廿三日午後六時廿分安東縣五番通り飲食店自由亭木村菊次郎方から出火折柄の北風にあふられて火の手は見る見るうちに附近にひろがつたが消防隊の活動によつて同家二階建一棟および隣家の森本寫眞館上田勇氏方倉庫を半燒して同七時鎭火した、原因はオンドル焚口の不始末からしく損害は約三千五百圓(安東縣)

鎭江山の櫻
廿七八日頃が盛り

鎭江山の櫻花は雨後すつかりふくらんで昨今は大分綻びかけてゐるから廿七八日頃が盛りであらうすでに花見客で賑つてゐる廿九日天長節には樂天から觀櫻團約二百名も來安する事になつてゐる(安東縣)

送別麻雀會

探木公司勤務[illegible]の送別を兼ね雀倶樂部主催で廿三日夜[illegible]川村木社員のために市内同好の士廿余名が探木倶樂部に會同送別麻雀大會を催した、本社寄贈メダルは一等の北内榮太郎氏の手に落ちた(安東縣)

地方集會

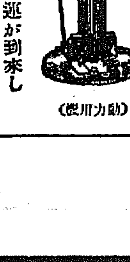
▲井上稅關長披露宴 新義州稅關長井上圭計氏は廿三日午後七時から料亭三福に於て新任披露宴を開催した安義兩地の主なる官民有志約六十名で盛會を極めた(新義州)
▲朴知事披露宴 廿三日午後五時から海州神社境内で朴相駿知事の新任披露宴が開かれた(海州)
▲旅館組合總會 全南旅館組合第二回總會を十九日午後一時より市内寄の家に於て開催し終りて午後七時より懇親宴を開いた(光州)
▲平野氏披露宴 光州公立農業學校長平野吉三郎氏は今回校長拜命を期とし知己を二十五日午後七時東洋軒食堂に招待して披露宴を張つた(光州)
▲安達咸北知事披露宴 安達咸北知事は十九日午後六時半より官民八十餘名を料亭福家で招き新任の挨拶をした(羅南)

地方人事

▲三浦計氏(日銀朝鮮支店長)廿四日海州へ(廿六日歸京)
▲石本平南警務部長 初巡視の爲め廿四日陽德へ
▲西岡平南土木課長 廿五日より三日間の豫定で徳川へ
▲寺島仁川府尹 廿四日兵庫仁川府廳主任會同新任挨拶のため京城往復
▲大分縣師範學校修學旅行團十四名廿六日仁川着同日退仁
▲福岡縣嘉穂中學修學旅行團六十名廿九日仁川着即日退仁
▲小林卅七旅團長 廿四日新任挨拶のため元山各官公署を歴訪
▲大内光州女高普校長 廿四日新任挨拶の爲め各方面歴訪
▲加藤大邱署長 廿四日着任

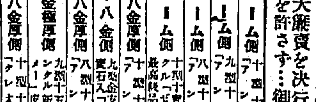
本欄特別廣告取扱 大阪淡路町三 浪華廣告社

能率の増進は生産費の低減である!!
輕便 フローバ靴底出シ縫機
=溝切り機附屬=
手縫作業が遂に一掃せられる機運が到來しましたフローバは一般靴工業者渇望の堅牢輕便實用低廉の四大條件を完備した機械です。
本機は動力用と手廻用の二種あります。



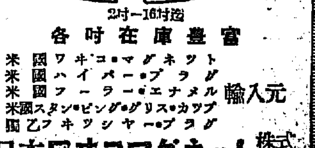
(動力用機)
輸入元 神戸市三宮町一丁目一八〇 株式會社 村田梅谷商店 電話三宮{一五二四 四五四三}
代理店 京城府黄金町一丁目一六五 ペニンシラ洋行 電話本局三六三九番

時計の大慘落
業界空前の大混亂 處分品續出
弊店は此際卒先大廉賣を決行す可く破格廉價絶對他店の追從を許さず…御買上げの好期は今

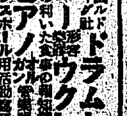


クローム側「アンクル」十型十五石入 金五圓
クローム側「アンクル」九型十五石入 金六圓八十錢
クローム側「アンクル」八型十五石入 金八圓五十錢
クローム側 十型十五石入アンクル「ゼニツト」最高級品 金二十八圓
正十八金厚側「アンクル」十型十五石入 金九圓
正十八金側 九型金文字十五石入「アンクル」 金十圓
正十八金厚側「アンクル」八型十五石入 金十二圓
正十八金厚側「アンクル」九型十五石入新型 金十六圓
正十八金厚側「クレオパトラ」十型十五石入 金十八圓
正十八金厚側「ダバンシーマ」十型十五石入 金二十一圓
大阪心齋橋北 時計直輸入商 中西白牡丹 (カタログ呈)

各種發動機用



2吋—16吋迄 各吋在庫豊富
輸入元 米國ワヰコ・マグネット 米國ハイパー・プラグ 米國フーラー・エナメル 米國スタンピング・グリス・カップ 獨乙フヰツシヤー・プラグ
株式會社 日本ワヰコマグネット
神戸市北長狭通五丁目七ノ七 電話元町二四二一・二四二二・二六三〇
大阪市西區江戸堀上通一丁目一六 電話土佐堀 五六四七・七三〇六



米國ルドウヰグ社 ドラムセット、チンバル ニーウクレレ ピアノ オルガン 上田流尺八 發賣元 神戸市下山手七丁目 キド樂器店 電話三宮二四〇〇番

益々大人氣の 小粒仁丹

新発賣象牙容器附 50銭

●高尚で清新な見るからに氣持のよい人造象牙容器で構造の簡素 至便なるは近代の好尚に適つて到る處 大評判!!

●小粒仁丹四百三十粒入の五十錢函に無代添附す

小粒仁丹は高貴薬サフランを倍加特製せるものにして、今や仁丹御愛用家の人氣の中心たり

金屬容器入 二十錢
透明容器入 三十錢
御徳用 五十錢
象牙容器附 五十錢
御徳用 壹圓

●公私病院醫院御用

体温計中の權威たる

仁丹型體温計

△商工省に於ける検定率
仁丹の体温計は九割八八の合格
舶來の体温計は八割八六の合格

●仁丹の歯ブラシは新案のセルロイド製キャップを冠し氣持よく清潔を保つ

大形 四十五錢
中形 二十五錢

金言 健康は[illegible]の花[illegible]はその實なり

獨檀秋風（二十二日本社の園遊ーに賛意を表して寄贈）　景堂氏畫

京日俳壇（春季雜詠）（六）　臼田亞浪選

見の醒むる石鹼玉消えにけり　園山　大浦　文城
舞ひ下がる鞠に阻まれ水汲女　同
形翳あさりて飛ぶ蝶や水温む　公州　三崎　松韶
船遊り川冴え返るお日がさす　同
昨日向子雀の聲あたたかな　京城　鈴木　静女
行人の足袋の泥見し雪解風　同
三月や榎の玉芽の膏く　清津　徳光　卯川
鎌倉へと蝶が小暑吾あきけり　同
暖や胡の大芽の伸びまさり　慶二浦　上田　麗雨
散りもして大梨の木の花盛り　同
野猫鳴り春雨の夜明けたり　大邱　小野　鳳山
冴え返る夜の聲通ふ枕かな　同

■亞浪氏の素描■——十二
俳句は經文なり
巨匠を迎ふる言葉（前承）
川口純水

俳諧史によれば、阿彌山崎宗鑑は侍卽であり荒木田守武は伊勢の神官であり宗祇、宗因は共に僧職に師事し芭蕉はその主、良忠の逝去を縁として高野山にゆき無常を感じて「頭と踏つ友かや脈のいきわかれ」の一句をものして北村季吟の門にはしつたと傳へられてゐる。俳句と宗教とはその初めより深い關係が結ばれてをつた樣だ。近くは蕪村も然り一茶に長い間籠つてゐたといふ。」

◇古今東西藝術の製作は宗教により增れよつて以つて淨化せられた人類のほどばしりが藝術の上に小說の上に詩の上に發現せられたものである事は歴史に明かである。假に人格的に餘り正しくない人によつてすぐれた藝術が生み出されたにもせよ内在の神性が働いて共通普遍の生命と共に活きつゝあつたからであらう。」

◇俳句が内容として自然の救を翻り大生命に還元せんとし大自然に融一せんとする人間の本願から出づるものである以上俳句の歸趨は宗教と本質的に一致點がある樣に思はれる。かくて亞浪師が「私には俳句は經文である」といはれるゆゑも首肯せられる

◇又亞浪師がいつてをらるゝ樣に「自然の生命或は神の名に於て或は佛の名に於て讃仰せらるゝ大自然への生命に於て自我の淨化……醇化によつて交感してひたぶるの『まこと』の心からの念願によつて生れた俳句」

といふならば南無阿彌陀佛の心持ちであり南無妙法蓮華經の心持ちであり又アーメンの心持ちのこもつた念願であるともいへよう。

◇しかしながら俳句がたとへ宗教的經驗から生れ出て來たものであるにもせよ宗教でない以上亞浪師に取つてはそれは經文であるかも知れないがそれよりも宗教から一つかけ離れて生れ出た俳句といつた方がより以上にピッタリする樣に思へる。私は久遠の生命を持つ俳句それはどうしても宗教に深く關ささなければならないと敬ずる、亞浪師のいつて居られる自我の淨化によつて假我……超自我に入るにはどうしても宗教によらないとたゞの藝術では到底出來ないのではあるまいか。自力によつて往相の修養としての人格完成に不退轉の努力を續けて佛の境地に入る。他力でまず任せ切つてはゐるが不斷の精進を續けて涅槃に入る。共に無相の世界である

◇自力の極地、他力の極地共に行きつめた絶頂から見ればそこに大なる差異は認められないであらうが私には他力の方がピッタリする。要は、この境地に至るまでの道の如何が問題であらう。キリスト教並に大乘佛教は共に内在的の神性……佛性と共に外在的の神性……佛性を信じてゐるそして人間に内在する神性……佛性を生かして念じ心と精進とによつて久遠の生命に入る事を教へてゐる。

◇内在的の神性は各々の己の性によつて顯はれてゐる。これを淨化し醇化するに俳句を求むる『まこと』を念ずる心だけ深くしてこゝまで達しうるだらうか。亞浪師けいつてゐる。

「恭啓の愛共の愛に滿ちた願ひの心周邊の慈悲共の慈悲の涯れた救ひの心に共感を持ち人間的な平和的個他的な親愛の宗教によりより多くの神をも佛をも信じ得ならず其の神を保ゆるにも拘いかたくなは私の心に『まこと』としての自然の現はれこの強なる力の現はれは、共が從令汎神敎的であると云はれようとも亦非宗教的な理念であると斥けられようとも私は私の心に一切包括的な全一體たる絶對自律の眞理として信仰もなく誤謬も持たざる自證自明の信として究竟の生命を體驗せる私自身の宗教である」

と斷言せられてある所かんさには充分の誠意が捧げられるが今一歩進められたら、より以上の俳句が生れて來るのではなからうかと失禮とは思ひながらどうしても感ぜざるを得ない所を告白する。

そしてそれを許つてやまない次第である。しかし先生が如上の俳句觀にまで進まれた過去の苦闘……外への苦闘と內への苦闘それを思ふ時に勿體ない樣な氣がする言葉を御許し下さいを願つて擱きます（未完）

創作　拳銃　二十一
寺田壽夫

「誰からだらう?」水谷は電話の主を考へながら、階段を降りて行つた。「入選ひかもしれない」と思つて見たが、ともかくも電話室に入つて見た。彼は、外してあつた受話器を取り上げると「モシ〳〵」と呼んで見た。

「モシ〳〵水谷さんですか」男の聲で、先方が聞いた。

「さうです」

「ちよつと、お待ちください」先方の男の聲が、しばらく途切れた。

「モシ〳〵、水谷さんですか」今度は低い女の聲がした。

「さうです」

「ほんと……?」

「水谷です」

「ほんと……?」女の聲は繰返して「何だかちがふやうだわ」と低くつぶやくのが、水谷に聞こえた。

「僕、水谷です。あなたは、どなたです……?」水谷は、少し、ムッとした調子で聞いた。

「御免なさいね。あたしお弾りでせう。折角御樂みのところを呼び出して濟みませんわ……」

電話は、かすれて低いが、それは敏子に相違なかつた。水谷は急に騷ぎを覺えた。彼は興奮したまゝ默つて立つて居た。すると敏子の方で、また言葉を繼いだ。

「あなた、きのふ、どうして來て下さらなかつた。」

「…………」

「怒つて居らつしやるの……?」

「…………」

「ねえ水谷さんてば……。どうして返事して下さらないの……よう」女の聲は涙ぐんで來た。

「怒る。僕には怒る理由がないぢやありませんか。彼ちやんの自由を縛る權利はないよ……ハッハッハ」

彼は、やつとこれだけいつて、強い聲に笑つた。

「だつたら、なぜ來て下さらないの?」

「强をかきに行く必要もありませんからね。」

彼は自分ながら、うまい皮肉をいつたと思つた。

「いゝわ、いゝわ。……だけどね水谷さん。女は弱いものよ……」

敏子は今にも泣き出しさうにいつた。

「明日、行きませう」

彼は、つい、女の誘ひにかゝつてさういつてしまつた。

「きつとよ。ではさようなら。」

女は、犯づいたやうにいつて、話を切つた。

水谷は、今までの憤懣に、搔き交ぜて、女に對する激しい慾望の瞬が頭を起つて來るのを感じた。一時は敏子は誘はれなかつたのに對して憤慨を感じたのであらうか。それとも、自分に對しては心ないロをきいた事に、電話で誤魔化したのではなからうか。もしさうだとすれば、いゝ氣になつて『明日行く』と約束した自分の甘さ加減がはづかしいではないか。

けれどもまづ不思議なのは、自分が今、K劇場に居ることを、彼女はどうして知つたのだらう?それは、自分の家族さへ知らないはずである。無論カフエーマッパを出るとき、溜子にも話さなかつたはずである。自分自身でさへ、劇場の前まで來るまでは計畫して居なかつたことである。

第二には、まづ男の聲で電話をかけたことである。自分自身の要件なら、なぜはじめから、自分で呼び出さないだらう。

彼はたつた今、敏子の聲さに引づられやうとして居たが、かう考へて來ると、敏子の聲さは作つた聲さとしか思はれなくなつて來た。

「洗練された戀愛遊戲」……敏子のやうに、生々しい、無邪氣な、フレッシュな、そして幾分ノーブルな容姿をもつ女が、既に洗練されたら、どんなことでも出來さうに思はれるのである。

水谷は、こゝまで、敏子を解剖して見たが、これといふ確證によつての批評ではない。それだけに彼女が純潔であるとも、不純であるとも斷定は出來ないのである。考ゆれば、考へるほど、頭が混沌として來るに過ぎないのである。

「もう一度、だまされたと思つて會つて見よう」

彼は、自分の弱さをしかりながらも、彼女に對する未練を、どうすることも出來なかつた。

それに彼女は秘密との關係を水谷に對して、どんな風に解決して行くだらうか。あくまで、秘密で押し通すか。或はブチまけて出て來るか。

それも、水谷に對する敏子の、愛の強に歸する問題なのである。

「行かう。明日、會つて、秘密と僕の問題に觸れて見よう」彼は、不安の中にも、幾分かの挑戦的な好奇心に釣られたのである。

パビラーヂヨ

▲いよ〳〵パス・ポートを受取つたこれも國本留學生木村毅▲つとに英國に志して令嬢高く近東諸國へ上陸と興の噂さへ傳へられる▲昔大郎臨隊にあつた頃の獲物に慶土面に得意の雜歌で物した南鼠なんとかがあつた▲創作には餘り振はないが▲歸朝後の雄振りこそ見もの

川柳　南山吟社選
【宵】（完）

佳吟

あいびきの二人を笑ふ陰な月　仁川　宮川　錦亭
轉寢に何時か更ける春の宵　京城　鷲原　國代
宵越しの馳走一度は鼻へ來る　京城　奥の　助
春の宵船板堺に溜れる三味　大邱　井上　御杵
屋形船宵は氣張ふ騷ぐなり　大田　有村第三郎
病床の窓に一番星を見る　京城　藤井　麗岡
袖乞ひの頭引き合ふも春の宵　大田　今井與露雄
辻占屋宵の格子へ呼び込まれ　公州　山口雄心坊
一ッ星今日も空しい事に暮れ　仁川　宮本しげ一

秀逸

宵飾つて宵を待つ身のふしあわせ　春川　津田　薫丸

軸

宵の宵飾へしとむない雨が降り
待つ宵の耳にうれしい鼠啼　寺田沈殿子

次回題【風】用紙ハガキ　締切　四月二十五日　投句所　京城大和町一の五〇寺田沈殿子宛　天賞呈賞

亞浪氏の全鮮行脚日程

五月四日（金）釜山發（午前九時三十分）京城着（午後七時四十分）
五日（土）京城市内見物　石楠句會
六日（日）同　全鮮俳句大會（午後一時より）講演
七日（月）京城附近探勝　ラヂオ放送（夜）
八日（火）京城發（午前八時五十分）鐵原にて乘替昌道溫泉（午後三時三分）自動車にて長安寺に至る
九日（水）内金剛探勝、長安寺宿泊
十日（木）長安寺發萬物相を見物し溫井嶺を越へ溫井里（外金剛）宿泊
十一日（金）九龍淵、八潭見物、宿泊
十二日（土）溫井里發海金剛見物（自動車の都合に依り溫井里又は高城宿泊）
十三日（日）溫井里（又は高城）發自動車にて元山着、夜句會
五月十四日（月）元山發（午前十時〇五分）——鐵原（着午後三時十五分發同六時三十二分此間句會）京城着（午後十時四十分）
十五日（火）京城發仁川見物句會宿泊
十六日（水）京城發（午前九時十五分）——開城（着十一時〇三分）句會、開城發（午後三時四十五分此間見物）——新義州着（午後六時二十三分）句會
十七日（木）新義州發（午後一時）平壤着（午後三時四十一分）見物、夜句會
十八日（金）平壤發（午後零時五十五分）鎮南浦（着午後二時五十五分、發午後十時、此間見物句會）平壤着（午後十一時四十五分）三時間待合北行に乘る
十九日（土）平壤發（午前二時五十二分）新義州着（午前八時十七分）下車徒歩にて鴨綠江を渡る
此間一週間滿洲見物
二十七日（日）京城發（午前七時三十分）（大田乘替）木浦着（午後七時三十分）句會、宿泊
二十八日（月）木浦（朝見物）發（午前十時二十分）（松汀里乘替）光州着午後〇時五十六分（見物句會宿泊）
二十九日（火）光州發（午前七時四十分）（松汀里乘替）裡里着（午前十一時五分）自動車にて全州見物裡里にて句會
三十日（水）裡里發（午前六時五十分）群山着（午前七時二十分）見物發同十時十五分大田着（午後一時四十分）自動車にて儒城に至り宿泊
三十一日（木）儒城發自動車にて大田發（北行午前八時四十分）鳥致院着（午前十時二十三分）自動車にて公州に至る見物句會宿泊
六月一日（金）公州發自動車にて鳥致院發（午前十一時十三分）金泉着（午後二時四十三分）句會宿泊
二日（土）金泉發（午前九時二十一分）……大邱着（正午）見物句會宿泊
三日（日）自動車にて慶州見物佛國寺に至り石窟庵を見て宿泊
四日（月）佛國寺發（午前七時三十分）（私鐵）蔚山着（午前八時五十六分）自動車にて東萊溫泉を經て釜山に入る釜山見物句會東萊にて宿泊
五日（火）東萊より自動車にて釜山、釜山棧橋出帆（午前十時四十分）

臼田亞浪先生歡迎　全鮮俳句大會

時日　五月六日（正午より）　選者　臼田亞浪先生
會場　本社來青閣　締切　四月三十日嚴守
會費　金卅錢（當日出席者に限る當日持參）　屆先　京城日報學藝部
兼題　若葉三句（用紙半紙）　席題　當日發表
賞品　兼題天位（本社金牌、副賞亞浪自畫自讃半切）地位（本社銀牌、副賞亞浪色紙）人位（本社銅牌、副賞亞浪短冊）五客賞（亞浪短冊一枚宛）▲席題互選一等（本社金牌、副賞亞浪自畫自讃半切）二等（本社銀牌、副賞亞浪色紙）三等（本社銅牌、副賞亞浪短冊）（四等より八等亞浪短冊一枚宛）

臼田亞浪先生　俳句講話會
同當日互選披講後引續き句評併に俳話會を開きます

臼田亞浪先生　作品頒布會

畫讃半切	十二圓	俳句色紙	三圓
俳句半切	八圓	畫讃短冊	三圓五十錢
畫讃色紙	五圓	俳句短冊	二圓五十錢

（渡鮮記念として特別割引）
申込所　京城日報事業部
主催　京城日報社

汐進吟社（南村中郎報）

夕闇や東風吹く一羽　よしを
紅つゝじ一花目立つ雨後の山　炎女
苗代の靑々として今朝の雨　もみじ
雨晴るゝ海の静や鳥つゝじ　みのる
野良帰り蛙月夜の路となり　石華
島山の徑の險しさ花つゝじ　中郎
ぽつかりと板乗りたる蛙哉　同

學界　◇風間須山氏（俳人）群山へ出張目下滯在中
藝界　◇有馬草歩氏（俳人）大阪より
◇寺田壽夫氏（歌人）病氣引籠り　疲れあり挨の中や花曇
◇茶器頒布　竹內光映氏後援會が主催で募集中の御大禮記念竹內光映先生肉筆紺茜前茶器頒布會は申込多數に達したが更に一百名だけ追加募集の筈にて瑞西製、十八本金厚側腕卷時計を添呈すると規定書は京都市外下鴨宮崎町三七其會に照會されたしと

京日文苑課題

短歌　雜詠　一人五首、用紙葉書　尾上柴舟先生選
川柳　雜題　一人五句、用紙葉書　井上剣花坊先生選
俳句　雜題　一人五句、用紙半紙　臼田亞浪先生選
締切　四月三十日
會報　短歌、川柳、俳句共五人以上の會合に限る。一人三句以上並記のこと（顧問選）
注意　雅號、住所姓名明記、京城日報社文苑係宛

鮮展を飾る人々　休載

自動車時間表

會寧、輝春間（昭和二年九月改訂）
◎清津發一番列車ヲ受ケ會寧發（輝春龍源方面行）

驛名	時刻
會寧發	正午 [illegible]
行營發	午後 [illegible]
洛溪發	同 [illegible]
鳳山發	同 [illegible]
古乾原發	同 [illegible]
中坪發	同 [illegible]
金洞發	同 [illegible]
甑山發	同 [illegible]
輝川發	同 [illegible]
會寧着	同 [illegible]

清津羅南行

驛名	上り一番	上り二番
清津發	前一一、〇〇	後五、〇〇
羅南	同一二、〇〇	同六、〇〇
輸城	同一二、二〇	同六、二〇
生氣嶺	同一二、四〇	同六、四〇
朱乙溫場	同一二、五五	同六、五五
カネタ	同一、一〇	同七、一〇
朱乙溫堡着	同一、三〇	同七、三〇

驛名	下り一番	下り二番
朱乙溫堡發	前八、三〇	後四、三〇
カネタ	同八、五〇	同四、五〇
朱乙溫場	同九、〇〇	同五、〇〇
生氣嶺	同九、一五	同五、一五
輸城	同九、三五	同五、三五
羅南	同一〇、〇〇	同六、〇〇
清津着	同一一、〇〇	同七、〇〇

羅南、連津間
[illegible]

清津、羅南間
午前八時ヨリ午後七時迄二時間毎
清津發奇數時間　羅南發偶數時間

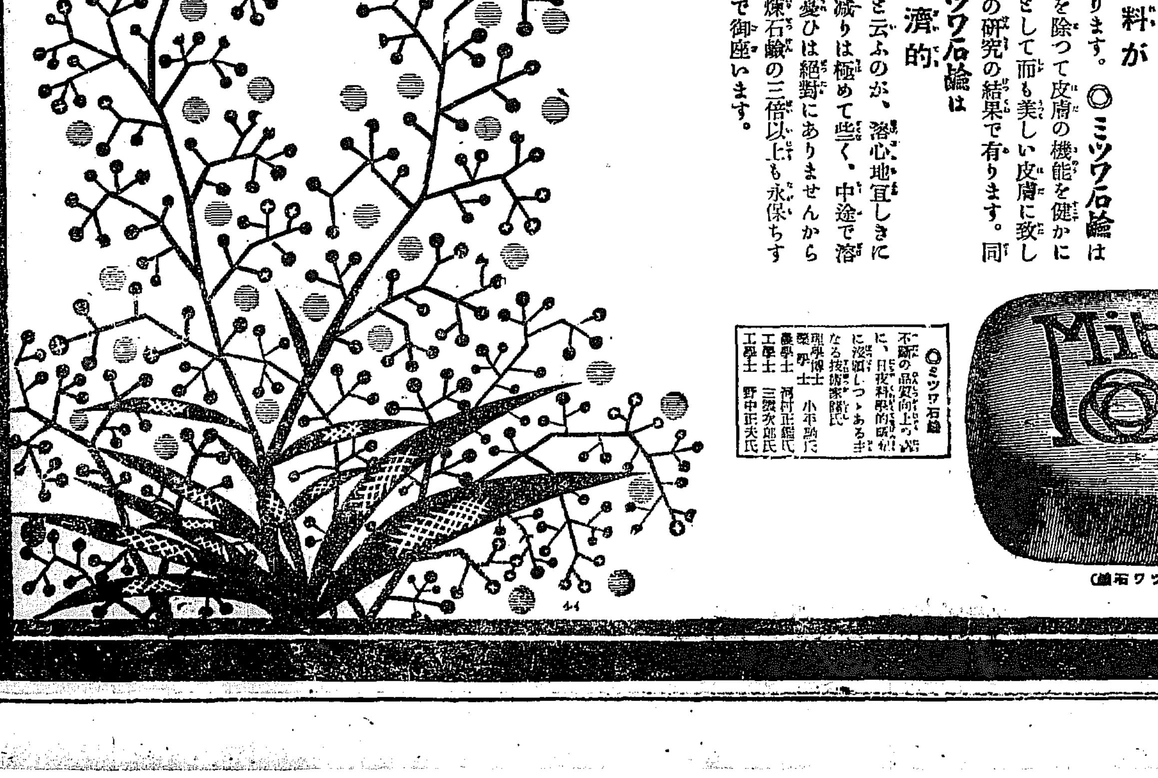
織居自動車營業所　電話一四三番
織居自動車支部　電話五番
織居自動車支部　電話二二番
織居自動車支部　電話一二番

洗滌後に石鹼分を殘さぬ
◎ミツワ石鹼

白粉が銀張る
のは皮脂の分泌が多いからで、今からの邦人の皮膚が特に夫です。かと云ふて洗料次第では又直ぐと荒れて了ふのが矢張邦人の皮膚です。白粉が浮いて了ふ理由であります。そこで

毎日の洗料が
問題に成ります。◎ミツワ石鹼は適度に皮脂を除つて皮膚の機能を健かにし、さらりとして而も美しい皮膚に致します。特殊の研究の結果で有ります。同時に◎ミツワ石鹼は

極めて經濟的
でも有ると云ふのが、溶心地宜しきにも拘らず、減りは極めて少く、中途で溶崩れる等の憂ひは絶對にありませんからで。普通の煉石鹼の三倍以上も永保ちするお徳用さで御座います。



◎ミツワ石鹼
不斷の品質向上の爲に、日夜科學的研究に沒頭しつゝある主なる技術家諸氏
理學博士　小平勇氏
藥學士
農學士　河村正鐵氏
工學士　三瀬次郎氏
工學士　野中正夫氏

（御用大形ミツワ石鹼）

本舖　東京　○丸見屋商店

永井郁子女史獨唱會
伴奏大平雪子孃

來る廿七日 午後七時半
長谷川町 公會堂

會費	普通 二圓
	學生 一圓

ヴイオリン助奏 大場勇之輔
箏伴奏 淺毅
箏伴奏 大田よし子
尺八助奏 佐藤令山
尺八助奏 古本竹陽

主催 京城日報社

助に行つて助けを求む
ベネットのためにリ大佐が應援に

【カーチスフイールド廿四日發】過般大西洋逆コース横斷飛行に成功しカナダグリンリー島に着陸したドイツ飛行家ケール一行のため食糧、機械修繕材料等を積載し飛行機で現地に急行したベネットは途中病氣にかかり不時着陸後ケベツクで入院中肺炎を起こし重態となつた、しかも同地には肺炎の血清注射所がないのでリンドバーク大佐はロツケフエラー病院のアツプルゲート醫師を同乗せしめ血清を携へて二十四日午後カーチスフイールド飛行場を出發ケベツクに飛行した

五百哩を飛翔

【ケベツク廿四日發】リンドバーク大佐は五百マイルを一氣に飛翔し現地に無事到着した

仁川署に配置簿
全鮮に魁けて 仁川警察署の考案

【仁川電話】仁川署では警察事務の監督係々長警部補出淵太郎氏の考案した勤務配置簿を採用したが同配置簿は從來の配置簿と趣を異にし署員の出勤、非番、用務、缺勤は勿論その他事故等に至るまで過去および現在にわたつて一目瞭然たるもので多忙なる警察事務の人員に多大の効果を擧げてゐるが同署考案は全鮮警察署における新しい試みである

朝鮮鐵道史編纂に着手
鐵道局が資料を蒐集

鐵道局においては昨年末朝鮮鐵道史の編纂を計畫し目下主として資料蒐集中であるが、すでに局内の分は大半集まつたが外部方面になほ隱れたる資料が相當多い見込を以て極力蒐集中であるが資料所持者はこの際同局に報告もつて協力を希望してゐる

慰藉料を請求す
冷酷な亭主を訴へる

[illegible]百十六番地金[illegible]および水原郡[illegible]里百四十八番地[illegible]の兩名は去る大正十二年三月結婚したがその後大正十四年秋に至り金は子宮病で日夜病床に親しむ身となつたので[illegible]はこれに厭忌を感じ暴行を施さず日々冷酷虐待し、遂に金を實家に歸してしまひこの二月水原郡[illegible]里三十三番地[illegible]の三女と婚姻したのでこれを知つた金は大いにいかり離婚および金五千圓の慰藉料請求の訴へを京城地方法院に提出した

鍾路通りの安全地帶で轢傷
ロシア人運轉手に三ケ月の就業停止

ソヴエット聯邦ダウリーチエスカヤ州生れ京城南大門通り二丁目二二自動車營業[illegible]運轉手カシヤノフアルチエミーレーン、チエプイツチ（三）は廿五日付で京畿道知事から三ケ月間の就業停止處分に附せられた、理由は四月二日午後三時頃チエプイツチが京二七八號自動車を運轉鍾路三丁目を通行中同所電車停留所に停車中の電車を避けんとして右側した際安全地帶にゐた公平洞三〇[illegible]物仲買業白大興（二）に衝突し腰部その他に治療二十日間を要する傷害を與へながら被害者を救護せずかつ事故發生を警察署に申告しなかつたため鍾路署で科料十圓に處せられたが更に自動車取締規則第二十九條第一號により前記の如く行政處分を受けたものである

電車に突き倒さる

二十四日午後十時十分新龍山發光熙門行電車と南大門通り五丁目水川藥局前を通行中の金氏（五）は電車と並行、南大門方面に向つて通行したが電車の後方界線に觸れて突き倒され後頭部を負傷したが被害者は精神に異狀がある模樣

老人を轢倒す
運轉手に就業停止

京城府[illegible]洞一四三番地元[illegible]（三）は四月十日午前十一時ごろ光化門通りをサイドカー付自動車で疾走中、[illegible]徐學麟（五）に衝突し負傷者の上を乘越えて約二間にして漸く停車したが、徐學麟はこのため右足脛骨折その他全身數ケ所に傷を負ひ、殆ど全治の見込なく[illegible]元吉は[illegible]で業務上過失傷害被告として取調べ中であるが、二十五日附を以て京畿道知事から二ケ月間の就業停止處分に附せられた

三十六稗賭博大檢擧

【仁川電話】仁川署ではさきに卅六稗賭博の大檢擧を行つたが近頃またまたこれが流行の兆があるのでこの際徹底的に一掃すべく署員は總動員して近く大檢擧を行ふことになつてゐる

新舊署長送迎宴

光州郡守に轉じた前本町署長鈴木氏の送別會および本町署長に榮任した小松警視の歡迎會は本町署管内五十三ケ町洞總代二十余名の發起で二十五日午後五時から公會堂で開催された[illegible]鈴木氏小松氏こもごも謝辭をなし盛宴を終つて午後六時散會したが來會者實に五百余名の盛況であつた（寫眞は同會場）

誘拐しては仁川で賣飛ばす
檢擧された四人組 なほ各方面で惡事

【仁川電話】京城仁川を連絡する婦女誘拐團は既報の如く鍾路署において檢擧したが犯人は京城鍾路三丁目二三の一[illegible]同所二三の一紹介業[illegible]漢木町一五九紹介業金[illegible]鍾路三丁目二三の一[illegible]の四名で右は共謀して本年一月一日京城[illegible]英福をだまし同人の二女崔福順を仁川府[illegible]里一三九飲食店金[illegible]の四女李千鶴を五年百圓の契約にて三百卅圓の前借をなさしめ内二百六十圓を詐取、なほ三月七日京城府三坂通四四四[illegible]を甘言を以て誘ひ三月廿二日仁川府[illegible]里一七飲食店[illegible]方に五年三百圓の前借をなさしめ全部詐取、なほ又三月二十五日[illegible]の契約にて村東事方に賣行き、四月廿一日仁川敷島町三〇[illegible]方に藝妓として五年五百二十五圓を前借せしめ内四百二十五圓を詐取したものであるがその他京城および京城方面において同一犯罪數件ある見込で目下捜査中である

富平普通學校の盟休
益々紛糾か

【仁川特電】富川郡富平面富平公立普通學校五年生六十二名は去る十八日より一齊に同盟休校を續け同校訓導[illegible]氏の排斥運動をなしつゝあり學校當局は極力慰撫に努めつゝあるが、生徒側は飽まで盟休を續け目的を果さんとするため事態容易ならず益々紛糾するらしい形勢であるが、同教師を排斥する理由は生徒に極めて不親切なためである

賭博あがる

【仁川電話】仁川[illegible]里七九[illegible]同人甲李氏同里九一[illegible]起鎬の三名は二十四日午後三時頃[illegible]方において三十六稗賭博開帳中仁川署員に踏込まれ[illegible]の外二名は逮捕され科金三十圓に處せられた

三ケ月の純益
六千九百萬ドル
ゼネラル・モータースがレコードを造る

【ニューヨーク廿四日發】ユー、エス、スチール會社の本年一月以降三月に至る利益は四千九十三萬四千ドルと發表された右は諸手稅を差引いた純益であるが社債利子は控除して居ない、しかして同社重役の言明によれば四分一期配當は普通優先株共一、七五パーセントである。なほゼネラル、モーターズ會社の本年四分の一期純益は六千九百四十六萬八千ドルで最高レコードである

九大の三教授愈よ罷免

【東京電話】問題の九大三教授に對し廿四日附を以て左の如く罷免された
九大教授 石濱知行
同 佐々弘雄
同 向坂逸郎
依願免本官（各通）

村會議員のモヒ密賣
大邱に來た所を逮捕

【大邱特電】慶尚北道[illegible]郡[illegible]村村會議員[illegible]は昨年十一月神戸においてモルヒネを仕入れ一月渡鮮以來釜山、大邱方面を主として密賣中であつたがこの程大邱府[illegible]町[illegible]旅館に投宿した處を大邱署員のために逮捕された

大谷派開教團總會

大谷派朝鮮開教監督部では開教五十周年を迎へたる今日あらためて朝鮮開教の大綱を定めその統整を期する爲二十三日監督部に監督會を開催し更に二十四日には寺院部を開き[illegible]研究をなしたしかして今明兩日は全鮮にわたりて[illegible]開教使によりて結成せる開教の總會を開催し今後一ケ年間の事業を具體的に協議する由

殖銀軍振ふ
八―二
廣陵軍の力闘空し

遠征の廣陵中學野球部の京城における第二日は、廿五日午後四時半より京城運動場で、對殖產銀行チームに戰を移行、前日より寄り晴く涼く觀衆は早くからスタンドを埋めたが廣陵は第一日對醫專戰の敗北を無念と感じてそのフリーバッティングにも、シートノックにも愼重を極め、殖銀はシーズン最初のゲームを行ふこととて、殆ど一新された堂々の陣を張つてこれに備へた、廣陵依然として八十川をプレートに立つたに對して、殖銀は元高松中學選手那須マウンドに現れ觀衆固づを呑んだうちに定刻四時卅五分佐竹（球）二木（壘）兩氏審判の下に殖銀先攻で開始した

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
廣陵	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
殖銀	5	0	0	0	0	1	2	0	0	8

◇一回（殖銀）八十川ボール多く坂井を四球に送つて市村、角谷のつゞくバントヒットに無死滿壘となる。ついで、駒井遊飛に凡ゴロを呈したが野手本壘に低投して坂井ホームイン、再び滿壘となる。早速やがて、右、中間に安打して市村を還へし三進せんとした角谷へ投手暴投して角谷生還、駒井また後を追つたが本壘寸前に刺さる、早速、そのまに三壘を奪ふ。ついで那須一壘前に凡打したが野手三壘に投じたゝめ早速生還、那須生きにさゝる、つゞく小野、三遊間一擧二壘を陷つたが捕手好投の三壘打して小野をかへし、上田またレフトオーバー安打、上田一擧本壘を企てゝ憤死したが先づ五點を擧げて餘裕を示す▲（廣陵）二死後小川三遊間ゴロに出たが三浦凡打して入らず（殖五、廣零）

◇二回 殖銀凡退▲廣陵二死後三好遊擊ゴロ失に生きて八十川の右前安打に敵陣を脅かしたが中尾凡打に終る（兩軍零）

◇三回 殖銀凡退▲廣陵大貫、小川つゞいて四球を奪つて山城大きく轉へたが遊擊に凡打して小川三壘に封殺、内田三遊間安打に小川生還一點をかへす佐々木三振（殖零、廣一）

◇四回 兩軍無點

◇五回 兩軍無點

◇六回（殖銀）駒井二一ののち中堅左に三壘打してつゞく早速の右前安打に生還、那須三振後小野遊擊安打、上田遊擊に凡打したを早速そのボールにタツチしてアウト、高原二壘ゴロ失に生きたが遊擊そのボールをよく捨つて本壘に好投小野を刺す▲（廣陵）小波瀾あつたが入らず（殖一、廣零）

◇七回（殖銀）坂井、快打すれば左翼柵前に颯々として逸出し本壘打となりつゞく市村また中堅右より深く痛打すれば本壘打となつて二點を加ふ、角谷遊擊失に生きたが駒井三振早速大きく中堅に放つたを野手好捕して角谷を併殺▽廣陵無點（殖二、廣一）

◇八回（殖銀）三者三振▽（廣陵）小川左前安打に出て山城四球に出たが後つゞかず（兩軍零）

◇九回（殖銀）高原二壘安打に出たが牽制球に刺され坂井遊擊安打に出で二盜したが市村の遊擊フライで併殺▽（廣陵）一死後三好遊擊安打に出て投手暴投に二進八十川また左中間に安打して三好一擧生還中尾の凡打に八十川二壘に封殺七番二壘ゴロ一壘失に生きて中尾一擧三進したが小川凡フライで休す八對二で廣陵敗る開戰七時

殖銀對廣陵戰（寫眞は三回裏廣陵の小川、内田の三遊間クリーンヒツトで生還の刹那）

殖銀
二中左一捕投遊三右
坂市角駒早那小武上高
井村谷井速須野智田原
打數35 安打11 二壘打0 三壘打2 本壘打2 盜壘9 犧打1

廣陵
中左捕一三遊右二投
中大小山三内佐三八十川
尾貫川城好田木好
打數35 安打7 二壘打1 三壘打0 本壘打0 盜壘0 四死球4 4

戰評

殖銀の殆ど一新された陣容に、かてゝ加へて丸中新監督の統率振りをみる事に、けふのゲームの興味があつた▲そしてお世辭なしに云つても新監督の一糸亂れぬ統率ぶりには本年シーズンの活躍が期待される▲メムバーを一覽すると、まづ遊擊小野君のモーションの固さが目につく、これは丸中監督のコーチャーと得意の猛練習でよくなることゝ想察せられるしその上僧侶小野君に代つた遊擊選手を武智君が、控へてゐるので昨年來の内野の缺陷は充分補はれてゐる▲外野は此日、張りきつた弓の如くにみえた。併し昨年に比して格段の備へがみられて、チーム全體としても恐ろしい張りが出來てゐる▲それにあたる▲今日のゲームでの難をいへば那須君に餘りにボールが多いことであるが、これはまだ若い那須君に、老練早速君が餘りに多く注文をつけすぎるからであらう▲廣陵はたしかに甘い、甘味はたつぷりある。たゞ若さからくるムラがある元氣がありすぎて愼がない、從つて亂軍となると弱點を暴露する▲とはいへ、その若さに廣陵のキビキビした眞骨頂があるのでみる者の氣持が自らスポーツマンライクになる▲廣陵は攻擊よりも守備のチームにみえる▲鍬棒山城、けふも當らなかつたがスランプにおちてゐるらしい▲廣陵小川、捕手は攻守共に光つてゐる▲それに中尾、三浦、内田、八十川何れもいゝプレヤーだ。

けふは休養

第一回の五點が遂に敗因となつて敗退した廣陵中學野球チームは二十六日は休養し二十六日午後四時から[illegible]の再戰に備へることに決定した

訂正 夕刊戸島誠次郎氏令息死去とあるは戸島氏令弟良風氏の令息の誤りにつき訂正

郁子女史を讃へる

あすと迫つた本社主催の公會堂における邦譯歌詞獨唱會は今や異常な人氣を集め入場券は忽ち賣切れ府民にあたへてゐる、今日まで原語で唄はれるがゆゑに理解し得なかつた世界の名曲が邦譯されて聽衆の前に力强いショツクをあたへるのである、新進ピアニスト大平雪子孃によつてまろび出される音に合せて女史はその夜を限りと唄ひ續ける事であらう。

その美聲は素晴らしいもの
今に殘る深い印象 柴垣幹夫氏語る

私がまだ東京の學校に行つてゐました時分に女史の獨唱を二度ばかり聞きましたが、實に美聲で素晴らしいものでした、帝國ホテルで開催されたのですが立錐の餘地ないまでに滿員で盛況なものでした、本年十三年女史があらゆる人々の反對をおしきつて邦譯歌詞を提唱されたと考へます、だから女史の提唱に共鳴が出來ます、とに角京城には初めての音樂會に歡ばれたといふ事ですから非常な期待を持たれてゐる

子供に無上の寶

今日まで遊んでおられる樣です、私は音樂曲で音樂を理解することが曲の理解を助くる唯一なものだと[illegible]は幼年倶樂部、子供が喜んで讀む中にズン〳〵智慧がつき性質が良くなる、是非お與へ下さい

喜ばしいものゝ一つ
平岡夫人談

音樂會にまゐりまして唄の意味がはつきりとうけとれぬ場合が時々あります、それは原語で唄はれるからであらうと思ひます、その意味で今回御社が招聘なさいます永井さんの邦譯歌詞は實に良く理解されようと思ひます、殊に今度までの歐州各國の名曲が邦譯されて唄はれますのはたしかに喜ばしいものゝ一つです

理想の一端を開くもの
早野夫人談

私は『日本語をもつと可愛がつてやらなければならない』と常に思つてをります、永井さんの邦譯歌詞の演奏會はこの意味で實に私の理想の一端と申しますかとにかく理想の一端を顯いてくれるものと非常に期待してゐます、殊に我國でも有數の女史の事ですさぞ當夜は盛況を示すでせう

感激は常に新しい
戸田夫人談

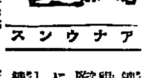
永井さんが邦譯歌詞を提唱されます以前に私は東京で二三回お聞きした事があります、非常にきれいなお聲でお聞きします度毎にいつも〳〵新しい感激をうけました、今日の運動をお初めになつた時、私はほんとに嬉しく又心强く感じました、それはなんでも外國〳〵といつて言葉まで無理に外國化されようとする今時、その弊をおしきつて進まれようとする努力だけでも偉いものだと存じます。今度御社の招聘でこちらへお越しになるとき、非常に喜んでお待ちしてをります

大嘗祭供納の鮮内光榮者
廿五日左の通り決定

今秋行はせ給ふ御大典大嘗祭に朝鮮からも白粟、苹果、梨、大豆、小豆、干鮑等を庭積机代物として供納するやう宮内省から朝鮮總督府に通告あり、總督府ではそれ〴〵各產地を選擇してゐたが左の如く納入者を決定した

納入品	住所	氏名
白粟	京畿道開城郡松都面元町	文錫泰
苹果	慶尚北道大邱府	慶尚北道果物同業組合
梨	慶尚南道金海郡鴨洛面大沙里	植田廣夫
大豆	咸鏡南道咸興郡州北面富民里	全昌奎
小豆	江原道春川郡新南面松岩里	池奎汶
干鮑	全羅南道濟州島右面西歸里	中村勘松

アナウンス



▲總督は巡閲に、總監は議會に、かくして總督官邸をはじめ總督官邸は偶然の閑だ▲某課の新任課長は總監用の大椅子にノホのやうにチヨンマリと腰を据込み寂しさをスパリ〳〵▲チフスの放送に時間が余つたとて浪花節を一席やつてのけた事で ほかに有名になつた池田醫師▲新聞記者を相手に大氣焰を擧げていはく▲醫者は人を殺し記者は社會を殺し醫者は客の氣心を診斷する▲これを聞いた人の惡い某記者逆襲して『結局醫者の仕事が一番簡單で一番ノズだネ』に池田醫者『ウューー〳〵ニヤ〳〵やつぱしさうだネー』

肺病全治御禮

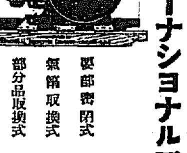
昨春二月突然喀血しましてから[illegible]名醫も誇りも一切の藥餌に打砕かれ眼前には恐怖の影と死の幻とが交々迫つて來るので[illegible]只この上は死の神を迎へ待つのみでした[illegible]紙上にて筑前太宰府町永井圓次郎樣の御藥『カワウソの肝』の奇効を知り早速三十日分丈け取寄せ服用しました[illegible]お知らせ致します

廣島縣深安郡深津村一四三一 工藤春美

インターナショナル石油發動機

要部密閉式
無觸取換式
部分品取換式

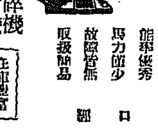
馬力 一半―二馬力 三馬力 六馬力 十馬力



ゐのくち式AI型渦巻ポンプ

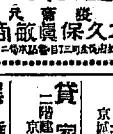
能率優秀
馬力僅少
故障皆無
取扱簡易

口徑 二吋半 三吋 四吋 五吋 六吋



尾上式大豆粕粉碎機
清水式精米麥機
（在庫豐富）（型錄進呈）
合資會社 泰明商會京城出張所
京城府黄金町一丁目（電本三三〇一番）

年數御相談
恩給金融
誠實一貫 親切第一
秘密嚴守○迅速確實○前引利子一切なし○[illegible]
仁川府宮町九拾 森田耕

品質第一 價格最廉 登錄商標
タオル ツルワ印

大久保眞敏商店

報四恩講會
都合により一時中止方法を改めて近日發表宜敷御覺き候
大村西崖

京日案内

貸家 [illegible]
素人 [illegible]
事務 [illegible]
花見 お辨當 [illegible]
女中 入用 京城府長谷川町 [illegible]
恩給 [illegible]

特別案内

恩給 [illegible]
貸家 [illegible]
黒燒 [illegible]
恩給 [illegible]
寫眞 [illegible]
恩給 [illegible]
門生 [illegible]
恩給 [illegible]
種豚雛卵販賣 平田養豚鶏場
改名披露 中山歯科醫院 改名 永和歯科醫院

小說 明石將軍 (27)

白石實三 作
多田毅三 畫

レーニンを味方に

……秘密の地圖……密使……叫斷……そんな言葉が、シリヤスとアンナとの間に交換される間に、あちらの議論は、ますく白熱して行つた。

『レーニン君?』

呼びかける明石の瞳も熱をおびて。

『たとひ、理論はどうあらうとも實際問題としては、私は、やはり神を信じる。その神が、君にあつてはマルクスであり、私にあつては國家であり、佛であり、或であるだけの相違だ。君のやうな者は、ロシアにして初めて存在しうるので、東洋の思想といふものは、もつと神秘な心の生活から出發してゐる。が、當面の話題としても、君の信仰するマルクスその人が、實際上では、非常な愛國者ではなかつたか』

『うん、其點は、僕も是認する』

『さうだらう。マルクスが、自分を追つた祖國ドイツの惡口をいはれたゝめ、ひどくおこつて、英國人と喧嘩した逸話は非常に名高いものだからね……』

『おい〱明石!』

と、シリヤスが向うから口を入れた『レーニン君も、もう議論はやめにしたまへ……議論よりもまづ實行だ。眼の前の露國と戰ふことが、むしろ急務だ』

『同感ですね』と革命婆さんも言葉を挾む『レーニンにしても、理想の實現に努力してゐるのだから、この際、私たちと合同しなければならない』

『理想のためにはね』とレーニンの心も動いて來た。

『そして、明石に力を貸して、出版運動を統制しなければならない!それとも、レーニンは、かやうな直接行動には反對か?』

『いや、むしろ贊成だ!』レーニンは、きつぱりと強く叫んだ『革命を導くには智がいる。智に導かれて、革命はじめて戰闘の機運に入る。武器と戰術は、僕の主義だ!』

『レーニン君、では頼む!ぜひ、日本のため一びの力を貸してくれたまへ!』明石は、つかくと立つて、レーニンの手を、強く握つて、握つた。

『よし!では、僕が武器方面を斡旋してやらう、僕の敵は日本ぢやないから安心したまへ。僕も、出版運動に賛成する方面を助力するだけだよ、僕が行つのは、まだ時節ではない、僕はもう暫くこの山水の間に瞑想したい』

『ありがたい!』『ありがたい!』

シリヤスは、小躍りして喜んだ。

『レーニン君は加擔されるとあれば、百萬の味方を得たより力づよい!ぢやあ、一つ、パリで與も討士の聯合大會をひらくかな』

レーニンも、愉快さうな眼をかがやかせて。

『いや、それといふのも、この明石といふ男が、いかにも熱誠を吐露して來るからだよ、この熱誠の前には、鐵の氷のやうな僕の心もとけた……だが、先頭の神の議論では、僕もいさゝかへこんだ形だな、は、は、は』

鄰圳使行は、レーニンの特色だつた。さう率直に、わだかまりなくいつた時、彼の心もとけて、かつは、明石と性格の上で、一味相通じるところがあつたか、それから後は、明石の行動に、なにくれとなく便宜を計つてくれた。

かうして名高いブラッセル、パリ、ロンドンの社會黨大會となつて、明石は、その總會にのぞんで、日本のため助力を乞ふところがあつたが、さういふ間に、どこからどう手が廻つたか、滿州出征軍隊の間には、次ぎのやうな宣傳ビラが撒布された。

『敵は汝の背面にあり、正義の日本人を虐殺するなかれ!』

その時は、アンナの姿も、もうスキスには見えなかつた。

艶麗ろう曲の美少女アンナは露探の使節に近づいて、どんな活躍をするか?誰に見る彼女の美貌は、きつと行く先々で、何かのなまめいた悲話を生まずにはゐまい……

文化の殿堂 大阪屋號書店 電本726

明石將軍 事實譚

素晴らしい人物として迎へられてゐる故明石元二郎將軍(明石將軍)……

妙齡の婦人が中佐の尾行

飯島宗也氏談

明治卅七八年の日露戰役に活躍してゐる人だけに明石を知る人々は多い、その人々の談話についての事實譚を紹介したい

日露戰爭が開始される前先生(將軍の事)はペトルブルグ(現在のレーニングラード)の日本公使館附で陸軍中佐であつた、日本公使は栗野愼一郎氏で私は留學生として彼地にあつた。日露の戰が開始されるや當時俄任となつてゐたスエーデンの首府ストックホルムの公使館に彼地の事務全部を移した、公使と先生と私も自然同地に行かねばならぬ様になつた

◇

卅七年の二月愈よこれを決行することになりペトルブルグを出發した、途中私はベルリンで公使館附書記を任命され先生の通譯を主なる仕事とし常に先生の傍にあつた

◇

その當時先生の一擧一動は常に露探の注視の的となつてゐた、ストックホルムでは事務所をフラット(今日のビルデング)の二階においた、そして各地の新聞を毎日私が譯して先生に見せる、目を通した先生はうなづいてやがて何處かへ出て行く、事務所に居る時などは殆んど皆無であつた。いはゆる風の如く來て風の如く去るといつたことが當時の先生の行動であつた。無論私達もその行方については全然知らないのである

◇

その時ロシヤ側も我々と同じやうにこの地に來り我々が借りてゐる向ひ側のフラットの二階に陣取り窓を通して我々の行動を監視するのであつた。故に我々はその目から避けるために白いカーテンを窓口にした。ロシヤ側は如何にしてもと巷に妙齡の婦人を探偵に使つて先生を尾行せしめ。新聞にものつてゐるやうにいつ剃つたかわからないやうなひげをはやし服はズタ〱に破れ一見乞食を思せるのが先生の風采であつた

◇

パリー、ロンドン、ベルリンに旅行する先生の後に例の婦人のあることを知つた私達がひそかにそれを注意すると先生は大いに笑つて平氣であつた

◇

エピソードとして私の知つてゐることは先生は非常に煙草と酒がすきであつた、片時もシガーをはなすことはなかつた。事務所の隣にある一家に住んでゐたが、あるはそこの娘さんが抗議を申し込んで來た。貴方の方の煙は普通ではないのですね私の寢室にまでイヤな匂がしますよ、私どもは轉宅しますといつて。でこのことを先生に話すと『さうか』と苦笑して居たものだ

◇

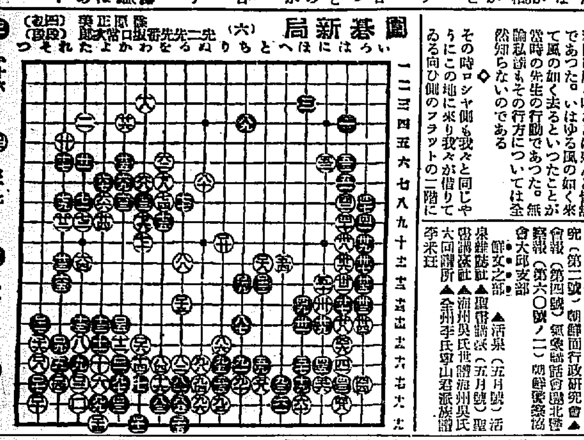
又先生は常に多額の現金を所持してゐた、或る日列車中の便所で札を調べてゐると、その列車がトンネルにさしかゝり便所の下から煙がもう〱として來る、一寸としたはずみに百圓ダラー札が手からはなれ遂に煙にまきこまれてその札は列車外に吹きとばされた、といつたこともあつた

◇

この仕事のためには巨額の金を費つたやうに後年までいひはやされたが、それはなるほどずゐぶん金も費つたらうけれども、それよりもかうした金に對して無造作なところが輪に輪をかけて吹聴されたのだつたらうとも思はれる

神經痛 頭痛 齒痛 風邪に一番ロクギク 復方ピラミドン 販賣店各地藥店ニアリ 本舗 京城府龍山元町二ノ八八 林藥房

圍碁新局（六）



新らしい出版物

◇實業之日本(四月)處世上に於ける五個要協(寺田榮一)我國小賣界の重大缺點六項(稲原中治)實績りの卒業生を就職させる方策(山口善三郎)滿天下の落第生諸君に同情す(赤星陸治)其他 卅錢 東京市京橋區南紺屋町北社

▲印刷材料新報(一九六)卅六錢 大阪市住吉區天王寺町共社▲朝鮮消防新報(四月)十五錢 京城府南米倉町京城消防發會

出版物納本(廿四日)

(朝鮮總督府警務局圖書課調)

邦文の部 ▲學報(第一三號)京城帝國大學▲京城興信所報(第五六九號)京城興信所▲朝鮮內報(第八七三號)帝國興信所京城支所▲仁川商報(第一七號)仁友會▲淨朋(第四號)開教院▲面政研究(第二號)朝鮮面行政研究會▲會報(第四號)氣象談話會湖北支部報(第六〇號ノ一)朝鮮警察協會大邱支部

鮮文之部 ▲活泉(五月號)活泉雜誌社▲聖書講談(五月號)聖書講談社▲淸州吳氏世譜 淸州吳氏譜所▲全州李氏寧山君派族譜 大同譜所 李采任

演藝 案內

大正館 二十五日より超特大興行 林長二郎、栗島すみ子、井上正夫 蒲田スタヂオ特作 大久保忠素監督作品 晉選の選を收扱つた喜劇で一大の中に晉の何物かを敎へる最も興味ある映畫 曾我廼家必勝虎の卷 四卷 井淳主演 解說 甲斐傑作 松竹キネマ超特作 帝都歌舞伎座上映の世界的映畫 井上正夫復歸第一回劇期的大名畫 野村芳亭監督 小出雷太郎撮影 人生の野獸を放浪する若いづこへ 歡樂の天國は何處ぞ感激愛と涙の交響詩 社會劇 天國の人 十卷 井上正夫、栗島すみ子主演 藤野秀夫、岩田祐吉、島田嘉七 飯田蝶子、鈴木歌子助演 オールスターキャスト 解說 松浦翠果 京都スタヂオ超特作 衣笠貞之助監督 杉山公平撮影 落花紛かに舞ひ踊る巷は歡樂にさんざめく篝火狂ふて紅燈ゆらぐ櫻吹雪祇園の仇討 大劍戲 篝火 八卷 林長二郎主演 浦波須磨子助演 オールスターキャスト 解說 吉田秀郎

東亞俱樂部 東亞キネマ直營 來る廿五日より超特別大興行 陽春映畫界を震撼する大東亞陣 東亞キネマ京都作品 時代劇『クラク』所藏 探偵劇 夜光珠を繞る女怪 全五卷 原作甲賀三郎、脚色内田靜司 監督井手錦之助 支那の秘密夜光珠を繞る富豪と貴婦人美男美女の墓藤! 永活動寫眞商會提供 大京城の夜櫻 實寫 東亞キネマ等持院作品 大時代劇 宮本武勇傳 前篇 七卷 光岡龍三郎主演 外 石田治三郎、瀨川路三郎、小坂照子、河合富子 外オールスターキャスト ブルーペンスファザー大尉作 浸禮の映畫化シドニーチャップリンの ベタ、オール 全十卷 歐州戰爭が生んだ最大のユーモア ストブルーベンスファザー大尉の原作を主題とするの歐洲戰線にビルの親爺を風靡した主人公の映畫! 本年度最上の映畫!今週に超時別大興行に付招待券にて御入場はお斷り申上候

京龍館 當廿一日より サンシャイン喜劇 チョット失禮 全二卷 日活現代劇部特稱傑作 阿部豐監督作品 屍は語らず 全八卷 岡田時彦、瀧花久子、山本嘉一、南部章三、東勇治、見明凡太郎共演 日活時代劇部超特作品 巨匠池田富保監督作品 鳥羽伏見の卷 十卷 河部五郎、大河內傳次郎、澤田清 子主演

中央館 マキノキネマ 二十四日より三日間特別短期均一破額料金にて開放 この度は御見逃し給はざれば再度の訪れは非ニ マキノプロダクション特作 マキノプロダクション提供 五味國男外オールスターキャスト 時代劇 隼の銀次 全五卷 マキノプロダクション超特作 中島寶三監督時代劇 鮮天晴より惚れた 全六卷 武井龍三、市川小文治、岡島艶子主演 マキノ雅弘昨年度十大特作品の中 天才秋篠上映原作 巨匠井上金太郎監督 傑作 影武者 全九卷 大谷友三郎、松浦築枝、武井龍三、市川小文治、杉狂兒、天野刄一外 マキノオールスターキャスト

喜樂館 帝キネ超特作 大メトロ社超特別興行 名犬活劇 犬リンチンチン 主演 日活會社新一期監督 伊奈精一 新婚行進曲 七卷 日活太秦監督 伊藤大輔監督作品 高田の馬場 十一卷 島耕二、徳川良子、月山政人主演 尾上菊五郎、市川百々之助、大河內傳次郎

傷痍軍人諸士に謹告す

有田音松

本館の無料宿泊案内發表に際し、在鄕軍人團、青年團、學生生徒團等の團體に對し宿泊に應ずる事を新聞に公表いたしました處が、予て懸案の傷痍軍人會理事北田隆治君其の他からも「吾々傷痍軍人に對しては宿泊を許さゞるや」との御照會がありました。それは本館が、前記の團體宿泊を主眼といたしましたのと、尚傷痍軍人としては附添人もあり、團體的の御旅行は如何かと差控へて居りましたが、無論、諸士の團體旅行については、特別に御歡待申上げますから、御來館下されたい。

尚、國家の爲に傷痍せられた諸士に對しては、團體でなくとも特別に傷痍軍人に限りお一人でも喜んでお受けいたしますから、御遠慮なく御使用下されたい。

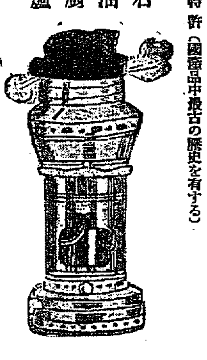
諸士の爲に、特に別館二階の一室を充當し、すべての設備を整へました。

前以て日取を御一報下されば確たる御返事をいたします。

大阪市東區內本町二丁目 有田音松社會館 電話東五九五、九六、九七番

內科 胃腸科 腦神經病 專賣特許(國產品中最古の歷史を有する) 京城本町四丁目百五十五番地(電話本局三二七四番) 北島醫院

久能木式 石油厨爐



定價 上ニッケル製三號形 金拾六圓(附屬品共) 同 二號形 金貳拾壹圓 金貳拾壹圓

一、久能木式は皆さんの御見となり各陸軍(官舍に在りては道知事閣下を始め各課所長官舍)を通じ御愛用を添ふするのであります品質の純良にして販路盛なれば諸方に模造品の出るのが常であります好評が出ますが御昨にも久能木式と見違へる様な模造品を販賣する好商が出まして今で作らせる所は斷じて作らぬ…
一、久能木式を朝鮮の一部に撰發以來四ケ年の實驗に依つて全鮮忠淸南北の四ケ道及び慶北の大部では石油厨爐の王である事を認められる様になつたので模造品が出たのであります
一、久能木式の最高火力では硝子が熔々と燃へるのと石油が少く入るのが他品と著しい相違のある特長であります
一、それですから石油厨爐を買る者が來た時は先づ硝子を燃やさせて試驗すれば立どころに良し悪しが分ります折角御窯所改善の器ですから選擇の御謝を願ひます
一、石油厨爐で專賣特許品は現在では久能木式だけですから御永知留を願ひます

販賣所在地 江景 家田支店 論山 小切開商店 全州 栗原神品店 光州 濱田分店 寒仁 岡村商店 大田 濱邊商店 公州 古賀商店 平壤 虎屋店 群山 長谷川商店 鎭南浦 呉屋鉛商店

朝鮮元賣捌店 全北群山府(電話一〇五番) 吉岡定男商店

輸入專賣 全乳 東亞牧場 大正製菓肥養主場 東亞牧場 (電話本五二一番)

藥用雲脂除 脫毛止め ○ミツワ養毛液

理學博士 藥學士 小平勤氏 監督製劑

雲脂は脫毛の前驅

雲脂が多いのは皮脂腺の病的作用に依るもので、之こそ普通脫毛の第一期です。此間に本劑を用ひれば、最も効果があります。

主效
一、雲脂の過多。 一、若禿、即ち之が原因も大多數は脂性皮脂症で、痒搔甚しく、雲脂が多い。
一、急性熱病の結果 一、產前產後。
一、皮膚病の輕き發疹の後。 一、毛髮の薄き方。
一、頑固ならぬ臺灣坊主。 一、其他脫毛を防ぎ毛髮の發育榮養を助く。

處方を明記せる本邦唯一の○ミツワ家庭藥三十二方の內

(處方、用法、効能の詳細は說明書)
(各地の藥店にあり、最寄に無き時は本舖より直送す。)

壜入 定價 金六十錢
3.14
家庭治療法 一冊(特價七十錢)
○ミツワ石鹼本舖 東京 丸見屋商店 下谷區二長町(振替東京一七〇)

處方を明記せる本邦唯一の○ミツワ家庭藥卅二方の內

醫學博士 藥學士 小平勤氏 監督製劑

食慾減退、胃酸過多、胃加答兒等の病的消化器の慢性を帶びたるものに卓効を奏する

○ミツワ 健胃錠
(百錠入 二十錢 三百錠入 五十錢)
主效 急性胃加答兒、慢性胃加答兒、胃酸過多症、胃弛緩症、胃擴張症、胃下垂症、胃潰瘍、胃痛、消化不良、嘔吐、神經性胃病。

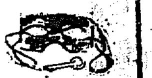
過食、過飲、不良の飲食物に因る胃腸の腐敗醱酵を防止し、傳染病豫防に欠くべからざる

○ミツワ 淸腸錠
(百二十錠入 四十錢)
主效 過飲、過食、不良の飲食物を攝りたる爲腸內に異狀醱酵を起したる場合、及び傳染病流行時の豫防に用ひらる。

副作用無き緩和なる瀉下劑にして、妊婦及び乳兒ある母親にも安心して用ひらる

○ミツワ 緩下錠
(百二十錠入 二十五錢 三百六十錠入 六十錢)
主效 常習便秘。胃腦、腦神經、心臟、肺等の病に因る便秘、其他便秘一般。

(處方、用法、效能の詳細は說明書)
(各地の藥店にあり、最寄に無き時は本舖より直送す)
○ミツワ石鹼本舖 東京 丸見屋商店 下谷區二長町 振替口座東京七一〇番
9.12
家庭治療法 一冊(特價七十錢)



仁川出帆 山下汽船 川崎汽船

▲神戶、名古屋、京濱行 愛媛丸 四月廿一日
▲阪神 糸崎丸 月 日
▲阪神 東裕丸 月 日
▲名古屋、淸水、京濱 第一大安丸 月 日
▲阪神 玉榮丸 月 日
山下汽船株式會社 川崎汽船株式會社
協同海運株式會社 電話長八二〇番 八六七番

大阪商船株式會社

▲門司 神戶 大阪行(群山木浦經由)
大智丸 四月二六日
山東丸 五月三日
大信丸 五月九日
大順丸 五月二日
▲名古屋、淸水、東京行 十八小野丸 四月二九日
▲大連行 關東丸 四月二八日前九時
▲長崎、鹿兒島、三角行 關東丸 五月四日
元山出帆
濟津、雄基行 中丸 四月二八日
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 濟南丸 四月二八日後二時
▲京城驛午前發列車二御乘車元山驛船內ニテ連絡切符發賣ス
內地各港出帆主要航路
▲歐洲行毎月二回▲濠洲行毎月一回▲南米行二週一回▲孟買行毎月二回▲北米行毎月一回▲南洋行毎月一回▲甲谷陀行毎月一回▲東部利加行毎月一回
京城代理店 大阪商船株式會社仁川支店 電話二一〇、二一一番
事務取扱 仁川港町六 電話七一番

仁川出帆

伏見丸 群山、木浦、阪神 四月二九日
秀吉丸 群山、木浦、阪神 四月二〇日
赤城丸 群山、木浦、阪神 四月二五日
神代丸 五月二日
尼ヶ崎汽船部 岡崎汽船會社 代理店 高杉商店回漕部 仁川海岸町(電話五九番)

嶋谷汽船仁川出帆

大連天津直行(大連汽船天津航路接續)
仁川發 裏日本 北海道 樺太行
仁川發 鎭南浦行
仁川發 大阪 長崎 成興丸
嶋谷汽船株式會社 仁川出張所 電話五八五、五〇、一〇八

森信汽船 仁川出帆

森信汽船株式會社

定期航路 仁川汽船出帆

海州線 仙掌線 延安線 舊島線 唐津線 發津線
仁川汽船株式會社 仁川本町四丁目

朝鮮郵船 定期出帆

○仁川出帆(代理店內國通運支店)
○木浦出帆(代理店山下回漕店)
○釜山出帆(取扱店大池回漕部)
○元山出帆(代理店內國通運支店)
朝鮮郵船株式會社 京城南大門通